

「牛久市総合計画・総合戦略の 検討に係るアンケート」結果

目次

1. 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査対象、方法等	1
(3) 調査結果に関する事項	1
2. 調査報告	2
(1) あなたご自身の事について	2
問1① 性別	2
問1② 年齢	2
問1③ 独身・既婚	3
問1④ 世帯構成	3
問1⑤ 職業等	4
問1⑥ 通勤・通学先	5
問1⑥(追加集計)東京都を通勤通学先とする10、20歳代の職業と将来の居住予定	6
問1⑦ 居住地(小学校区)	7
問1⑧ 居住履歴	8
(2) 牛久市の住みごちについて	10
問2-1 あなたの地域の住みごちについてお聞きます。(SA)	10
問2-1(順位)住みごちの評価	11
問2-1(詳細)子育て環境が良い	12
問2-1(詳細)教育環境が良い	13
問2-1(詳細)文化水準が高い	14
問2-1(詳細)職場に通勤しやすい 学校に通学しやすい	15
問2-1(詳細)医療が充実している	16
問2-1(詳細)福祉が充実している	17
問2-1(詳細)交通の便が良い	18
問2-1(詳細)買い物が便利	19
問2-1(詳細)自然環境が良い	20
問2-1(詳細)治安が良い	21
問2-1(詳細)災害が少ない	22
問2-1(詳細)余暇を過ごす場や機会が充実している	23
問2-1(詳細)人付き合いがしやすい(近所づきあいや友人関係など)	24
問2-1(詳細)地域に愛着を感じている	25
問2-2 将来の居住地の予定(希望)についてお聞きます。(SA)	26
問2-2 前回調査(高校生アンケート)との比較	28

(3) 出産・子育てについて.....	29
問 3-1 希望する子どもの人数と実際に持つつもりの子どもの人数は、何人ですか。(SA).....	29
問 3-1 前回調査(出産・子育てに関するアンケート)との比較.....	30
問 3-2 希望する子どもの人数よりも実際に持つつもりの子どもの人数が少ない方) それほどの理由からですか。(MA).....	31
問 3-2 前回調査(結婚・出産・子育てに関するアンケート)との比較.....	34
問 3-3 牛久市では多様な出産・子育て(教育)支援をおこなっていますが、ご存じのものはありますか。(MA).....	35
問 3-1 前回調査(結婚・出産・子育てに関するアンケート)との比較.....	37
(4) 牛久市行政の取り組みについて.....	38
問 4 それぞれの取り組みがこれからの牛久市にとって「重要であるか(A 重要度)」、また、現在の牛久市行政の取り組みが「満足に行われているか(B 満足度)」をお答えください。(SA).....	38
①結婚支援、出産・子育て支援分野.....	39
②教育分野.....	41
③市内外との交流.....	43
④移住・定住の促進.....	45
⑤市内の産業振興.....	47
⑥市内での就業促進.....	49
⑦住宅団地や農村地帯の活性化.....	51
⑧交通ネットワーク.....	53
⑨安全・安心.....	55
⑩地域情報.....	57
(5) 地域づくり活動について.....	59
問 5-1 地域づくりには市民の参加が必要だと思いますか。(SA).....	59
問 5-2 現在、地域づくり活動に参加していますか。(SA).....	60
問 5-3 <参加していない方>は、地域づくり活動に参加したいと思いますか。(SA).....	61
問 5-4 <参加している方>は、現在どのような活動に参加していますか。<参加したい方、参加したいが今はできない方>は、どのような活動に参加したいと思いますか。(MA).....	63
問 5-5 地域づくり活動においてどのような行政支援が必要だと思いますか。(MA).....	67
(6) 世代が循環するまちづくりについて.....	68
問 6-1 世代が循環するためには、どのようなまちづくりが必要だと思いますか。(MA).....	68
問 6-2 世代が循環するためには、あなた自身の地域(地区)にどのようなものが「あったらいいな」と思いますか。(MA).....	70
(7) 牛久シャトーとエスカード牛久ビルについて.....	73
問 7-1 牛久シャトーは、今後どのような方向で賑わいづくりをしていくと良いと思いますか。(MA).....	73
問 7-2 スカード牛久ビルには、どのような施設・店舗が「あったらいいな」と思いますか。(MA).....	76
(8) 自由記述(要約).....	85

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

牛久市では、2021 年度を計画初年度とする「牛久市第 4 次総合計画」および「第 2 期牛久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を 2019 年度から 2020 年度にかけて検討します。本調査によって現在の牛久市行政の取り組みに対する評価や今後のまちづくりに必要なこと等について市民の方々の意向を把握し、現在の施策の見直しや新たな施策の検討に活用します。

(2) 調査対象、方法等

本調査は、以下の内容で実施しました。

調査対象	市内在住の 16 歳以上の方(無作為抽出)
調査期間	2019 年 12 月初旬から 12 月末日まで
実施手法	郵送調査法
配布数	3,050
回収数	820
回収率	26.9%

(3) 調査結果に関する事項

各設問に対する調査結果について、以下の事項について留意してください。

- 「N」は、各設問に対する総回答数を示しています。
- 「n」は、クロス集計を行う際の各項目の回答数を示しています。
- 「SA」は「Single Answer(=単一回答)」を意味し、選択肢の中から回答者にとって最も適したものを一つ選択する設問への回答で、合計は 100%となります(小数点第 2 位を四捨五入しているため、合計が 99.9%、100.1%となることがあります)。
- 「MA」は「Multi Answer(=複数回答)」を意味し、選択肢の中から回答者にあてはまるものを複数選択する設問への回答で、選択肢ごとの回答比率を算出しています(選択肢ごとの回答数÷母数(N or n)×100)。そのため、全ての比率の合計は 100%とはなりません。

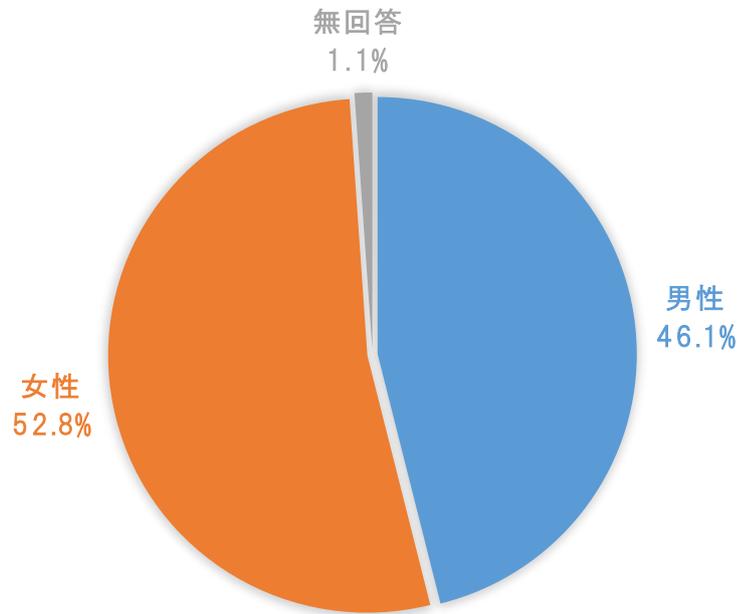
2. 調査報告

(1) あなたご自身の事について

問1① 性別

N=820

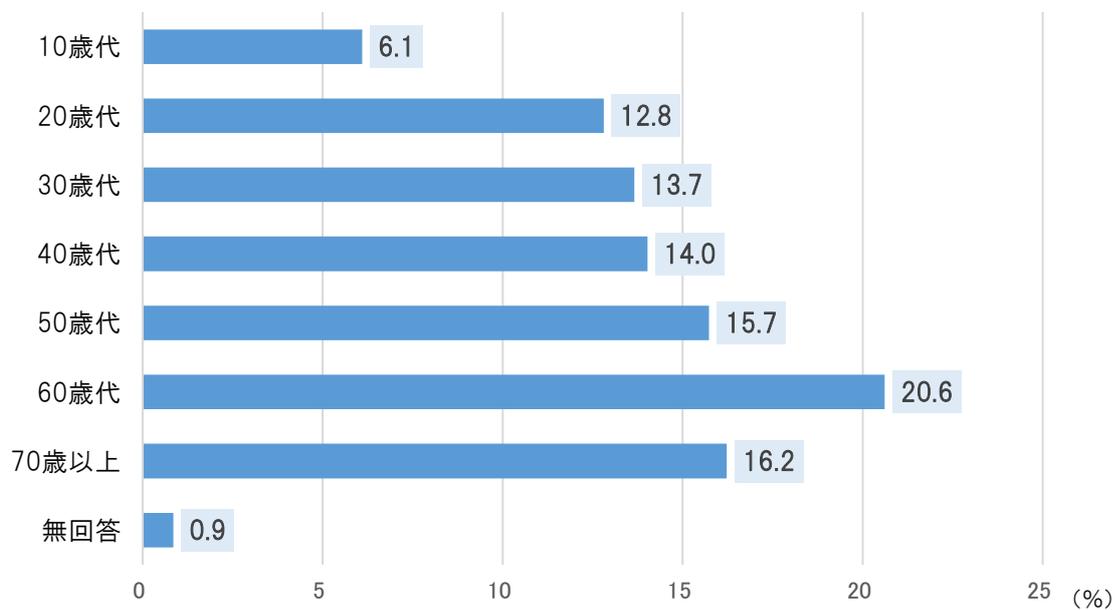
- 男性が46.1%で女性が52.8%(無回答が1.1%)。



問1② 年齢

N=820

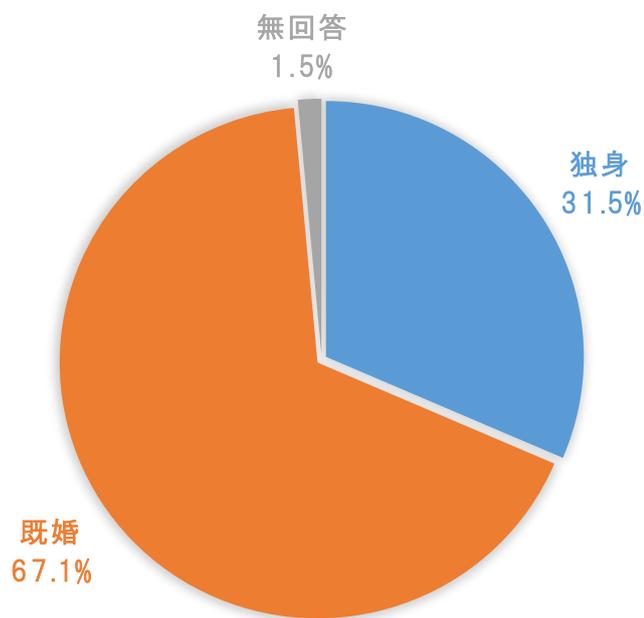
- 最も割合が高いのは「60歳代(20.6%)」で、「70歳以上(16.2%)」「50歳代(15.7%)」と続く。



問1③ 独身・既婚

N=820

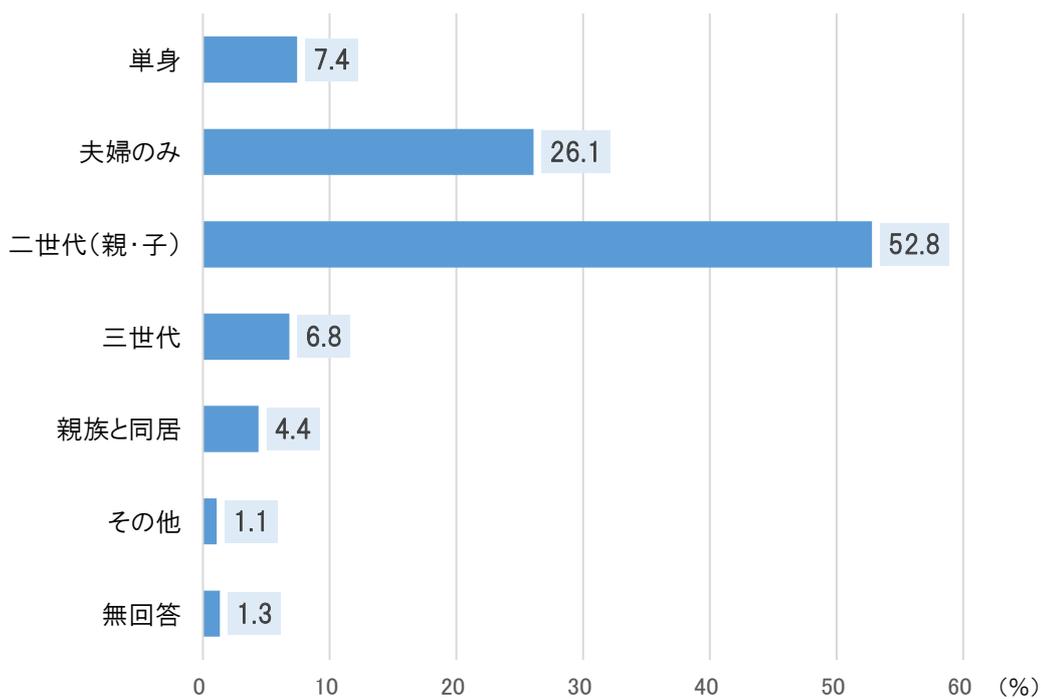
- 独身が 31.5%で既婚が 67.1%(無回答 1.5%)。



問1④ 世帯構成

N=820

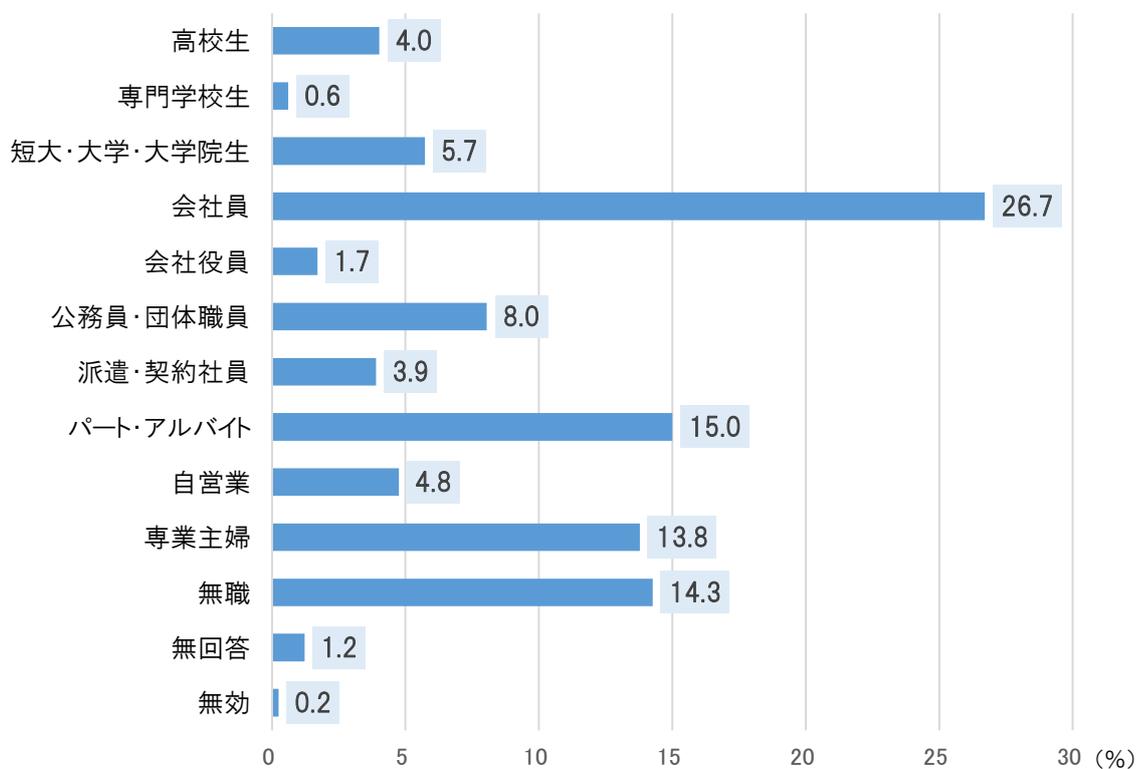
- 最も割合が高いのは「二世帯(親・子)(52.8%)」で、「夫婦のみ(26.1%)」が続く。



問1⑤ 職業等

N=820

- 最も割合が高いのは「会社員(26.7%)」で、「パート・アルバイト(15.0%)」が続く。



【年代別】

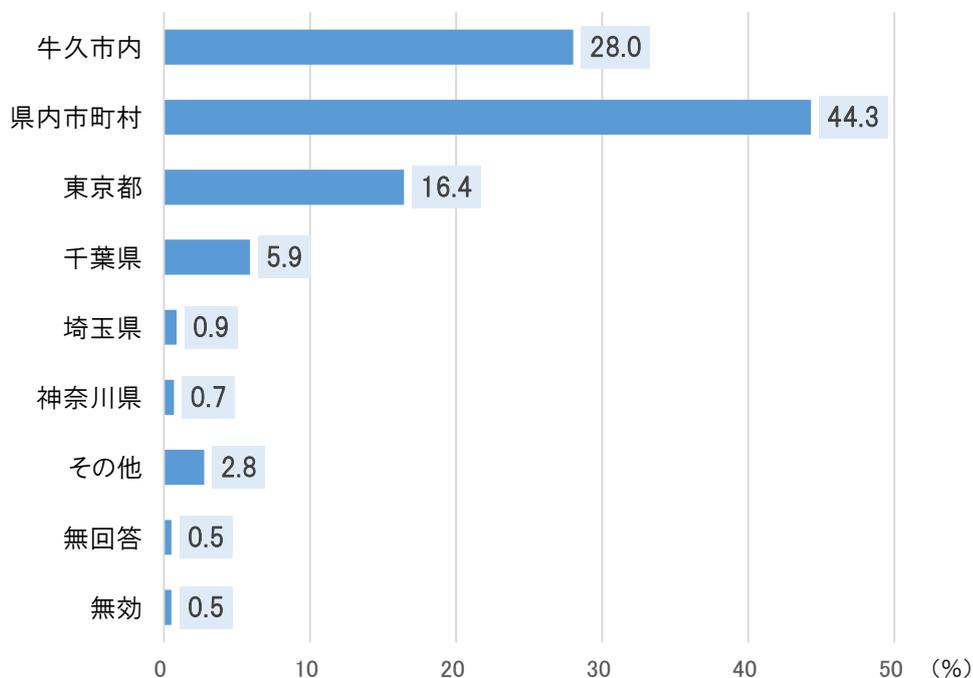
- 「会社員」の割合が最も高いのは「30歳代(57.1%)」で、「パート・アルバイト」の割合が最も高いのは40歳代(22.6%)」。

	高校生	専門学校生	短大・大学・大学院生	会社員	会社役員	公務員・団体職員	派遣・契約社員	パート・アルバイト	自営業	専業主婦	無職	無回答	無効
全体 (N=820)	4.0	0.6	5.7	26.7	1.7	8.0	3.9	15.0	4.8	13.8	14.3	1.2	0.2
年代別	10歳代 (n=50)	66.0	2.0	28.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=105)	0.0	1.9	31.4	33.3	0.0	5.7	6.7	7.6	1.9	7.6	3.8	0.0
	30歳代 (n=112)	0.0	0.9	0.0	57.1	0.0	8.0	0.9	18.8	0.0	11.6	2.7	0.0
	40歳代 (n=115)	0.0	0.0	0.0	42.6	1.7	17.4	5.2	22.6	1.7	4.3	1.7	2.6
	50歳代 (n=129)	0.0	0.0	0.0	34.9	2.3	14.0	4.7	21.7	7.0	11.6	3.1	0.0
	60歳代 (n=169)	0.0	0.0	0.0	13.0	4.1	7.7	4.7	16.6	8.9	24.3	20.1	0.0
	70歳以上 (n=133)	0.0	0.0	0.0	2.3	1.5	0.0	3.0	8.3	8.3	23.3	50.4	3.0

問1⑥ 通勤・通学先

N=578

- 最も割合が高いのは「県内市町村(44.3%)」で、「牛久市内(28.0%)」、「東京都(16.4%)」と続く。



【年代別】

- 「牛久市内」を通勤・通学先とする割合は、「20歳代(12.9%)」「70歳代(48.4%)」を除くと、概ね3割前後。
- 「県内市町村」を通勤・通学先とする割合は、「40歳代(56.2%)」が最も高く、「10歳代と30歳代(49.0%)」、「50歳代(45.0%)」と続く。
- 「東京都」を通勤・通学先とする割合は、「20歳代(33.3%)」が最も高く、「60歳代(20.4%)」、「10歳代(18.4%)」と続く。

		牛久市内	県内市町村	東京都	千葉県	埼玉県	神奈川県	その他	無回答	無効
全体	(N=578)	28.0	44.3	16.4	5.9	0.9	0.7	2.8	0.5	0.5
年代別	10歳代 (n=49)	26.5	49.0	18.4	0.0	4.1	0.0	2.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=93)	12.9	33.3	33.3	11.8	2.2	2.2	3.2	0.0	1.1
	30歳代 (n=96)	31.3	49.0	9.4	8.3	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0
	40歳代 (n=105)	29.5	56.2	7.6	3.8	1.0	0.0	1.0	0.0	1.0
	50歳代 (n=109)	32.1	45.0	13.8	4.6	0.0	1.8	2.8	0.0	0.0
	60歳代 (n=93)	28.0	41.9	20.4	3.2	0.0	0.0	4.3	1.1	1.1
	70歳以上 (n=31)	48.4	19.4	12.9	6.5	0.0	0.0	6.5	6.5	0.0

問1⑥(追加集計)東京都を通勤通学先とする10、20歳代の職業と将来の居住予定

【職業】

- 東京都を通勤通学先とする10歳代の職業は、「短大・大学・大学院生(77.8%)」が最も多い。
- 20歳代の職業も、「短大・大学・大学院生(48.4%)」が最も多く、「会社員(29.0%)」、「派遣社員(12.9%)」と続く。

	高校生	専門学校生	短大・大学・大学院生	会社員	会社役員	公務員・団体職員	派遣・契約社員	パート・アルバイト	自営業	専業主婦	無職	無回答
10歳代 (n=9)	11.1	11.1	77.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代 (n=31)	0.0	6.5	48.4	29.0	0.0	0.0	12.9	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0

【将来の居住予定(問2-2とのクロス集計)】

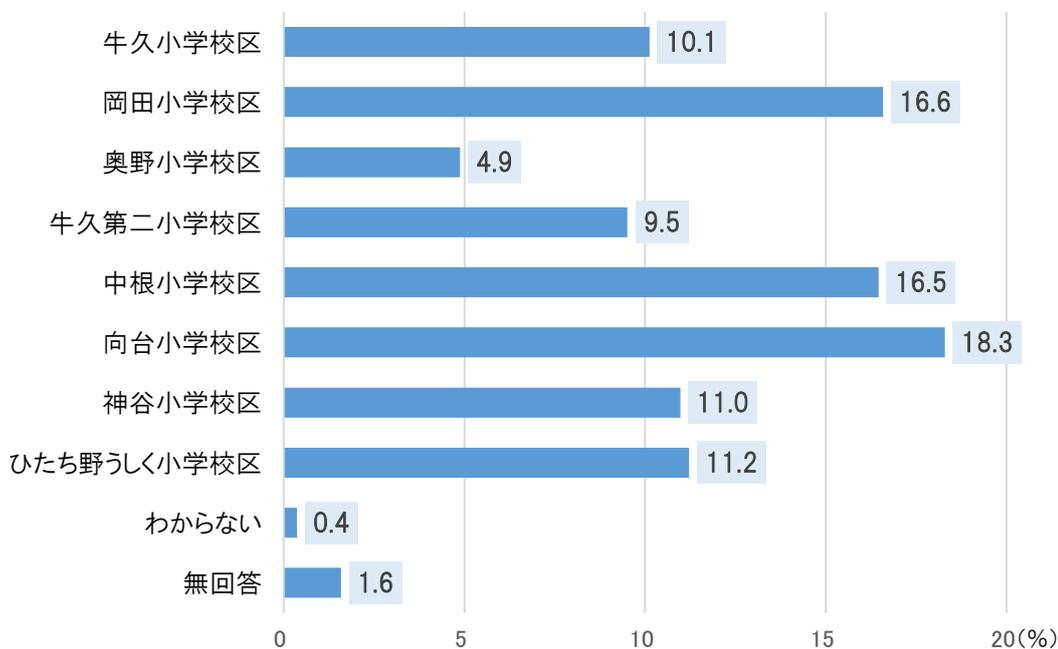
- 東京都を通勤通学先とする10歳代の将来の居住予定は、「特に予定(希望)はなく、将来のことはわからない」と「職場や学校が近いところに移り住む」が最も多い(22.2%)。
- 20歳代では、「特に予定(希望)はなく、将来のことはわからない(35.5%)」が最も多く、「職場や学校が近いところに移り住む」と「恋人や結婚相手次第で市外に移り住む」が続く(19.4%)。

	このまま牛久市に住み続ける	先牛久市に住み続けるが、できれば牛久市にわからない	牛久市外に移り住むが、将来は牛久市に戻って住む	特に予定(希望)はないが、将来のことはわからない	転勤などがあり、自分の意志で決められるものではない	職場や学校が近いところに移り住む	恋人や結婚相手次第で市外に移り住む	家族(実家など)の都合で市外に移り住む	もっと「住みごころ」の良いたる所に移り住む	どれにもあてはまらない	無回答
10歳代 (n=9)	0.0	11.1	11.1	22.2	0.0	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2
20歳代 (n=31)	3.2	6.5	3.2	35.5	3.2	19.4	19.4	0.0	9.7	0.0	0.0

問1⑦ 居住地(小学校区)

N=820

- 最も割合が高いのは「向台小学校区(18.3%)」で、「岡田小学校区(16.6%)」、「中根小学校区(16.5%)」と続く。



【年代別】

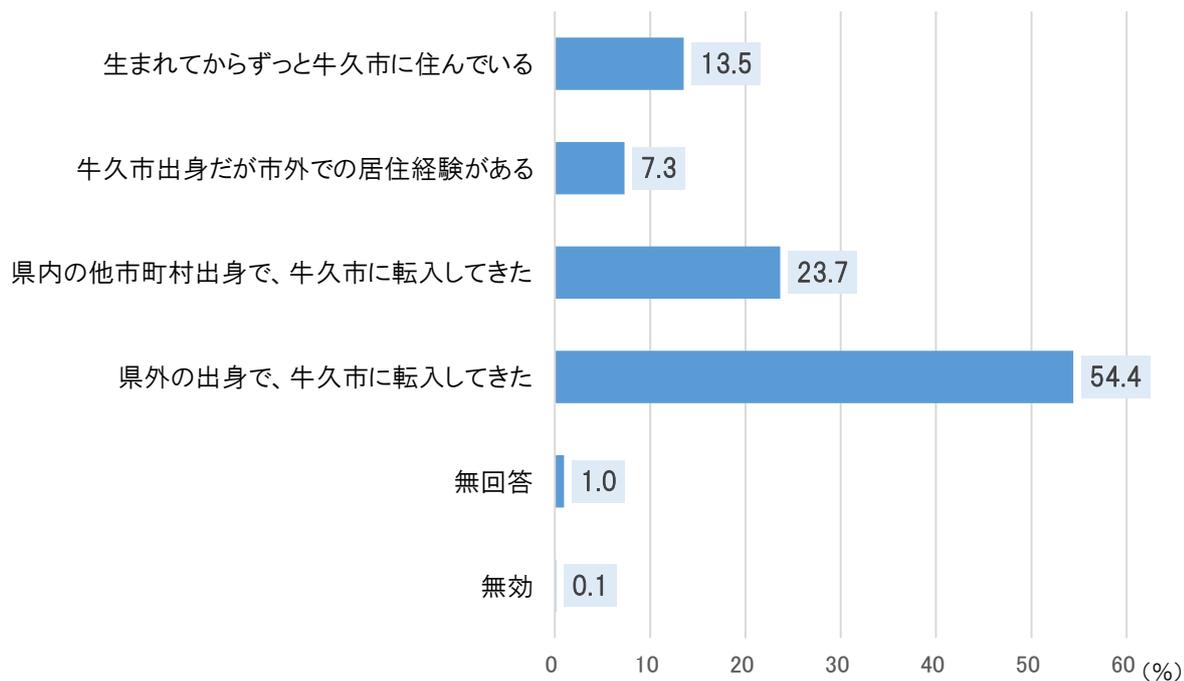
- 「中根小学校区」「ひたち野うしく小学校区」では「30歳代・40歳代」の割合が高いなど、地域ごとの年齢構成の特徴がみられる。

		牛久小学校区	岡田小学校区	奥野小学校区	牛久第二小学校区	中根小学校区	向台小学校区	神谷小学校区	ひたち野うしく小学校区	わからない	無回答
全体 (N=820)		10.1	16.6	4.9	9.5	16.5	18.3	11.0	11.2	0.4	1.6
年代別	10歳代 (n=50)	4.0	16.0	4.0	14.0	26.0	8.0	14.0	12.0	0.0	2.0
	20歳代 (n=105)	5.7	16.2	3.8	11.4	17.1	23.8	7.6	13.3	1.0	0.0
	30歳代 (n=112)	8.0	10.7	2.7	10.7	23.2	14.3	7.1	21.4	0.9	0.9
	40歳代 (n=115)	7.8	13.0	3.5	5.2	26.1	19.1	6.1	17.4	0.0	1.7
	50歳代 (n=129)	7.8	18.6	8.5	7.8	14.7	17.1	14.0	10.9	0.0	0.8
	60歳代 (n=169)	14.8	17.2	4.7	8.3	13.6	17.8	17.8	5.3	0.6	0.0
	70歳以上 (n=133)	16.5	21.8	6.0	12.8	4.5	22.6	9.0	3.8	0.0	3.0

問1⑧ 居住履歴

N=820

- 最も割合が高いのは「県外出身で牛久市に転入してきた(県外出身者・54.4%)」で、「県内の他市町村出身で牛久市に転入してきた(県内他市町村出身者・23.7%)」が続く。
- 「生まれてからずっと牛久市に住んでいる(牛久生まれ牛久育ち・13.5%)」と「牛久市出身で市外での居住経験がある(Uターン者・7.3%)」を足すと20.8%。
- Uターン者を含む牛久市出身者は約2割で、県外出身者が5割以上を占める。



【年代別】

- 年代が低いほど「牛久生まれ牛久育ち」の割合が高い。
- 年代が高いほど「県外出身者」の割合が高い。
- 「県内他市町村出身者」は「40歳代(34.8%)」が頂点で、年代が低いほど、また高いほど割合が低くなる傾向。

【小学校区別】

- 「牛久生まれ牛久育ち」の割合が最も高いのは「奥野小学校区(25.0%)」
- 「県内他市町村出身者」の割合が最も高いのは「ひたち野うしく小学校区(43.5%)」で、全体の23.7%より2割程度高い。
- 県外出身者は、「向台小学校区(65.3%)」「神谷小学校区(63.3%)」で6割以上。

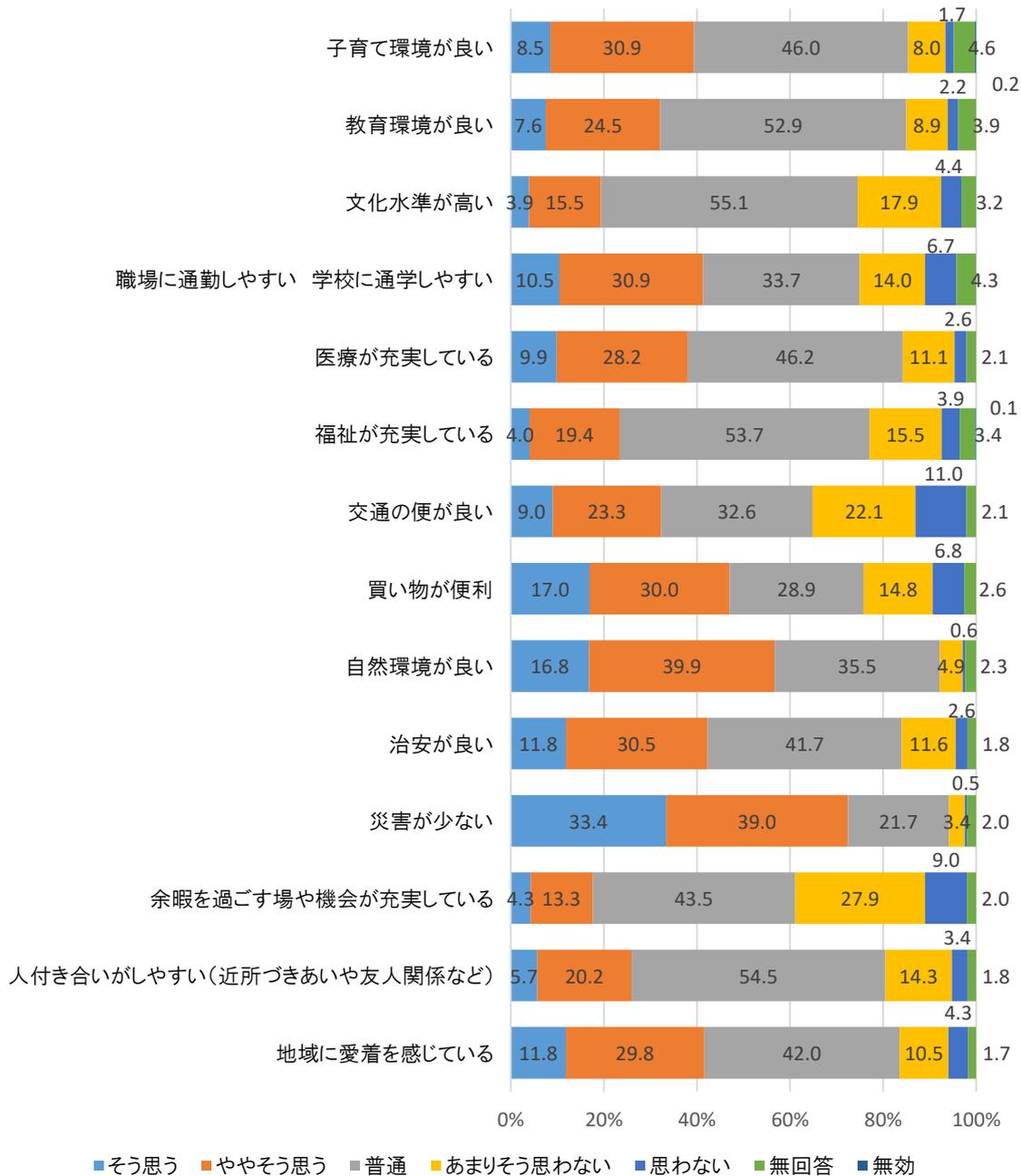
		牛久生まれ牛久育ち	牛久市に居住経験がある	牛久市に転入した	県内他市町村出身	県外出身	無回答	無効
全体 (N=820)		13.5	7.3	23.7	54.4	1.0	0.1	
年代別	10歳代 (n=50)	64.0	8.0	10.0	18.0	0.0	0.0	
	20歳代 (n=105)	32.4	11.4	22.9	32.4	1.0	0.0	
	30歳代 (n=112)	8.0	13.4	29.5	49.1	0.0	0.0	
	40歳代 (n=115)	7.8	7.8	34.8	48.7	0.9	0.0	
	50歳代 (n=129)	5.4	6.2	25.6	62.0	0.8	0.0	
	60歳代 (n=169)	7.1	4.7	18.9	69.2	0.0	0.0	
	70歳以上 (n=133)	6.0	3.0	19.5	70.7	0.8	0.0	
小学校区別	牛久小学校区 (n=83)	15.7	6.0	21.7	55.4	1.2	0.0	
	岡田小学校区 (n=136)	13.2	10.3	25.7	50.0	0.0	0.7	
	奥野小学校区 (n=40)	25.0	10.0	22.5	42.5	0.0	0.0	
	牛久第二小学校区 (n=78)	20.5	7.7	29.5	41.0	1.3	0.0	
	中根小学校区 (n=135)	11.1	8.9	25.2	54.1	0.7	0.0	
	向台小学校区 (n=150)	12.7	4.7	17.3	65.3	0.0	0.0	
	神谷小学校区 (n=90)	17.8	8.9	8.9	63.3	1.1	0.0	
	ひたち野うしく小学校区 (n=92)	4.3	4.3	43.5	47.8	0.0	0.0	

(2) 牛久市の住みごちについて

問2-1 あなたの地域の住みごちについてお聞きします。(SA)

N=820

- 「そう思う+ややそう思う」の割合が最も高いのは「災害が少ない(72.4%)」で、「自然環境が良い(56.7%)」、「買い物が便利(47.0%)」と続く。
- 「あまりそう思わない+思わない」の割合が最も高いのは「余暇を過ごす場や機会が充実している(36.9%)」で、「交通の便が良い(33.1%)」



問2-1(順位)住みごちの評価

- すべての項目で6割以上が「普通以上の評価(そう思う+ややそう思う+普通)」となっており、「災害の少なさ」「自然環境」「子育て環境」「教育環境」「医療環境」「治安」「地域への愛着」「人付き合いのしやすさ」では、普通以上の評価が8割以上。
- 「良い評価(そう思う+ややそう思う)」の最下位と「良くない評価(あまりそう思わない+思わない)」の最上位は、「余暇を過ごす場や機会が充実している」。

	「そう思う+ややそう思う」		「そう思う+ややそう思う+普通」		「あまりそう思わない+思わない」	
1	災害が少ない	72.4%	災害が少ない	94.1%	余暇を過ごす場や機会が充実している	37.0%
2	自然環境が良い	56.7%	自然環境が良い	92.2%	交通の便が良い	33.0%
3	買い物が便利	47.0%	子育て環境が良い	85.4%	文化水準が高い	22.3%
4	治安が良い	42.3%	教育環境が良い	85.0%	買い物が便利	21.6%
5	地域に愛着を感じている	41.6%	医療が充実している	84.3%	職場に通勤しやすい 学校に通学しやすい	20.7%
6	職場に通勤しやすい 学校に通学しやすい	41.3%	治安が良い	84.0%	福祉が充実している	19.4%
7	子育て環境が良い	39.4%	地域に愛着を感じている	83.5%	人付き合いがしやすい(近所づきあいや友人関係など)	17.7%
8	医療が充実している	38.0%	人付き合いがしやすい(近所づきあいや友人関係など)	80.5%	地域に愛着を感じている	14.8%
9	交通の便が良い	32.3%	福祉が充実している	77.1%	治安が良い	14.1%
10	教育環境が良い	32.1%	買い物が便利	75.9%	医療が充実している	13.7%
11	人付き合いがしやすい(近所づきあいや友人関係など)	26.0%	職場に通勤しやすい 学校に通学しやすい	75.0%	教育環境が良い	11.1%
12	福祉が充実している	23.4%	文化水準が高い	74.5%	子育て環境が良い	9.8%
13	文化水準が高い	19.4%	交通の便が良い	64.9%	自然環境が良い	5.5%
14	余暇を過ごす場や機会が充実している	17.6%	余暇を過ごす場や機会が充実している	61.1%	災害が少ない	3.9%

問2-1 (詳細) 子育て環境が良い

N=820

【年代別】

- 「「そう思う+ややそう思う」の割合が最も高いのは「10歳代(52.0%)」で、「30歳代(42.8%)」「40歳代(40.9%)」と続く。
- 「「あまりそう思わない+思わない」の割合が最も高いのは「30歳代(18.8%)」で「20歳代(14.3%)」と続く。

【小学校区別】

- 「「そう思う+ややそう思う」の割合が最も高いのは「ひたち野うしく小学校区(55.4%)」で、「神谷小学校区(45.6%)」「牛久第二小学校区(44.8%)」と続く。
- 「「あまりそう思わない+思わない」の割合が最も高いのは「奥野小学校区(20.0%)」で「岡田小学校区(13.3%)」と続く。

		そう 思う	やや そう 思う	普 通	あ ま り そ う 思 わ な い	思 わ な い	無 回 答	無 効
全体	(N=820)	8.5	30.9	46.0	8.0	1.7	4.6	0.2
年 代 別	10歳代 (n=50)	10.0	42.0	34.0	6.0	0.0	8.0	0.0
	20歳代 (n=105)	7.6	27.6	49.5	13.3	1.0	1.0	0.0
	30歳代 (n=112)	8.9	33.9	35.7	14.3	4.5	2.7	0.0
	40歳代 (n=115)	8.7	32.2	43.5	8.7	1.7	5.2	0.0
	50歳代 (n=129)	10.1	28.7	48.8	5.4	1.6	3.9	1.6
	60歳代 (n=169)	8.3	32.0	50.9	5.3	0.6	3.0	0.0
	70歳以上 (n=133)	7.5	27.1	49.6	5.3	1.5	9.0	0.0
小 学 校 区 別	牛久小学校区 (n=83)	6.0	21.7	62.7	4.8	1.2	3.6	0.0
	岡田小学校区 (n=136)	3.7	28.7	52.2	9.6	3.7	2.2	0.0
	奥野小学校区 (n=40)	5.0	27.5	40.0	17.5	2.5	5.0	2.5
	牛久第二小学校区 (n=78)	5.1	39.7	41.0	6.4	0.0	7.7	0.0
	中根小学校区 (n=135)	10.4	30.4	43.0	9.6	0.0	5.9	0.7
	向台小学校区 (n=150)	10.7	28.0	44.0	10.0	2.0	5.3	0.0
	神谷小学校区 (n=90)	10.0	35.6	45.6	4.4	1.1	3.3	0.0
	ひたち野うしく小学校区 (n=92)	15.2	40.2	33.7	4.3	3.3	3.3	0.0

問2-1（詳細）教育環境が良い

N=820

【年代別】

- 「「そう思う+ややそう思う」の割合が「10歳代(58.0%)」で特に高く、他の年代は40%未満である。
- 「「あまりそう思わない+思わない」の割合が最も高いのは「30歳代(18.8%)」で「50歳代(12.4%)」と続く。

【小学校区別】

- 「「そう思う+ややそう思う」の割合が最も高いのは「ひたち野うしく小学校区(47.8%)」で、「神谷小学校区(42.2%)」と続く。
- 「「あまりそう思わない+思わない」の割合が最も高いのは「奥野小学校区(20.0%)」で「牛久小学校区(13.2%)」と続く。

		そう 思う	やや そう 思う	普 通	あ ま り そ う 思 わ な い	思 わ な い	無 回 答
全体 (N=820)		7.6	24.5	52.9	8.9	2.2	3.9
年 代 別	10歳代 (n=50)	18.0	40.0	24.0	12.0	0.0	6.0
	20歳代 (n=105)	9.5	20.0	58.1	8.6	1.9	1.9
	30歳代 (n=112)	3.6	18.8	56.3	14.3	4.5	2.7
	40歳代 (n=115)	9.6	26.1	52.2	6.1	2.6	3.5
	50歳代 (n=129)	7.8	28.7	48.1	9.3	3.1	3.1
	60歳代 (n=169)	6.5	24.9	57.4	8.3	0.6	2.4
	70歳以上 (n=133)	5.3	21.8	57.1	6.8	1.5	7.5
小 学 校 区 別	牛久小学校区 (n=83)	1.2	18.1	63.9	10.8	2.4	3.6
	岡田小学校区 (n=136)	3.7	27.2	54.4	7.4	4.4	2.9
	奥野小学校区 (n=40)	2.5	22.5	52.5	15.0	5.0	2.5
	牛久第二小学校区 (n=78)	3.8	28.2	50.0	10.3	1.3	6.4
	中根小学校区 (n=135)	8.9	24.4	51.1	8.9	1.5	5.2
	向台小学校区 (n=150)	9.3	18.7	57.3	7.3	2.7	4.7
	神谷小学校区 (n=90)	8.9	33.3	45.6	10.0	0.0	2.2
	ひたち野うしく小学校区 (n=92)	18.5	29.3	42.4	7.6	1.1	1.1

問2-1 (詳細) 文化水準が高い

N=820

【年代別】

- 「そう思う+ややそう思う」の割合が最も高いのは「10歳代(30.0%)」で、「20歳代(27.6%)」「40歳代(23.4%)」と続く。
- 「あまりそう思わない+思わない」の割合が最も高いのは「50歳代(27.9%)」で「30歳代(27.7%)」「60歳代(23.0%)」と続く。

【小学校区別】

- 「そう思う+ややそう思う」の割合が最も高いのは「ひたち野うしく小学校区(31.5%)」で、「向台小学校区(20.7%)」「神谷小学校区(20.0%)」と続く。
- 「あまりそう思わない+思わない」の割合が最も高いのは「奥野小学校区(40.0%)」で「牛久小学校区(27.7%)」と続く。

		そう 思う	やや そう 思う	普 通	あ ま り そ う 思 わ な い	思 わ な い	無 回 答
全体	(N=820)	3.9	15.5	55.1	17.9	4.4	3.2
年 代 別	10歳代 (n=50)	8.0	22.0	56.0	6.0	0.0	8.0
	20歳代 (n=105)	10.5	17.1	52.4	16.2	3.8	0.0
	30歳代 (n=112)	1.8	10.7	58.9	17.9	9.8	0.9
	40歳代 (n=115)	4.3	19.1	53.0	17.4	3.5	2.6
	50歳代 (n=129)	2.3	19.4	48.1	22.5	5.4	2.3
	60歳代 (n=169)	1.8	13.0	60.4	18.9	4.1	1.8
	70歳以上 (n=133)	2.3	12.8	57.1	18.0	2.3	7.5
小 学 校 区 別	牛久小学校区 (n=83)	1.2	12.0	54.2	21.7	6.0	4.8
	岡田小学校区 (n=136)	2.9	14.7	59.6	17.6	2.9	2.2
	奥野小学校区 (n=40)	0.0	10.0	47.5	30.0	10.0	2.5
	牛久第二小学校区 (n=78)	1.3	17.9	53.8	16.7	6.4	3.8
	中根小学校区 (n=135)	3.0	15.6	58.5	14.8	4.4	3.7
	向台小学校区 (n=150)	6.7	14.0	52.7	20.0	3.3	3.3
	神谷小学校区 (n=90)	6.7	13.3	56.7	18.9	2.2	2.2
	ひたち野うしく小学校区 (n=92)	5.4	26.1	51.1	12.0	4.3	1.1

問2-1（詳細）職場に通勤しやすい 学校に通学しやすい

N=820

【年代別】

- 「「そう思う+ややそう思う」の割合が最も高いのは「40歳代(48.7%)」で、「20歳代(48.6%)」「10歳代(48.0%)」と続く。
- 「「あまりそう思わない+思わない」の割合が最も高いのは「20歳代(25.7%)」で「60歳代(24.2%)」「30歳代(23.2%)」と続く。

【小学校区別】

- 「「そう思う+ややそう思う」の割合が「ひたち野うしく小学校区(70.7%)」で特に高く、他の小学校区では50%を超えない。
- 「「あまりそう思わない+思わない」の割合が特に高いのは「奥野小学校区(42.5%)」で「岡田小学校区(28.6%)」と続く。

		そう 思う	やや そう 思う	普 通	あ ま り そ う 思 わ な い	思 わ な い	無 回 答
全体	(N=820)	10.5	30.9	33.7	14.0	6.7	4.3
年 代 別	10歳代 (n=50)	14.0	34.0	36.0	6.0	6.0	4.0
	20歳代 (n=105)	10.5	38.1	25.7	13.3	12.4	0.0
	30歳代 (n=112)	10.7	33.0	31.3	13.4	9.8	1.8
	40歳代 (n=115)	16.5	32.2	27.8	15.7	5.2	2.6
	50歳代 (n=129)	13.2	31.8	35.7	11.6	6.2	1.6
	60歳代 (n=169)	6.5	29.6	38.5	18.3	5.9	1.2
	70歳以上 (n=133)	6.8	22.6	38.3	13.5	3.0	15.8
小 学 校 区 別	牛久小学校区 (n=83)	7.2	32.5	38.6	12.0	4.8	4.8
	岡田小学校区 (n=136)	5.1	18.4	45.6	17.6	11.0	2.2
	奥野小学校区 (n=40)	5.0	17.5	30.0	17.5	25.0	5.0
	牛久第二小学校区 (n=78)	9.0	38.5	24.4	15.4	3.8	9.0
	中根小学校区 (n=135)	15.6	28.1	34.1	12.6	5.9	3.7
	向台小学校区 (n=150)	6.7	34.7	32.7	14.7	6.0	5.3
	神谷小学校区 (n=90)	8.9	32.2	32.2	17.8	6.7	2.2
	ひたち野うしく小学校区 (n=92)	26.1	44.6	21.7	5.4	0.0	2.2

問2-1 (詳細) 医療が充実している

N=820

【年代別】

- 「「そう思う+ややそう思う」の割合が最も高いのは「10 歳代(64.0%)」で、「20 歳代(42.9%)」「60 歳代(37.9%)」と続く。
- 「「あまりそう思わない+思わない」の割合が最も高いのは「20 歳代(17.1%)」で「40 歳代(16.5%)」と続く。

【小学校区別】

- 「「そう思う+ややそう思う」の割合が最も高いのは「神谷小学校区(45.6%)」で、「ひたち野うしく小学校区(43.4%)」「牛久第二小学校区(42.3%)」と続く。
- 「「あまりそう思わない+思わない」の割合が最も高いのは「奥野小学校区(27.5%)」で「牛久小学校区(18.1%)」と続く。

		そう 思う	やや そう 思う	普 通	あ ま り そ う 思 わ な い	思 わ な い	無 回 答
全体	(N=820)	9.9	28.2	46.2	11.1	2.6	2.1
年 代 別	10歳代 (n=50)	30.0	34.0	26.0	6.0	0.0	4.0
	20歳代 (n=105)	8.6	34.3	40.0	13.3	3.8	0.0
	30歳代 (n=112)	8.0	23.2	52.7	10.7	3.6	1.8
	40歳代 (n=115)	7.8	28.7	44.3	11.3	5.2	2.6
	50歳代 (n=129)	8.5	26.4	55.0	7.0	1.6	1.6
	60歳代 (n=169)	5.9	32.0	46.7	11.8	3.0	0.6
	70歳以上 (n=133)	12.8	21.8	46.6	14.3	0.0	4.5
小 学 校 区 別	牛久小学校区 (n=83)	6.0	19.3	55.4	14.5	3.6	1.2
	岡田小学校区 (n=136)	9.6	30.1	47.8	8.8	2.9	0.7
	奥野小学校区 (n=40)	7.5	10.0	52.5	22.5	5.0	2.5
	牛久第二小学校区 (n=78)	9.0	33.3	38.5	12.8	2.6	3.8
	中根小学校区 (n=135)	12.6	26.7	45.2	10.4	2.2	3.0
	向台小学校区 (n=150)	5.3	33.3	46.0	10.7	2.7	2.0
	神谷小学校区 (n=90)	16.7	28.9	38.9	13.3	1.1	1.1
	ひたち野うしく小学校区 (n=92)	13.0	30.4	48.9	4.3	1.1	2.2

問2-1（詳細）福祉が充実している

N=820

【年代別】

- 「「そう思う+ややそう思う」の割合が最も高いのは「10歳代(48.0%)」で、「20歳代(29.6%)」「50歳代(22.5%)」と続く。
「「あまりそう思わない+思わない」の割合が最も高いのは「30歳代(24.1%)」で「60歳代(21.9%)」「20歳代(20.9%)」と続く。

【小学校区別】

- 「「そう思う+ややそう思う」の割合が最も高いのは「神谷小学校区(27.8%)」で、「牛久第二小学校区(25.6%)」「ひたち野うしく小学校区(25.0%)」と続く。
- 「「あまりそう思わない+思わない」の割合が最も高いのは「牛久小学校区(27.7%)」で「奥野小学校区(27.5%)」と続く。

		そう 思う	やや そう 思う	普 通	あ ま り そ う 思 わ な い	思 わ な い	無 回 答	無 効
全体 (N=820)		4.0	19.4	53.7	15.5	3.9	3.4	0.1
年 代 別	10歳代 (n=50)	14.0	34.0	38.0	6.0	2.0	6.0	0.0
	20歳代 (n=105)	4.8	24.8	48.6	19.0	1.9	1.0	0.0
	30歳代 (n=112)	0.9	17.0	56.3	16.1	8.0	1.8	0.0
	40歳代 (n=115)	2.6	18.3	55.7	15.7	3.5	3.5	0.9
	50歳代 (n=129)	2.3	20.2	56.6	12.4	3.9	4.7	0.0
	60歳代 (n=169)	1.8	18.9	56.2	17.8	4.1	1.2	0.0
	70歳以上 (n=133)	7.5	13.5	54.9	14.3	3.0	6.8	0.0
小 学 校 区 別	牛久小学校区 (n=83)	2.4	20.5	45.8	21.7	6.0	3.6	0.0
	岡田小学校区 (n=136)	2.2	21.3	56.6	11.8	5.9	2.2	0.0
	奥野小学校区 (n=40)	0.0	15.0	55.0	20.0	7.5	2.5	0.0
	牛久第二小学校区 (n=78)	5.1	20.5	47.4	17.9	2.6	6.4	0.0
	中根小学校区 (n=135)	5.2	19.3	54.8	14.1	2.2	4.4	0.0
	向台小学校区 (n=150)	3.3	18.7	54.7	16.0	4.0	2.7	0.7
	神谷小学校区 (n=90)	6.7	21.1	52.2	15.6	3.3	1.1	0.0
	ひたち野うしく小学校区 (n=92)	5.4	19.6	59.8	9.8	2.2	3.3	0.0

問2-1 (詳細) 交通の便が良い

N=820

【年代別】

- 「「そう思う+ややそう思う」の割合が最も高いのは「40 歳代(42.6%)」で、「10 歳代(40.0%)」「30 歳代(39.3%)」と続く。
- 「「あまりそう思わない+思わない」の割合が最も高いのは「50 歳代(38.0%)」で「60 歳代(34.9%)」「30 歳代(34.8%)」と続く。

【小学校区別】

- 「「そう思う+ややそう思う」の割合が最も高いのは「ひたち野うしく小学校区(55.5%)」で、「牛久第二小学校区(41.0%)」「中根小学校区(37.7%)」と続く。
- 「「あまりそう思わない+思わない」の割合が「奥野小学校区(70.0%)」で特に高く、他の小学校区は40%以下である。

		そう 思う	やや そう 思う	普 通	あ ま り そ う 思 わ な い	思 わ な い	無 回 答
全体	(N=820)	9.0	23.3	32.6	22.1	11.0	2.1
年 代 別	10歳代 (n=50)	16.0	24.0	26.0	22.0	8.0	4.0
	20歳代 (n=105)	13.3	19.0	35.2	17.1	15.2	0.0
	30歳代 (n=112)	8.9	30.4	25.0	22.3	12.5	0.9
	40歳代 (n=115)	10.4	32.2	31.3	15.7	7.8	2.6
	50歳代 (n=129)	5.4	20.9	34.1	24.0	14.0	1.6
	60歳代 (n=169)	3.0	21.9	39.6	26.0	8.9	0.6
	70歳以上 (n=133)	12.8	17.3	30.8	24.1	9.8	5.3
小 学 校 区 別	牛久小学校区 (n=83)	4.8	14.5	49.4	22.9	7.2	1.2
	岡田小学校区 (n=136)	4.4	24.3	32.4	25.0	12.5	1.5
	奥野小学校区 (n=40)	0.0	5.0	22.5	27.5	42.5	2.5
	牛久第二小学校区 (n=78)	15.4	25.6	30.8	15.4	10.3	2.6
	中根小学校区 (n=135)	13.3	24.4	31.9	20.7	6.7	3.0
	向台小学校区 (n=150)	4.0	24.0	34.7	24.0	10.0	3.3
	神谷小学校区 (n=90)	6.7	23.3	30.0	26.7	12.2	1.1
	ひたち野うしく小学校区 (n=92)	20.7	34.8	23.9	16.3	4.3	0.0

問2-1（詳細）買い物が便利

N=820

【年代別】

- 「「そう思う+ややそう思う」の割合が最も高いのは「40歳代(53.9%)」で「30歳代(49.1%)」と続く。
- 「「あまりそう思わない+思わない」の割合が最も高いのは「70歳以上(27.1%)」で「10歳代(24.0%)」、「20歳代(23.8%)」と続く。

【小学校区別】

- 「「そう思う+ややそう思う」の割合は「ひたち野うしく小学校区(75.0%)」で最も高い。
- 「「あまりそう思わない+思わない」の割合が最も高いのは「奥野小学校区(62.5%)」で「岡田小学校区(30.2%)」、「牛久小学校区(28.9%)」と続く。

		そう 思う	やや そう 思う	普 通	あ ま り そ う 思 わ な い	思 わ な い	無 回 答
全体 (N=820)		17.0	30.0	28.9	14.8	6.8	2.6
年 代 別	10歳代 (n=50)	18.0	32.0	20.0	16.0	8.0	6.0
	20歳代 (n=105)	21.9	25.7	28.6	15.2	8.6	0.0
	30歳代 (n=112)	16.1	33.0	29.5	11.6	8.9	0.9
	40歳代 (n=115)	19.1	34.8	23.5	15.7	3.5	3.5
	50歳代 (n=129)	15.5	29.5	31.8	17.1	4.7	1.6
	60歳代 (n=169)	13.0	30.2	37.3	11.2	6.5	1.8
	70歳以上 (n=133)	18.0	26.3	23.3	18.8	8.3	5.3
小 学 校 区 別	牛久小学校区 (n=83)	10.8	22.9	36.1	26.5	2.4	1.2
	岡田小学校区 (n=136)	11.0	29.4	27.9	19.9	10.3	1.5
	奥野小学校区 (n=40)	2.5	10.0	20.0	17.5	45.0	5.0
	牛久第二小学校区 (n=78)	17.9	34.6	24.4	12.8	7.7	2.6
	中根小学校区 (n=135)	17.8	34.8	29.6	8.9	5.2	3.7
	向台小学校区 (n=150)	18.0	24.7	36.0	15.3	2.7	3.3
	神谷小学校区 (n=90)	18.9	33.3	25.6	16.7	2.2	3.3
	ひたち野うしく小学校区 (n=92)	31.5	43.5	20.7	3.3	1.1	0.0

問2-1 (詳細) 自然環境が良い

N=820

【年代別】

- 「「そう思う+ややそう思う」の割合が最も高いのは「10歳代(64.0%)」で、「60歳代(62.1%)」、「70歳以上(61.7%)」と続く。
- 「あまりそう思わない+思わない」の割合は全世代で10%以下である。

【小学校区別】

- 「「そう思う+ややそう思う」の割合が最も高いのは「牛久小学校区(62.7%)」で、「奥野小学校区(62.5%)」「岡田小学校区(59.6%)」と続く。
- 「あまりそう思わない+思わない」の割合は全小学校区で10%以下である。

		そう 思う	やや そう 思う	普 通	あ ま り そ う 思 わ な い	思 わ な い	無 回 答
全体	(N=820)	16.8	39.9	35.5	4.9	0.6	2.3
年代別	10歳代 (n=50)	32.0	32.0	28.0	2.0	2.0	4.0
	20歳代 (n=105)	20.0	33.3	39.0	6.7	1.0	0.0
	30歳代 (n=112)	13.4	38.4	41.1	5.4	0.0	1.8
	40歳代 (n=115)	7.8	44.3	35.7	7.8	0.9	3.5
	50歳代 (n=129)	14.7	38.8	41.1	3.9	0.0	1.6
	60歳代 (n=169)	13.6	48.5	31.4	4.7	0.6	1.2
	70歳以上 (n=133)	25.6	36.1	30.8	3.0	0.0	4.5
小学校区別	牛久小学校区 (n=83)	21.7	41.0	28.9	6.0	1.2	1.2
	岡田小学校区 (n=136)	12.5	47.1	34.6	3.7	0.7	1.5
	奥野小学校区 (n=40)	12.5	50.0	25.0	7.5	2.5	2.5
	牛久第二小学校区 (n=78)	16.7	33.3	38.5	7.7	1.3	2.6
	中根小学校区 (n=135)	19.3	37.8	35.6	5.2	0.0	2.2
	向台小学校区 (n=150)	12.7	39.3	40.7	4.7	0.0	2.7
	神谷小学校区 (n=90)	23.3	34.4	36.7	2.2	1.1	2.2
	ひたち野うしく小学校区 (n=92)	18.5	40.2	33.7	5.4	0.0	2.2

問2-1（詳細）治安が良い

N=820

【年代別】

- 「「そう思う+ややそう思う」の割合が最も高いのは「10歳代(58.0%)」で、「70歳以上(48.8%)」「20歳代(45.7%)」と続く。
- 「「あまりそう思わない+思わない」の割合が最も高いのは「30歳代(19.7%)」で「20歳代(19.1%)」と続く。

【小学校区別】

- 「「そう思う+ややそう思う」の割合が最も高いのは「向台小学校区(46.6%)」で、「ひたち野うしく小学校区(44.5%)」「神谷小学校区(42.2%)」と続く。
- 「「あまりそう思わない+思わない」の割合が最も高いのは「中根小学校区(20.0%)」で「奥野小学校区(17.5%)」と続く。

		そう 思う	やや そう 思う	普 通	あ ま り そ う 思 わ な い	思 わ な い	無 回 答
全体 (N=820)		11.8	30.5	41.7	11.6	2.6	1.8
年 代 別	10歳代 (n=50)	28.0	30.0	22.0	12.0	4.0	4.0
	20歳代 (n=105)	20.0	25.7	35.2	18.1	1.0	0.0
	30歳代 (n=112)	8.0	29.5	42.0	13.4	6.3	0.9
	40歳代 (n=115)	6.1	27.0	50.4	13.0	0.9	2.6
	50歳代 (n=129)	10.1	31.0	47.3	8.5	0.8	2.3
	60歳代 (n=169)	10.7	31.4	44.4	11.2	1.8	0.6
	70歳以上 (n=133)	10.5	38.3	36.8	6.8	4.5	3.0
小 学 校 区 別	牛久小学校区 (n=83)	9.6	31.3	43.4	13.3	1.2	1.2
	岡田小学校区 (n=136)	8.8	31.6	47.1	9.6	1.5	1.5
	奥野小学校区 (n=40)	10.0	27.5	42.5	10.0	7.5	2.5
	牛久第二小学校区 (n=78)	11.5	29.5	42.3	9.0	5.1	2.6
	中根小学校区 (n=135)	14.1	27.4	35.6	17.0	3.0	3.0
	向台小学校区 (n=150)	11.3	35.3	38.0	11.3	2.0	2.0
	神谷小学校区 (n=90)	12.2	30.0	47.8	5.6	3.3	1.1
	ひたち野うしく小学校区 (n=92)	15.2	29.3	40.2	14.1	1.1	0.0

問2-1 (詳細) 災害が少ない

N=820

【年代別】

- 「「そう思う+ややそう思う」の割合が最も高いのは「20歳代(76.2%)」で、「50歳代(67.9%)」が最も低い[※]が、他の年代も70%以上である。
- 「「あまりそう思わない+思わない」の割合は全年代で10%未満である。

【小学校区別】

- 「「そう思う+ややそう思う」の割合が最も高いのは「神谷小学校区(80.0%)」で、「牛久第二小学校区(76.9%)」と続く。
- 「「あまりそう思わない+思わない」の割合が最も高いのは「奥野小学校区(10.0%)」で「向台小学校区(6.6%)」と続き、他の小学校区は5%未満である。

		そう 思う	やや そう 思う	普 通	あ ま り そ う 思 わ な い	思 わ な い	無 回 答
全体 (N=820)		33.4	39.0	21.7	3.4	0.5	2.0
年 代 別	10歳代 (n=50)	42.0	32.0	16.0	4.0	0.0	6.0
	20歳代 (n=105)	38.1	38.1	18.1	5.7	0.0	0.0
	30歳代 (n=112)	22.3	47.3	22.3	7.1	0.0	0.9
	40歳代 (n=115)	29.6	38.3	25.2	2.6	1.7	2.6
	50歳代 (n=129)	30.2	39.5	25.6	1.6	0.8	2.3
	60歳代 (n=169)	33.1	41.4	22.5	1.8	0.6	0.6
	70歳以上 (n=133)	42.1	33.1	18.8	3.0	0.0	3.0
小 学 校 区 別	牛久小学校区 (n=83)	24.1	39.8	28.9	4.8	0.0	2.4
	岡田小学校区 (n=136)	39.0	36.8	19.9	2.9	0.7	0.7
	奥野小学校区 (n=40)	30.0	32.5	25.0	7.5	2.5	2.5
	牛久第二小学校区 (n=78)	42.3	34.6	19.2	1.3	0.0	2.6
	中根小学校区 (n=135)	32.6	43.0	18.5	3.7	0.0	2.2
	向台小学校区 (n=150)	32.7	34.7	23.3	5.3	1.3	2.7
	神谷小学校区 (n=90)	34.4	45.6	17.8	1.1	0.0	1.1
	ひたち野うしく小学校区 (n=92)	31.5	42.4	22.8	2.2	0.0	1.1

問2-1（詳細）余暇を過ごす場や機会が充実している

N=820

【年代別】

- 「「そう思う+ややそう思う」の割合が最も高いのは「20歳代(21.9%)」で、「70歳以上(21.8%)」「60歳代(19.0%)」と続く。
- 「「あまりそう思わない+思わない」の割合が最も高いのは「30歳代(50.1%)」で「20歳代(45.7%)」「10歳代(40.0%)」と続く。

【小学校区別】

- 「「そう思う+ややそう思う」の割合が最も高いのは「ひたち野うしく小学校区(23.9%)」で、「牛久第二小学校区(21.8%)」と続く。
- 「「あまりそう思わない+思わない」の割合が最も高いのは「奥野小学校区(45.0%)」で、「中根小学校区(39.2%)」「牛久第二小学校区(38.5%)」と続く。

		そう 思う	やや そう 思う	普 通	あ ま り そ う 思 わ な い	思 わ な い	無 回 答
全体 (N=820)		4.3	13.3	43.5	27.9	9.0	2.0
年 代 別	10歳代 (n=50)	10.0	4.0	42.0	28.0	12.0	4.0
	20歳代 (n=105)	7.6	14.3	32.4	29.5	16.2	0.0
	30歳代 (n=112)	3.6	12.5	33.0	31.3	18.8	0.9
	40歳代 (n=115)	0.9	13.0	46.1	33.0	4.3	2.6
	50歳代 (n=129)	1.6	12.4	50.4	29.5	4.7	1.6
	60歳代 (n=169)	3.6	15.4	48.5	24.9	7.1	0.6
	70歳以上 (n=133)	6.8	15.0	47.4	21.8	4.5	4.5
小 学 校 区 別	牛久小学校区 (n=83)	4.8	10.8	47.0	27.7	7.2	2.4
	岡田小学校区 (n=136)	3.7	13.2	44.1	25.7	11.8	1.5
	奥野小学校区 (n=40)	2.5	5.0	45.0	40.0	5.0	2.5
	牛久第二小学校区 (n=78)	5.1	16.7	37.2	24.4	14.1	2.6
	中根小学校区 (n=135)	4.4	14.1	39.3	28.1	11.1	3.0
	向台小学校区 (n=150)	3.3	11.3	45.3	29.3	8.7	2.0
	神谷小学校区 (n=90)	4.4	13.3	46.7	28.9	5.6	1.1
	ひたち野うしく小学校区 (n=92)	6.5	17.4	42.4	27.2	6.5	0.0

問2-1 (詳細) 人付き合いがしやすい(近所づきあいや友人関係など)

N=820

【年代別】

- 「「そう思う+ややそう思う」の割合が最も高いのは「10歳代(40.0%)」で、「50歳代(29.5%)」「70歳以上(29.3%)」と続く。
- 「「あまりそう思わない+思わない」の割合が最も高いのは「30歳代(26.8%)」で「20歳代(23.8%)」と続く。

【小学校区別】

- 「「そう思う+ややそう思う」の割合が最も高いのは「牛久小学校区(30.1%)」で、「岡田小学校区(29.4%)」「牛久第二小学校区(28.2%)」と続く。
- 「「あまりそう思わない+思わない」の割合が最も高いのは「岡田小学校区(21.3%)」で「神谷小学校区(20.0%)」と続く。

		そう 思う	やや そう 思う	普 通	あ ま り そ う 思 わ な い	思 わ な い	無 回 答
全体	(N=820)	5.7	20.2	54.5	14.3	3.4	1.8
年 代 別	10歳代 (n=50)	12.0	28.0	50.0	4.0	2.0	4.0
	20歳代 (n=105)	7.6	18.1	50.5	18.1	5.7	0.0
	30歳代 (n=112)	6.3	14.3	51.8	21.4	5.4	0.9
	40歳代 (n=115)	1.7	18.3	60.0	11.3	6.1	2.6
	50歳代 (n=129)	7.8	21.7	53.5	14.7	0.8	1.6
	60歳代 (n=169)	3.6	21.3	57.4	15.4	1.8	0.6
	70歳以上 (n=133)	6.0	23.3	54.9	9.8	2.3	3.8
小 学 校 区 別	牛久小学校区 (n=83)	4.8	25.3	54.2	10.8	3.6	1.2
	岡田小学校区 (n=136)	5.1	24.3	47.8	16.9	4.4	1.5
	奥野小学校区 (n=40)	5.0	20.0	57.5	12.5	2.5	2.5
	牛久第二小学校区 (n=78)	6.4	21.8	52.6	14.1	2.6	2.6
	中根小学校区 (n=135)	3.0	20.0	58.5	12.6	3.0	3.0
	向台小学校区 (n=150)	7.3	18.7	53.3	15.3	3.3	2.0
	神谷小学校区 (n=90)	5.6	13.3	60.0	17.8	2.2	1.1
	ひたち野うしく小学校区 (n=92)	7.6	18.5	54.3	14.1	5.4	0.0

問2-1（詳細）地域に愛着を感じている

N=820

【年代別】

- 「「そう思う+ややそう思う」の割合が最も高いのは「10歳代(50.0%)」で、「20歳代(47.6%)」「60歳代(44.3%)」と続く。
- 「「あまりそう思わない+思わない」の割合が最も高いのは「30歳代(22.3%)」で「20歳代(20.9%)」と続く。

【小学校区別】

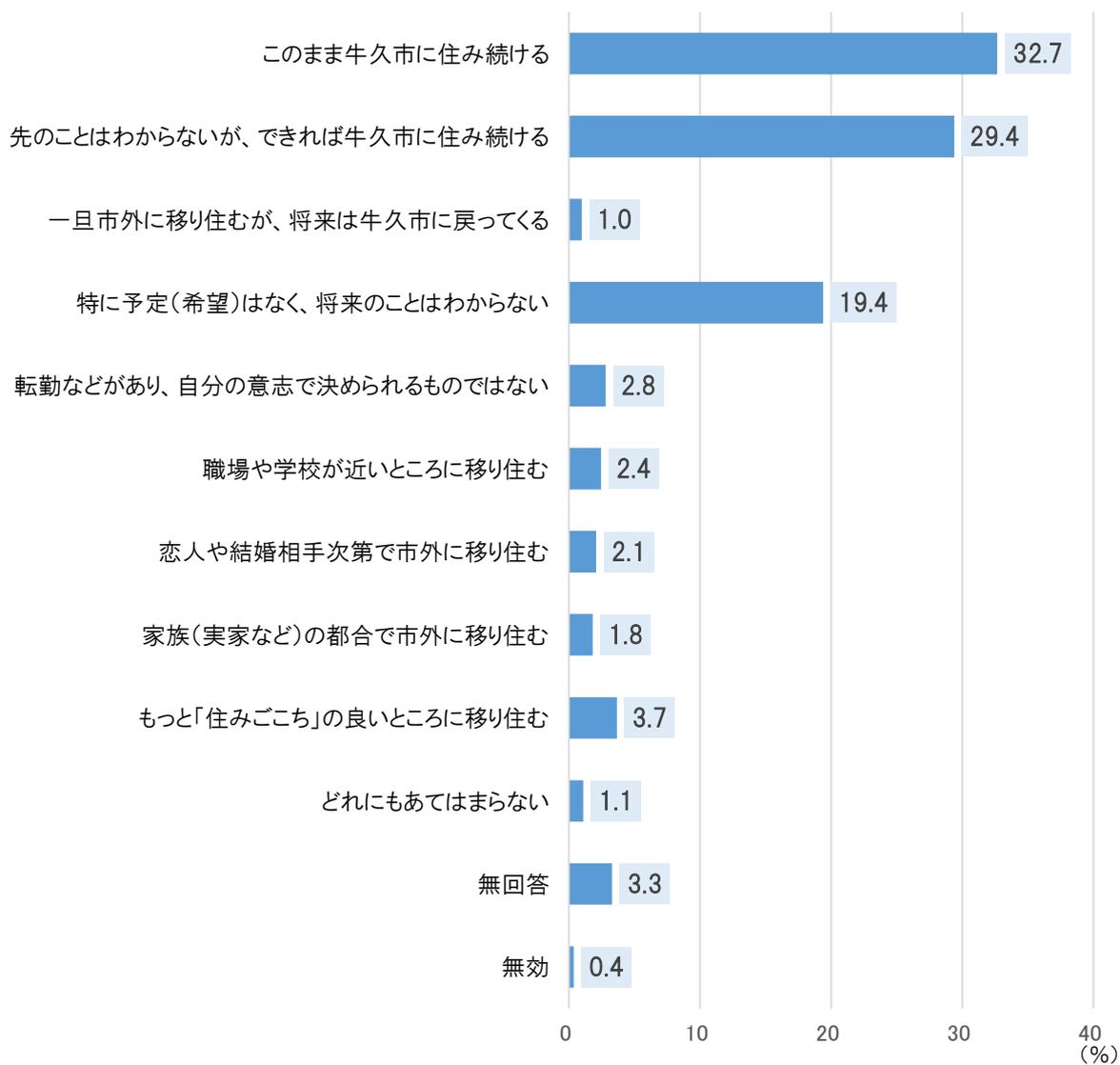
- 「「そう思う+ややそう思う」の割合が最も高いのは「牛久第二小学校区(55.1%)」で、「牛久小学校区(46.9%)」「ひたち野うしく小学校区(44.6%)」と続く。
- 「「あまりそう思わない+思わない」の割合が最も高いのは「中根小学校区(16.3%)」で「向台小学校区(16.0%)」と続く。

		そう 思う	やや そう 思う	普 通	あ ま り そ う 思 わ な い	思 わ な い	無 回 答
全体 (N=820)		11.8	29.8	42.0	10.5	4.3	1.7
年 代 別	10歳代 (n=50)	18.0	32.0	36.0	8.0	2.0	4.0
	20歳代 (n=105)	15.2	32.4	31.4	13.3	7.6	0.0
	30歳代 (n=112)	4.5	28.6	43.8	12.5	9.8	0.9
	40歳代 (n=115)	11.3	31.3	40.9	10.4	3.5	2.6
	50歳代 (n=129)	12.4	23.3	50.4	9.3	3.1	1.6
	60歳代 (n=169)	11.2	33.1	43.2	10.1	1.8	0.6
	70歳以上 (n=133)	13.5	30.1	43.6	7.5	2.3	3.0
小 学 校 区 別	牛久小学校区 (n=83)	12.0	34.9	37.3	9.6	4.8	1.2
	岡田小学校区 (n=136)	14.0	28.7	44.1	8.8	3.7	0.7
	奥野小学校区 (n=40)	7.5	25.0	52.5	10.0	2.5	2.5
	牛久第二小学校区 (n=78)	21.8	33.3	29.5	6.4	6.4	2.6
	中根小学校区 (n=135)	3.7	34.1	43.7	13.3	3.0	2.2
	向台小学校区 (n=150)	12.7	24.7	44.0	10.7	5.3	2.7
	神谷小学校区 (n=90)	11.1	27.8	45.6	11.1	3.3	1.1
	ひたち野うしく小学校区 (n=92)	12.0	32.6	41.3	9.8	4.3	0.0

問2-2 将来の居住地の予定(希望)についてお聞きます。(SA)

N=820

- 最も割合が高いのは「このまま牛久市に住み続ける(32.7%)」で、「先のことは分からないが、できれば牛久市に住み続ける(29.4%)」「特に予定(希望)はなく、将来のことは分からない(19.4%)」と続く。



【年代別】

- 年代が高いほど「このまま牛久市に住み続ける」と回答した割合が高い。
- 「10歳代」と「20歳代」は「特に予定(希望)はなく、将来のことはわからない」と回答した割合が高い。

【小学校区別】

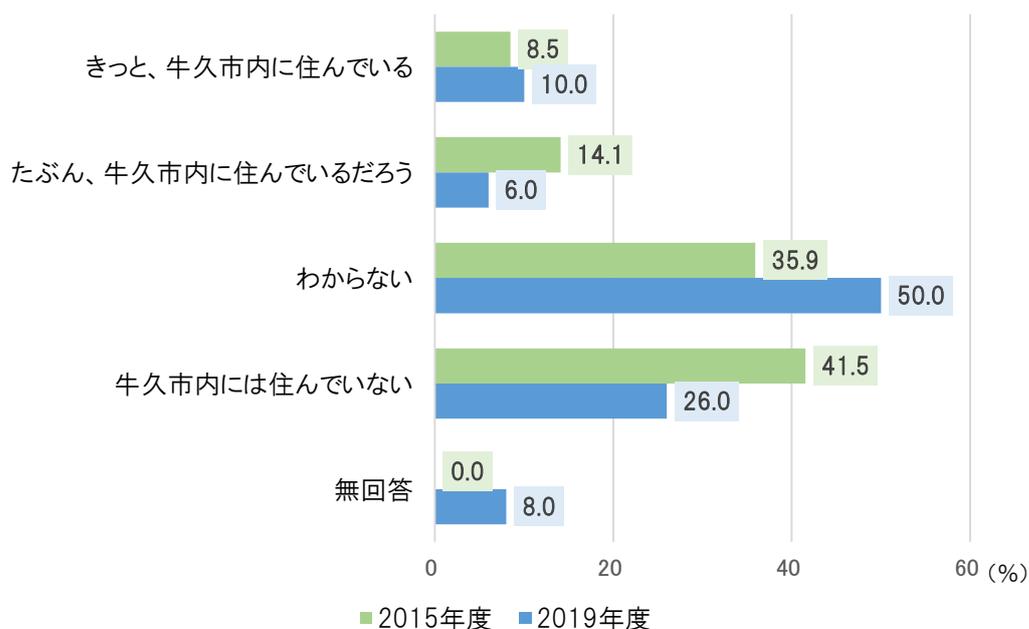
- 「このまま牛久市に住み続ける」と回答した割合が最も高いのは「奥野小学校区(42.5%)」。

		このまま牛久市に住み続ける	先のことはわからないが、できれば牛久市に住み続ける	一旦市外に移り住むが、将来は牛久市に戻ってくる	特に予定(希望)はなく、将来のことはわからない	転勤などがあり、自分の意志で決められるものではない	職場や学校が近いところに移り住む	恋人や結婚相手次第で市外に移り住む	家族(実家など)の都合で市外に移り住む	もっと「住みごころ」の良いところに移り住む	どれもあてはまらない	無回答	無効
全体	(N=820)	32.7	29.4	1.0	19.4	2.8	2.4	2.1	1.8	3.7	1.1	3.3	0.4
年代別	10歳代 (n=50)	4.0	6.0	6.0	48.0	2.0	14.0	2.0	0.0	10.0	0.0	8.0	0.0
	20歳代 (n=105)	8.6	17.1	3.8	34.3	6.7	9.5	9.5	0.0	7.6	1.0	1.9	0.0
	30歳代 (n=112)	24.1	32.1	0.9	17.9	7.1	1.8	3.6	1.8	3.6	3.6	3.6	0.0
	40歳代 (n=115)	20.9	44.3	0.0	18.3	4.3	0.9	1.7	3.5	3.5	0.0	2.6	0.0
	50歳代 (n=129)	41.1	33.3	0.0	14.0	1.6	0.0	0.0	3.1	3.1	0.0	3.1	0.8
	60歳代 (n=169)	46.7	31.4	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	1.8	1.2	1.2	2.4	0.0
	70歳以上 (n=133)	54.1	27.8	0.0	10.5	0.0	0.0	0.0	1.5	0.8	0.0	3.8	1.5
小学校区別	牛久小学校区 (n=83)	41.0	22.9	0.0	18.1	4.8	1.2	2.4	2.4	0.0	2.4	4.8	0.0
	岡田小学校区 (n=136)	35.3	30.9	0.7	16.9	0.0	2.9	2.2	0.0	6.6	1.5	2.9	0.0
	奥野小学校区 (n=40)	42.5	17.5	2.5	22.5	5.0	2.5	0.0	0.0	5.0	0.0	2.5	0.0
	牛久第二小学校区 (n=78)	29.5	32.1	2.6	19.2	5.1	2.6	1.3	2.6	0.0	2.6	2.6	0.0
	中根小学校区 (n=135)	28.9	30.4	0.7	24.4	3.0	3.0	1.5	1.5	2.2	0.7	3.7	0.0
	向台小学校区 (n=150)	27.3	31.3	0.7	20.0	2.0	2.0	3.3	2.0	6.0	0.0	4.7	0.7
	神谷小学校区 (n=90)	40.0	26.7	2.2	18.9	2.2	1.1	1.1	1.1	3.3	1.1	1.1	1.1
	ひたち野うしく小学校区 (n=92)	28.3	32.6	0.0	18.5	4.3	4.3	1.1	4.3	3.3	0.0	2.2	1.1

問2-2 前回調査(高校生アンケート)との比較

前回 N=284、今回 N=50

- 2015年に行った、当時18歳の市民に対して行ったアンケートの結果と、今回アンケートの10歳代の回答を比較。
- 選択肢を若干変えているため、類似した選択肢で比較(選択肢の対応は以下に記載)。
- 「わからない」が大きく増加(35.9%→50.0%)し、「牛久市内には住んでいない」が大きく減少(41.5%→26.0%)。



(選択肢の対応表)

2015年調査	2019年調査	本集計
きっと、牛久市内に住んでいる	このまま牛久市に住み続ける 一旦市外に移り住むが、将来は牛久市に戻ってくる	きっと、牛久市内に住んでいる
たぶん、牛久市内に住んでいるだろう	先のことはわからないが、できれば牛久市に住み続ける	たぶん、牛久市内に住んでいるだろう
わからない	特に予定(希望)はなく、将来のことはわからない 転勤などがあり、自分の意志で決められるものではない	わからない
たぶん、牛久市には住んでいない きっと、牛久市には住まない	職場や学校が近いところに移り住む 恋人や結婚相手次第で市外に移り住む 家族(実家など)の都合で市外に移り住み もっと「住みごち」の良いところに移り住む	牛久市内には住んでいない

(3) 出産・子育てについて

問3-1 希望する子どもの人数と実際に持つつもりの子どもの人数は、何人ですか。(SA)

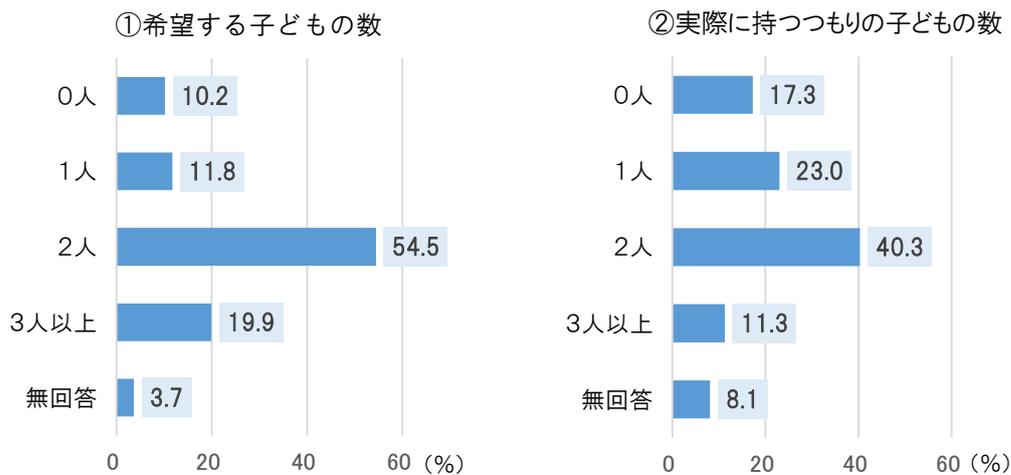
N=382

【①希望する子どもの数】

- 最も割合が高いのは「2人(54.5%)」で、「3人以上(19.9%)」「1人(11.8%)」と続く。
- 加重平均は 1.8 人

【②実際に持つつもりの子どもの数】

- 最も割合が高いのは「2人(40.3%)」で、「1人(23.0%)」「0人(17.3%)」と続く。
- 加重平均は 1.4 人



【年代別】

- 年代別の加重平均をみると、「30歳代」が最も高く、「希望する子どもの数」1.9人、「実際に持つつもりの子どもの数」1.5人。

【独身・既婚別】

- 独身・既婚別の加重平均では「既婚」が「独身」よりも高く、「既婚」のほうが、「希望する子どもの数」では 0.2人、「実際に持つつもりの子どもの数」では 0.4人多い。

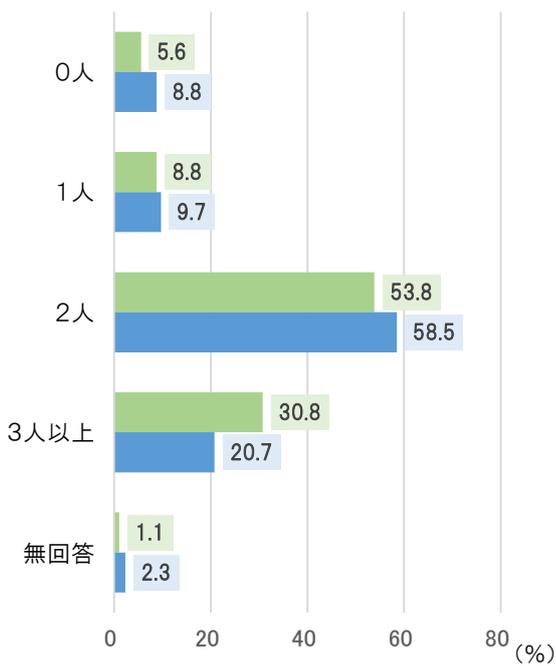
	①希望する子どもの数						②実際に持つつもりの子どもの数						
	0人	1人	2人	3人以上	無回答	加重平均	0人	1人	2人	3人以上	無回答	加重平均	
全体 (N=382)	10.2	11.8	54.5	19.9	3.7	1.8	17.3	23.0	40.3	11.3	8.1	1.4	
年代別	10歳代 (n=50)	10.0	14.0	52.0	20.0	4.0	1.8	12.0	12.0	44.0	14.0	18.0	1.4
	20歳代 (n=105)	9.5	9.5	55.2	22.9	2.9	1.9	20.0	19.0	44.8	8.6	7.6	1.3
	30歳代 (n=112)	8.0	9.8	61.6	18.8	1.8	1.9	14.3	25.0	41.1	13.4	6.3	1.5
	40歳代 (n=115)	13.0	14.8	47.8	18.3	6.1	1.7	20.0	29.6	33.9	10.4	6.1	1.3
独身・既婚別	独身 (n=198)	16.7	9.1	53.0	17.7	3.5	1.7	26.8	15.7	35.4	10.1	12.1	1.2
	既婚 (n=181)	3.3	14.4	55.8	22.7	3.9	1.9	7.2	30.4	45.9	12.7	3.9	1.6

問3-1 前回調査(出産・子育てに関するアンケート)との比較

前回 N=845、今回 N=217

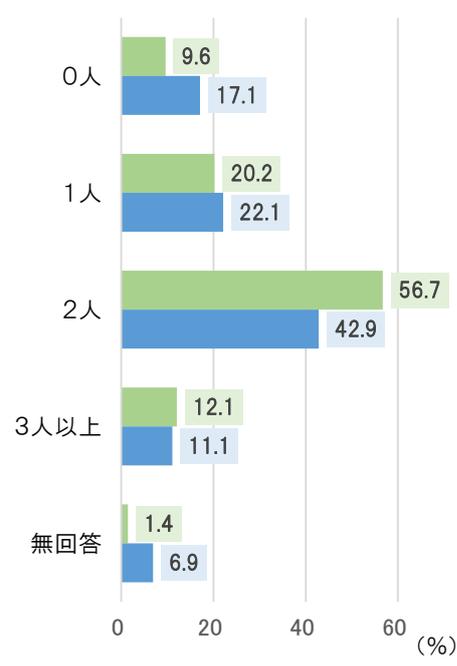
- 2015 年に行った、当時 20 歳 39 歳の市民に対して行ったアンケートの結果と、今回アンケートの同年代の回答を比較。
- 希望する子どもの数は、「2 人」が増加(53.8%→58.5%)し、「3 人以上」が大きく減少(30.8%→20.7%)。
- 実際に持つつもりの子どもの数は、「2 人」が大きく減少(56.7%→42.9%)し、0 人が増加(9.6%→17.1%)。

① 希望する子どもの数



■ 2015年度 ■ 2019年度

② 実際に持つつもりの子どもの数



■ 2015年度 ■ 2019年度

【加重平均】

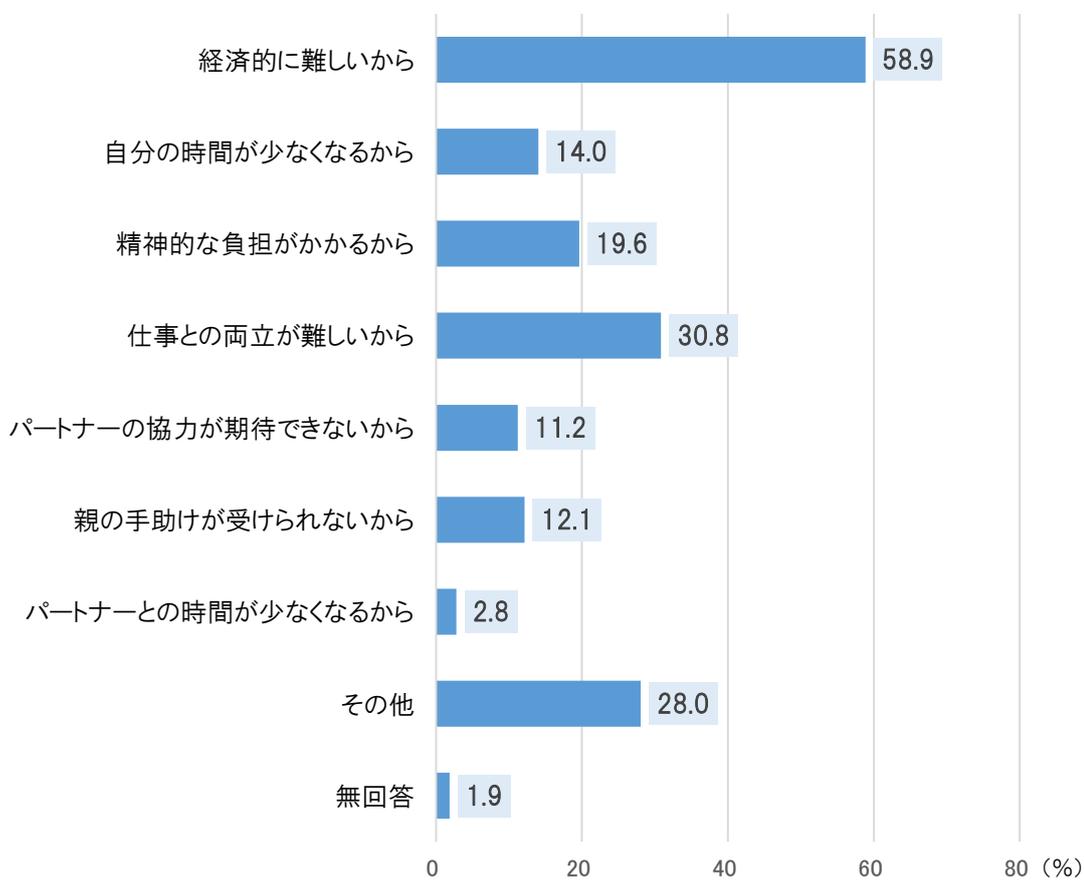
- 希望する子どもの数が 0.2 人減少、実際に持つつもりの子どもの数は 0.3 人減少。

	①希望する子どもの数	②実際に持つつもりの子どもの数
2015 年度	2.1 人	1.7 人
2019 年度	1.9 人	1.4 人

問3-2 希望する子どもの人数よりも実際に持つつもりの子どもの人数が少ない方) それはどのような理由からですか。(MA)

N=107

- 最も割合が高いのは「経済的に難しいから(58.9%)」で、「仕事との両立が難しいから(30.8%)」、「精神的な負担がかかるから(19.6%)」と続く



【年代別】

- 「10 歳代」では「仕事との両立が難しいから(50.0%)」が、「経済的に難しいから(33.3%)」を上回っている。
- 「20 歳代」では「自分の時間が少なくなるから(24.2%)」、「精神的な負担がかかるから(30.3%)」の割合が、他の年代よりも高くなっている。
- 「経済的に難しいから」の割合が最も高いのは「30 歳代(78.6%)」で、「20 歳代(69.7%)」が続く。
- 「仕事との両立が難しいから」の割合が最も高いのは「10 歳代(50.0%)」で、「20 歳代(36.4%)」「30 歳代(35.7%)」と続く。

【独身・既婚別】

- 「仕事との両立が難しいから」の割合が、「既婚(26.3%)」より「独身(36.7%)」のほうが、10.4 ポイント高い。
- 「親の手助けが期待できないから」の割合が、「独身(8.2%)」より「既婚(15.8%)」のほうが、7.6 ポイント高い。

		経済的に難しいから	自分の時間が少なくなるから	精神的な負担がかかるから	仕事との両立が難しいから	パートナーの協力が期待できないから	親の手助けが受けられないから	パートナーとの時間が少なくなるから	その他	無回答
全体	(N=107)	58.9	14.0	19.6	30.8	11.2	12.1	2.8	28.0	1.9
年代別	10歳代 (n=6)	33.3	16.7	16.7	50.0	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0
	20歳代 (n=33)	69.7	24.2	30.3	36.4	12.1	18.2	6.1	9.1	3.0
	30歳代 (n=28)	78.6	7.1	14.3	35.7	17.9	10.7	3.6	21.4	0.0
	40歳代 (n=40)	40.0	10.0	15.0	20.0	7.5	7.5	0.0	47.5	2.5
	独身 (n=49)	59.2	14.3	20.4	36.7	10.2	8.2	4.1	26.5	2.0
	既婚 (n=57)	57.9	14.0	19.3	26.3	12.3	15.8	1.8	29.8	1.8

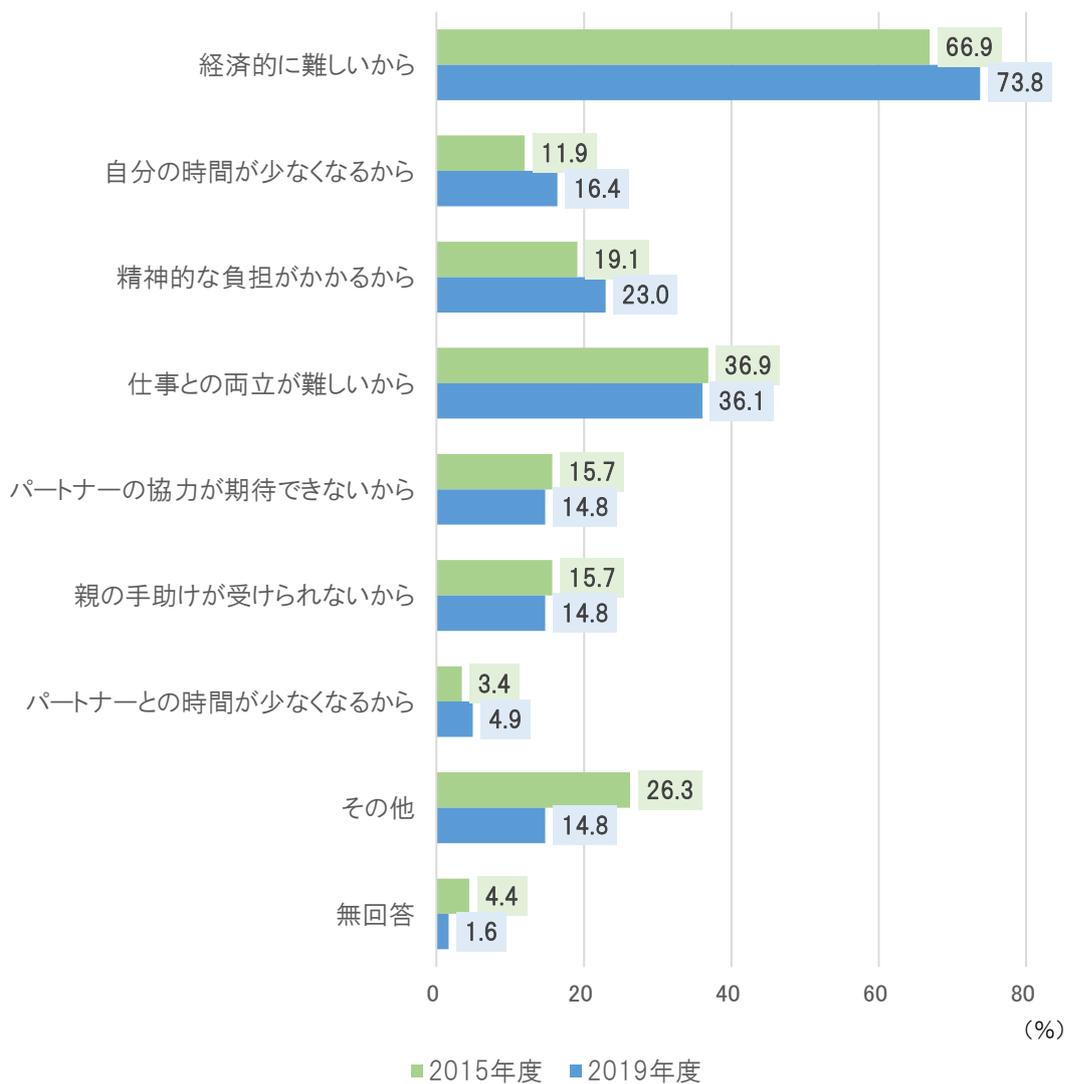
【その他の記述内容】

- 年齢に関するものが 8 件、不妊等に関するものが 6 件、結婚に関するものが 4 件。

分類	件数	記述内容
年齢	8	年齢的に
		年齢
		年取っているから
		年齢的にほぼ不可能
		年齢的に厳しいから
		年齢
		年齢
		年齢的に難しい
不妊等	6	不育症のためお金がかかるから
		不妊
		身体的に出来なかった
		授からないから
		単に出来なかった
		出来ないから
結婚	4	おそらくパートナー自体出来ない
		パートナーがいないから
		結婚していないから
		独身だから
身体	3	主人が体が弱いので
		予想していたよりも体力的な負担が大きかった
		身体的事情
病気	2	病気のためあきらめた
		病気のため
障がい	1	障がい
教育環境	1	牛久市の教育環境に希望が持てないから
男女共同	1	男性の長時間労働が是正されない、20代の若いうちから産休・育休を取得しにくい社会的環境
その他	4	高校生だから
		子供が好きではない
		一人目が生まれたばかりだから
		PTAや子供会の役員の仕事が多くなるから

問3-2 前回調査(結婚・出産・子育てに関するアンケート)との比較

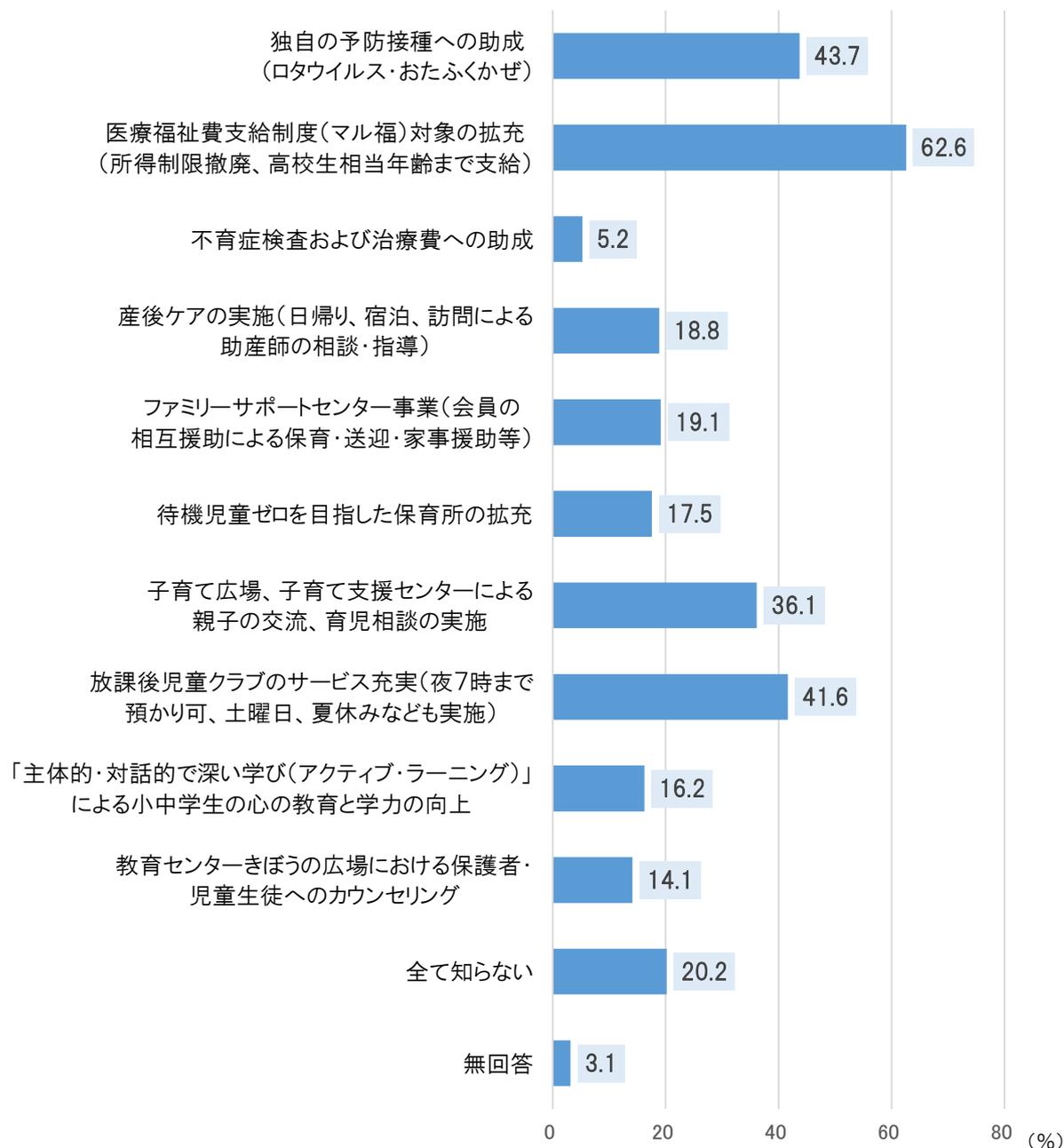
- 2015年に行った、当時20歳39歳の市民に対して行ったアンケートの結果と、今回アンケートの同年代の回答を比較。
- 全体の傾向としては、2015年調査とほとんど変わらなかった。
- 変化が最も大きいのは「経済的に難しいから(6.9ポイント増)」で、「自分の時間が少なくなるから(4.5ポイント増)」、「精神的な負担がかかるから(3.9ポイント増)」と続く。



問3-3 牛久市では多様な出産・子育て(教育)支援をおこなっていますが、ご存じのものはありますか。
(MA)

N=382

- 最も割合が高いのは「医療福祉費支給制度対象の拡充(62.6%)」で、「独自の予防接種への助成(43.7%)」「放課後児童クラブのサービス充実(41.6%)」と続く。



【性別】

- 「男性」の認知度がすべての項目において「女性」よりも低い。

【年代別】

- 「10歳代」は、「マル福」「放課後児童クラブ」「アクティブ・ラーニング」といった、自分の成長に伴って関わってきたことに対する認知度は高いが、出産や低年齢児に関することの認知度が低い。
- 「20歳代」は、「全て知らない」と答えた割合が最も高く(27.6%)、項目別でも全体的に認知度が低い。
- 「30歳代」「40歳代」においても、「不育症への助成」や「産後ケア」「ファミリーサポートセンター」などの出産・子育て支援制度の認知度が低い。

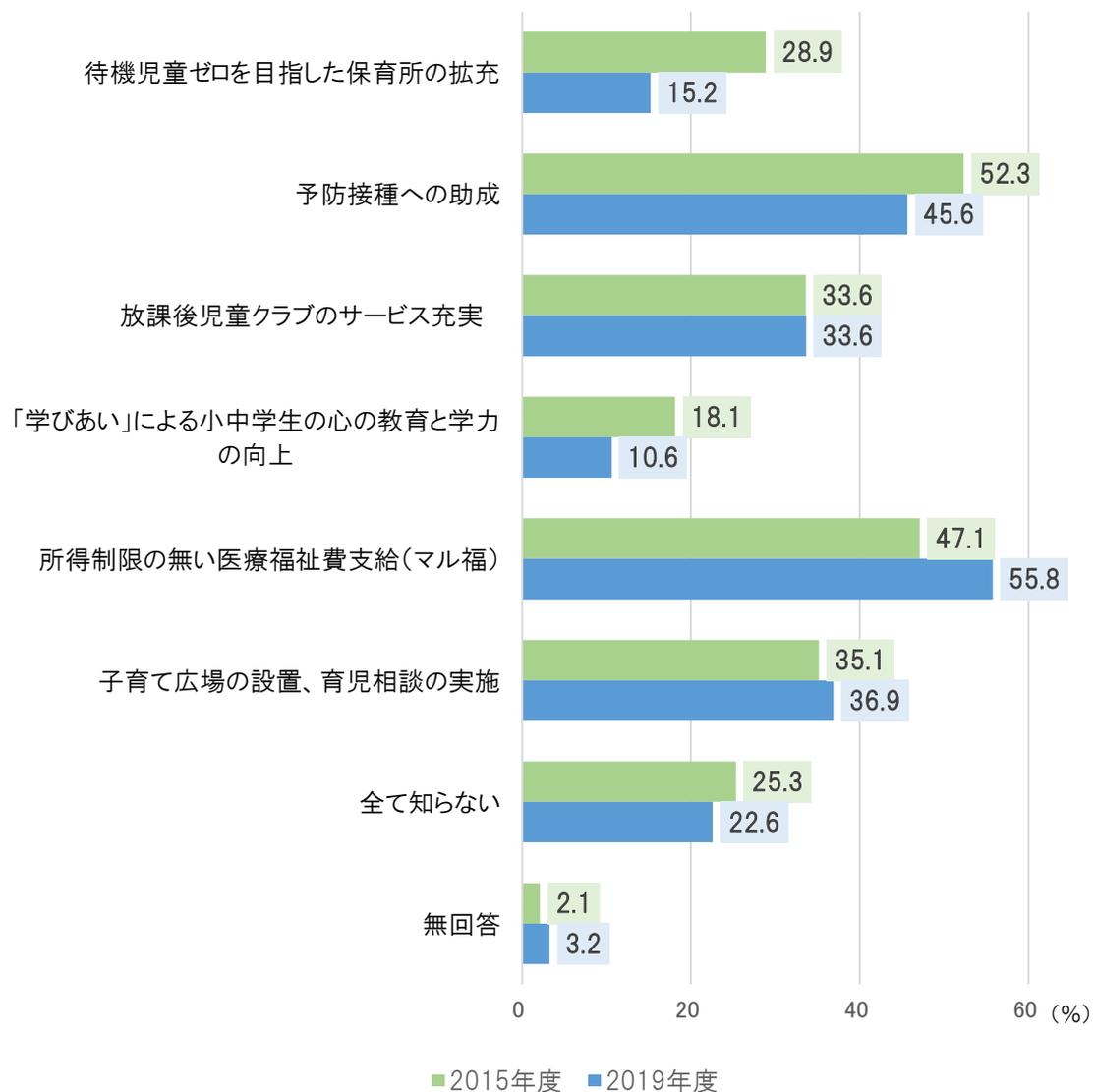
【独身・既婚】

- 「独身」の認知度がすべての項目において「既婚」よりも低い。

		独自の予防接種への助成 (ロタウイルス・おたふくかぜ)	医療福祉費支給制度(マル福)対象の拡充 (所得制限撤廃、高校生相当年齢まで支給)	不育症検査および治療費への助成	産後ケアの実施(日帰り、宿泊、訪問による 助産師の相談・指導)	ファミリーサポートセンター事業(会員の 相互援助による保育・送迎・家事援助等)	待機児童ゼロを目指した保育所の拡充	子育て広場、子育て支援センターによる 親子の交流、育児相談の実施	放課後児童クラブのサービス充実(夜7時まで 預かり可、土曜日、夏休みなども実施)	「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)」 による小中学生の心の教育と学力の向上	児童生徒ターキぼうの広場における保護者・ 児童生徒へのカウンセリング	全て知らない	無回答
全体	(N=382)	43.7	62.6	5.2	18.8	19.1	17.5	36.1	41.6	16.2	14.1	19.4	3.1
性別	男性(n=157)	35.0	52.9	1.3	7.6	6.4	16.6	24.2	30.6	7.6	5.1	26.1	3.8
	女性(n=225)	49.8	69.3	8.0	26.7	28.0	18.2	44.4	49.3	22.2	20.4	14.7	2.7
年代別	10歳代(n=50)	38.0	72.0	0.0	2.0	0.0	10.0	18.0	60.0	34.0	16.0	16.0	2.0
	20歳代(n=105)	37.1	41.9	2.9	16.2	10.5	14.3	22.9	34.3	13.3	11.4	27.6	2.9
	30歳代(n=112)	53.6	68.8	5.4	27.7	26.8	16.1	50.0	33.0	8.0	11.6	17.9	3.6
	40歳代(n=115)	42.6	71.3	9.6	20.0	27.8	25.2	42.6	48.7	19.1	18.3	14.8	3.5
	独身(n=198)	31.8	45.5	1.0	7.1	7.1	13.6	18.2	37.4	15.2	10.6	28.3	4.5
	既婚(n=181)	56.4	81.8	9.9	32.0	32.0	21.5	55.2	45.9	17.1	17.7	9.4	1.7

問3-1 前回調査(結婚・出産・子育てに関するアンケート)との比較

- 2015年に行った、当時20歳39歳の市民に対して行ったアンケートの結果と、今回アンケートの同年代の回答を比較。
- 全体の傾向としては、2015年調査とあまり変わらなかった。
- 「待機児童ゼロを目指した保育所の拡充」の認知度が大幅に下がった(13.7ポイント)理由は、現在待機児童が発生しているためと推察。
- 「所得制限の無い医療福祉費支給」の認知度が大きく上がった(8.7ポイント)理由は、受給経験者の増加によるものと推察。



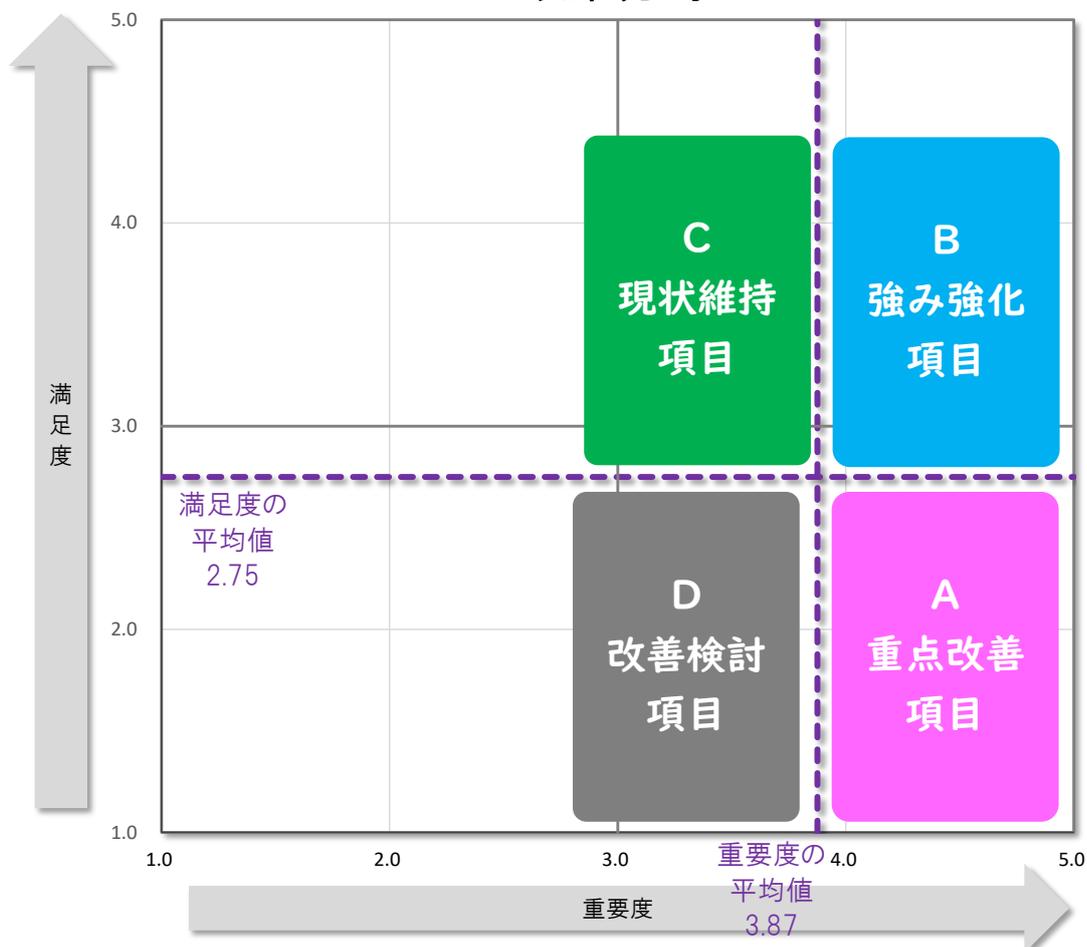
(4) 牛久市行政の取り組みについて

問4 それぞれの取り組みがこれからの牛久市にとって「重要であるか(A 重要度)」、また、現在の牛久市行政の取り組みが「満足に行われているか(B 満足度)」をお答えください。(SA)

- 本設問は、牛久市の行政の取り組みの重要度と満足度を5段階評価で回答したものの。
重要度:(重要 5・やや重要 4・普通 3・あまり重要でない 2・重要でない 1)
満足度(満足 5・やや満足 4・普通 3・やや不満 2・不満 1)
- 重要度の平均は 3.87、満足度の平均は 2.75 となっており、この平均値を境に4つのカテゴリーに分類した。

A: 重点改善項目	重要度が高いが満足度が低い項目で、最優先で取り組むべきと考えられる
B: 強み強化項目	重要度も満足度も高い項目で、市民の満足度における本市の強み、この項目を強化することでさらに満足度が高まると考えられる
C: 現状維持項目	重要度は低いが高満足度の高い項目で、改善に取り組んでも効果が期待できないと考えられる
D: 改善検討項目	重要度も満足度も低い項目で、改善の検討は行いつつも優先順位は高くないと考えられる

政策分野

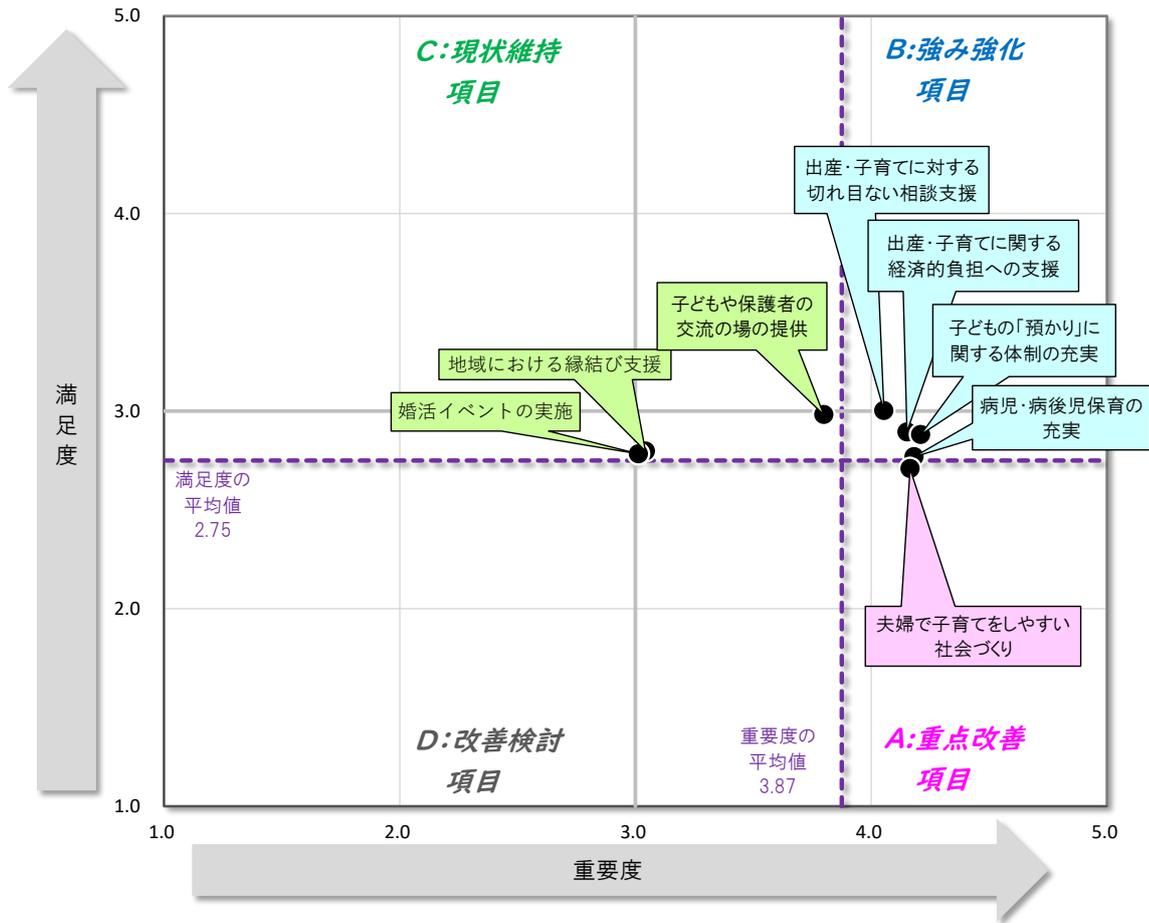


①結婚支援、出産・子育て支援分野

- 結婚支援、出産・子育て支援の分野で最も重要度が高いのは「子供の預かりに関する体制の充実(4.21)」で、「病児・病後児保育の充実(4.18)」、「夫婦で子育てしやすい社会づくり(4.17)」、「出産・子育てに関する経済的負担への支援(4.15)」と続く。
- 最も満足度が低いのは「夫婦で子育てしやすい社会づくり(2.71)」で、「病児・病後児保育の充実(2.77)」、「婚活イベントの実施(2.78)」と続く。
- 重要度が高く、満足度が低い「重点改善項目」は、「夫婦で子育てしやすい社会づくり」で、「強み強化項目」の中で満足度が最も低いのは、「病児・病後児保育の充実」。
- 未婚や晩婚が本市の課題となる中で、結婚支援に関する項目の重要度、満足度がともに低く、「改善検討項目」に近いところにあり、結婚支援の在り方について検討する必要がある。

		結婚支援		出産・子育て支援						
		地域における縁結び支援	婚活イベントの実施	出産・子育てに対する切れ目ない相談支援	出産・子育てに関する経済的負担への支援	子どもや保護者の交流の場の提供	子どもの「預かり」に関する体制の充実	病児・病後児保育の充実	夫婦で子育てをしやすい社会づくり（男性の意識向上、産休取得促進など）	
重要度	対象者数	735	730	739	743	735	743	738	739	
	加重平均	3.04	3.01	4.05	4.15	3.80	4.21	4.18	4.17	
	内訳	重要	9.4%	9.2%	37.6%	44.7%	24.1%	46.4%	43.8%	46.3%
		やや重要	22.0%	21.2%	32.7%	29.6%	35.9%	30.7%	33.1%	27.6%
		普通	41.8%	41.5%	27.7%	22.7%	36.6%	21.0%	21.5%	23.4%
		あまり重要でない	17.0%	17.8%	1.2%	2.2%	2.6%	1.2%	0.8%	1.8%
		重要でない	9.8%	10.3%	0.7%	0.8%	0.8%	0.7%	0.8%	0.9%
無効										
満足度	対象者数	500	495	502	518	504	511	489	491	
	加重平均	2.80	2.78	3.00	2.89	2.98	2.88	2.77	2.71	
	内訳	満足	0.8%	0.8%	2.4%	2.3%	2.4%	3.5%	1.8%	1.0%
		やや満足	3.2%	2.4%	12.2%	11.6%	10.5%	12.1%	7.2%	5.7%
		普通	76.6%	77.6%	72.5%	65.1%	73.0%	59.7%	65.6%	66.4%
		やや不満	13.8%	12.7%	9.2%	15.3%	11.1%	18.2%	16.8%	16.9%
		不満	5.6%	6.5%	3.8%	5.8%	3.0%	6.5%	8.6%	10.0%
無効										

結婚・出産・子育て支援



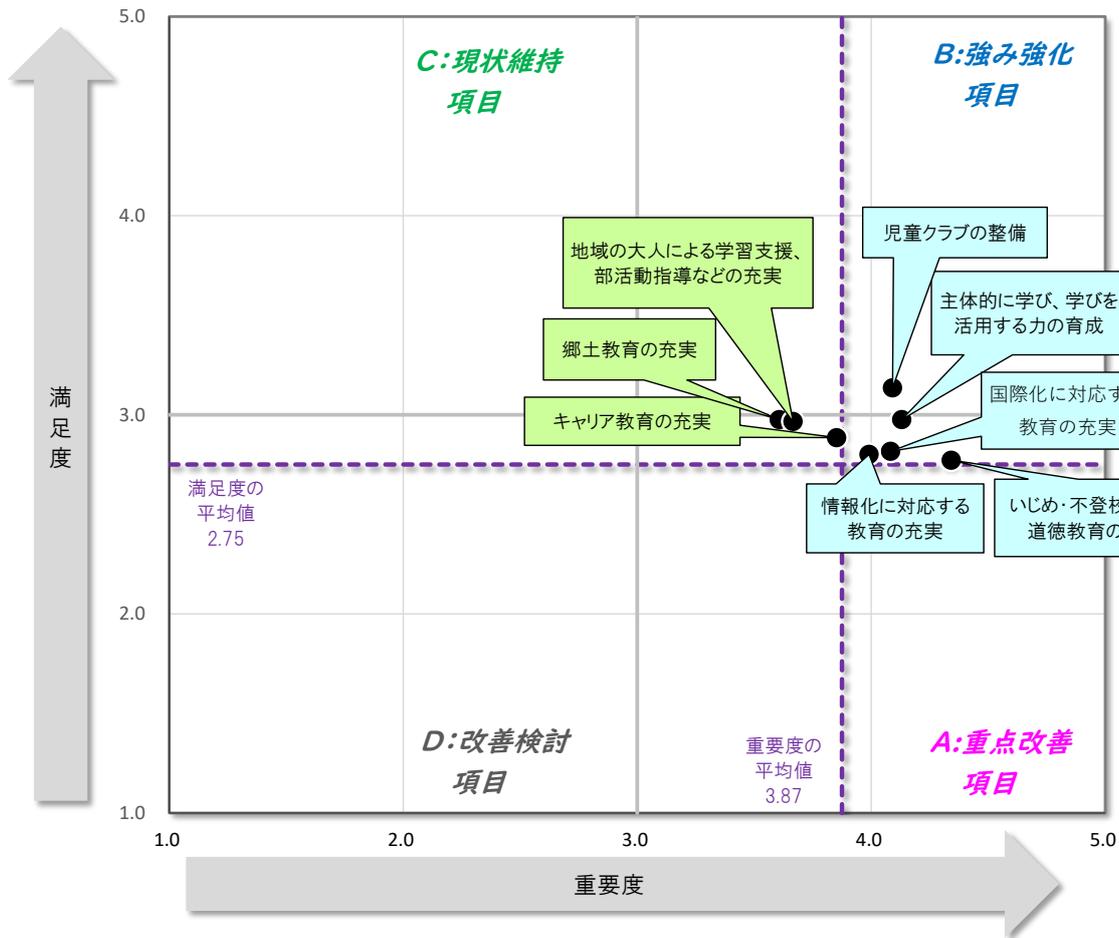
	項目	重要度	満足度	合計
A:重点改善	夫婦で子育てをしやすい社会づくり (男性の意識向上、産休取得促進など)	4.17	2.71	6.87
B:強み強化	子どもの「預かり」に関する体制の充実	4.21	2.88	7.09
	出産・子育てに対する切れ目ない相談支援	4.05	3.00	7.06
	出産・子育てに関する経済的負担への支援	4.15	2.89	7.05
	病児・病後児保育の充実	4.18	2.77	6.95
C:現状維持	子どもや保護者の交流の場の提供	3.80	2.98	6.78
	地域における縁結び支援	3.04	2.80	5.84
	婚活イベントの実施	3.01	2.78	5.80

②教育分野

- 教育の分野で最も重要度が高いのは「いじめ・不登校対策、道徳教育の充実(4.34)」で、「主体的に学び、学びを活用する力の育成(4.13)」、「児童クラブの整備(4.09)」と続く。
- 最も満足度が低いのは「いじめ・不登校対策、道徳教育の充実(2.77)」で、「情報化に対応する教育の充実(2.80)」、「国際化に対応する教育の充実(2.82)」と続く。
- 「重点改善項目」に入る項目は無いが、「強み強化項目」の中で「重点改善項目」に最も近いのは、「いじめ・不登校対策、道徳教育の充実」で、「情報化に対応する教育の充実」、「国際化に対応する教育の充実」と続く。
- 現在本市の施策としては重要な位置づけにある「地域の大人による学習支援、部活動指導などの充実」や「郷土教育の充実」は、「現状維持項目」にあり、重要性や必要性についての理解促進を図る必要があると考えられる。

		教育								
		主体的に学び、 学びを活用する力の育成	いじめ・不登校対策、 道徳教育の充実	国際化に対応する教育の 充実（英語教育・国際 理解教育など）	情報化に対応する教育の 充実（ICT活用、ブ ログラミング教育など）	キャリア教育の充実（職 場体験、インターン シップなど）	郷土教育の充実（牛久市 や茨城県への愛着を育 てる教育）	地域の大人による学習 支援、部活動指導などの 充実	児童クラブの整備（施設・ 預かり時間など）	
重要度	対象者数	752	761	758	750	744	758	752	760	
	加重平均	4.13	4.34	4.08	3.99	3.85	3.61	3.67	4.09	
	内訳	重要	39.9%	54.5%	39.1%	33.1%	27.6%	17.9%	17.8%	36.1%
		やや重要	35.5%	27.6%	35.2%	37.6%	34.8%	33.4%	38.4%	39.6%
		普通	22.7%	15.9%	21.9%	25.5%	34.0%	41.8%	37.8%	22.4%
		あまり重要でない	1.5%	1.4%	2.6%	3.1%	2.6%	5.1%	4.5%	1.4%
		重要でない	0.4%	0.5%	1.2%	0.8%	1.1%	1.7%	1.5%	0.4%
無効								0.1%		
満足度	対象者数	511	508	514	504	496	500	507	514	
	加重平均	2.98	2.77	2.82	2.80	2.89	2.98	2.97	3.14	
	内訳	満足	3.1%	1.6%	1.2%	1.0%	2.2%	3.2%	3.0%	6.2%
		やや満足	10.8%	8.7%	7.4%	7.5%	7.7%	9.8%	9.3%	18.5%
		普通	70.3%	63.2%	68.1%	66.7%	71.0%	71.6%	72.6%	61.7%
		やや不満	12.3%	18.5%	18.7%	20.2%	14.7%	12.2%	11.8%	10.1%
		不満	3.5%	8.1%	4.7%	4.6%	4.4%	3.2%	3.4%	3.3%
無効								0.2%		

教育



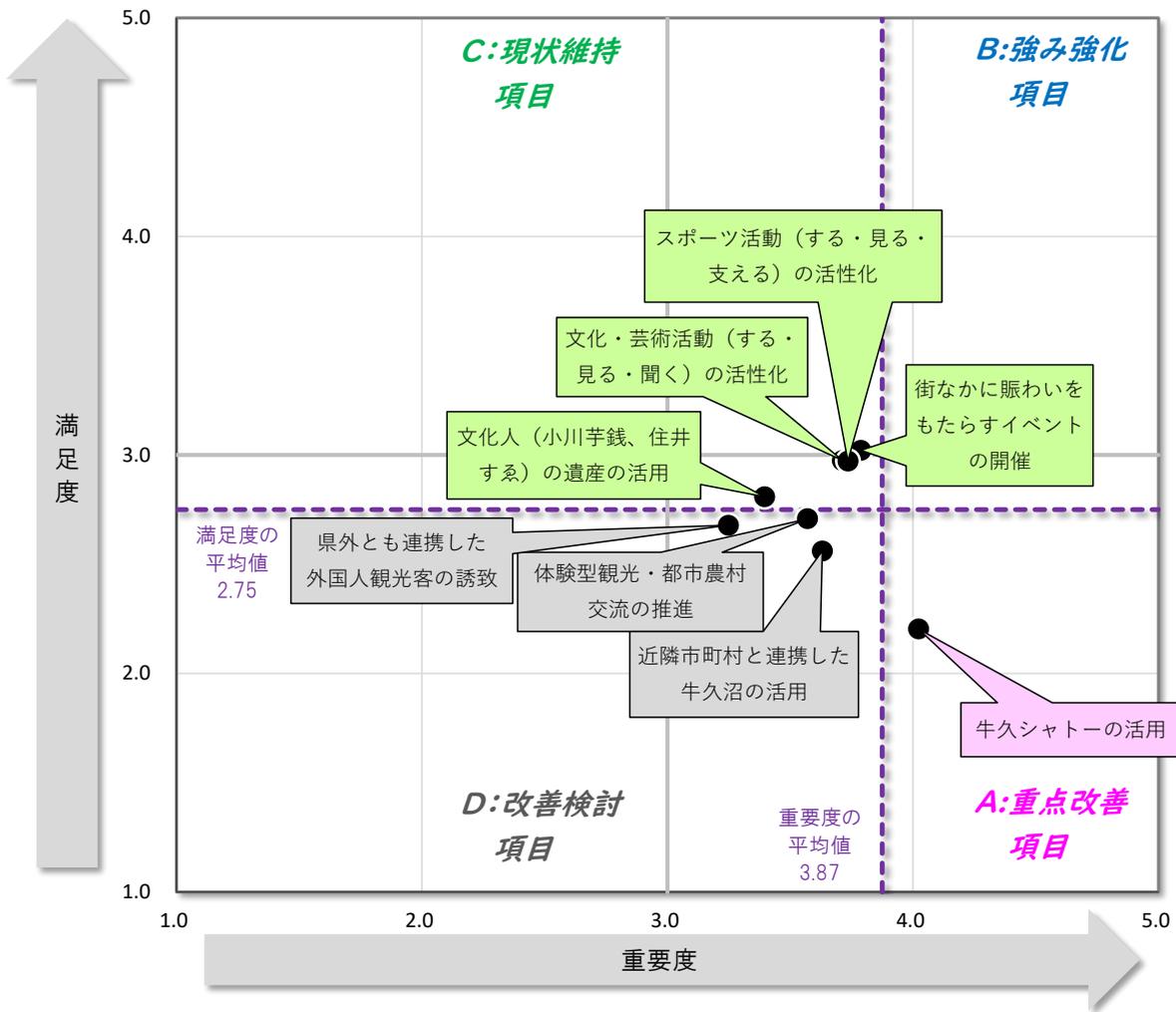
	項目	重要度	満足度	合計
B: 強み強化	児童クラブの整備(施設・預かり時間など)	4.09	3.14	7.23
	いじめ・不登校対策、道徳教育の充実	4.34	2.77	7.11
	主体的に学び、学びを活用する力の育成	4.13	2.98	7.11
	国際化に対応する教育の充実 (英語教育・国際理解教育など)	4.08	2.82	6.90
	情報化に対応する教育の充実 (ICT活用、プログラミング教育など)	3.99	2.80	6.79
C: 現状維持	キャリア教育の充実(職場体験、インターンシップなど)	3.85	2.89	6.74
	地域の大人による学習支援、部活動指導などの充実	3.67	2.97	6.63
	郷土教育の充実 (牛久市や茨城県への愛着を育てる教育)	3.61	2.98	6.58

③市内外との交流

- 市内外との交流の分野で最も重要度が高いのは「牛久シャトーの活用(4.02)」で、「街なかに賑わいをもたらすイベントの開催(3.79)」、「スポーツ活動の活性化(3.73)」「文化・芸術活動の活性化(3.71)」と続く。
- 最も満足度が低いのは「牛久シャトーの活用(2.20)」で、「近隣市町村と連携した牛久沼の活用(2.56)」、「県外とも連携した外国人観光客の誘致(2.68)」と続く。
- 重要度が高く、満足度が低い「重点改善項目」は、「牛久シャトーの活用」で、「現状維持項目」には、イベントやスポーツ、文化の項目が入り、「改善検討項目」には観光に関する項目が入る。

		市内外との交流								
		街なかに賑わいをもたらすイベントの開催	文化・芸術活動(する・見る・聞く)の活性化	スポーツ活動(する・見る・支える)の活性化	牛久シャトーの活用	文化人(小川芋銭、住井すゑ)の遺産の活用	体験型観光・都市農村交流の推進	近隣市町村と連携した牛久沼の活用	県外とも連携した外国人観光客の誘致	
重要度	対象者数	782	783	777	794	779	773	782	781	
	加重平均	3.79	3.71	3.73	4.02	3.40	3.57	3.63	3.25	
	内訳	重要	23.9%	20.3%	20.3%	40.9%	15.4%	16.3%	22.6%	13.6%
		やや重要	38.9%	36.7%	38.4%	30.5%	26.6%	33.6%	30.3%	23.3%
		普通	30.7%	38.4%	37.1%	20.4%	44.0%	42.2%	36.4%	43.5%
		あまり重要でない	5.1%	3.2%	3.0%	6.3%	10.1%	6.6%	8.7%	13.6%
		重要でない	1.4%	1.4%	1.3%	1.9%	3.9%	1.3%	1.9%	6.0%
無効										
満足度	対象者数	618	587	578	628	586	535	555	538	
	加重平均	3.02	2.97	2.97	2.20	2.81	2.71	2.56	2.68	
	内訳	満足	4.0%	2.4%	2.4%	1.3%	1.2%	0.7%	1.3%	0.7%
		やや満足	21.7%	15.8%	13.5%	4.6%	6.0%	3.9%	2.3%	3.2%
		普通	52.3%	64.1%	68.5%	35.2%	72.1%	68.8%	59.3%	68.6%
		やや不満	16.5%	12.3%	10.0%	31.1%	13.8%	18.5%	25.4%	18.2%
		不満	5.3%	5.5%	5.5%	27.9%	6.9%	8.0%	11.7%	9.3%
無効	0.2%									

市内外との交流



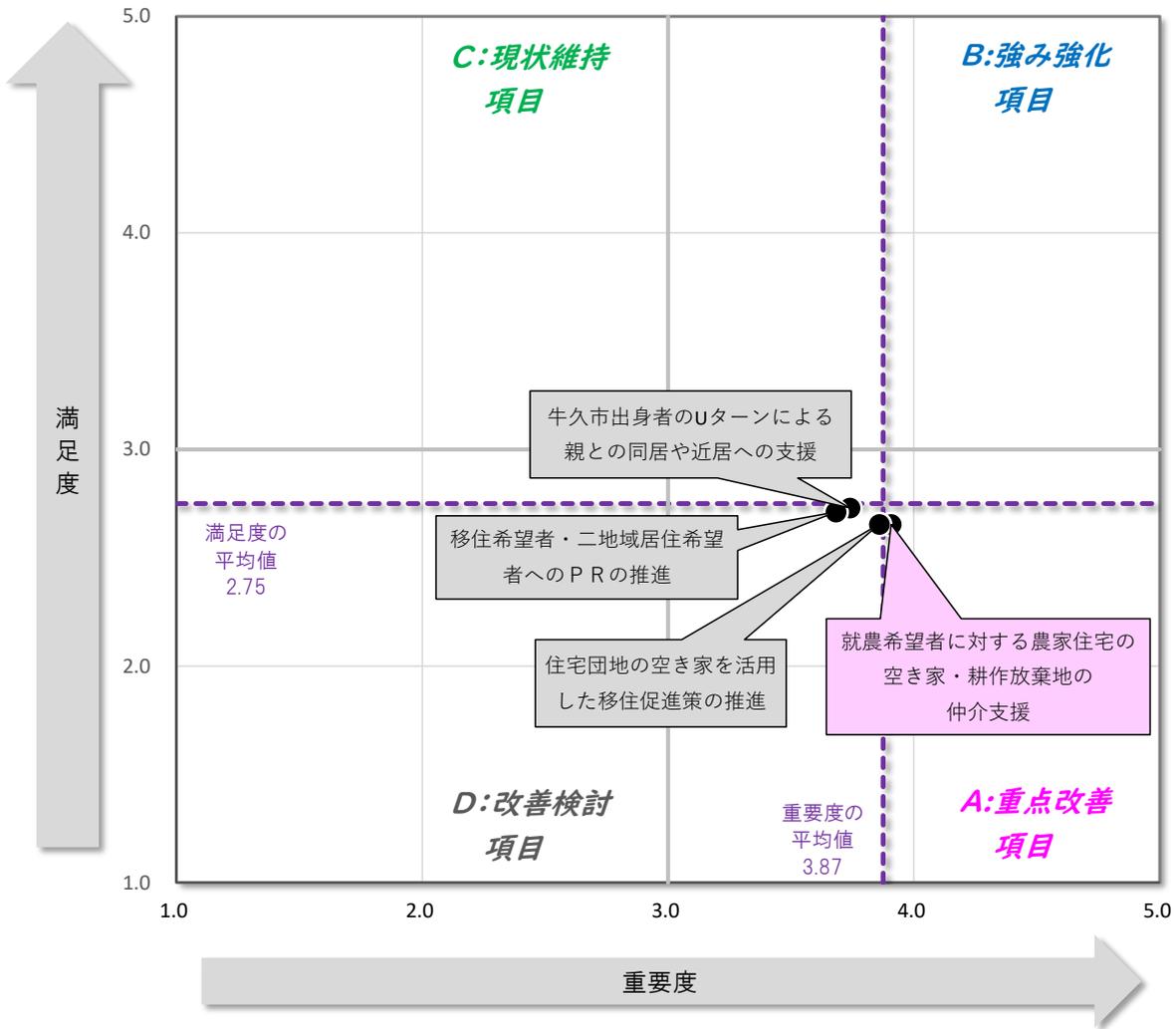
	項目	重要度	満足度	合計
A: 重点改善	牛久シャトーの活用	4.02	2.20	6.23
C: 現状維持	街なかに賑わいをもたらすイベントの開催	3.79	3.02	6.81
	スポーツ活動(する・見る・支える)の活性化	3.73	2.97	6.71
	文化・芸術活動(する・見る・聞く)の活性化	3.71	2.97	6.69
	文化人(小川芋銭、住井すゑ)の遺産の活用	3.40	2.81	6.20
D: 改善検討	体験型観光・都市農村交流の推進	3.57	2.71	6.28
	近隣市町村と連携した牛久沼の活用	3.63	2.56	6.19
	県外とも連携した外国人観光客の誘致	3.25	2.68	5.93

④移住・定住の促進

- 移住・定住の促進の分野で最も重要度が高いのは「就農希望者に対する農家住宅の空き家・耕作放棄地の仲介支援(3.91)」で、「住宅団地の空き家を活用した移住促進策の推進(3.86)」が続く。
- 最も満足度が低いのは「就農希望者に対する農家住宅の空き家・耕作放棄地の仲介支援(2.65)」と「住宅団地の空き家を活用した移住促進策の推進(2.65)」。
- 「重点改善項目」に入る項目は、「就農希望者に対する農家住宅の空き家・耕作放棄地の仲介支援」で、「改善検討項目」の中で「重点改善項目」に最も近いのは、「住宅団地の空き家を活用した移住促進策の推進」。
- 市民の空き家や耕作放棄地に対する問題意識が高まっていると推察される。

		移住・定住の促進				
		就農希望者に対する農家住宅の空き家・耕作放棄地の仲介支援	牛久市出身者のUターンによる親との同居や近居への支援	移住希望者・二地域居住希望者へのPRの推進	住宅団地の空き家を活用した移住促進策の推進	
重要度	対象者数	769	769	764	769	
	加重平均	3.91	3.74	3.68	3.86	
	内訳	重要	28.2%	22.0%	21.3%	27.7%
		やや重要	39.4%	36.9%	32.5%	35.9%
		普通	28.3%	35.2%	40.7%	32.4%
		あまり重要でない	3.0%	4.8%	4.2%	2.7%
		重要でない	1.0%	1.0%	1.3%	1.3%
無効						
満足度	対象者数	489	485	482	488	
	加重平均	2.65	2.73	2.71	2.65	
	内訳	満足	0.6%	0.4%	0.6%	0.8%
		やや満足	3.9%	1.6%	2.9%	3.3%
		普通	63.6%	74.6%	71.0%	65.0%
		やや不満	24.1%	17.1%	18.0%	22.3%
		不満	7.8%	6.2%	7.5%	8.6%
無効						

移住・定住の促進



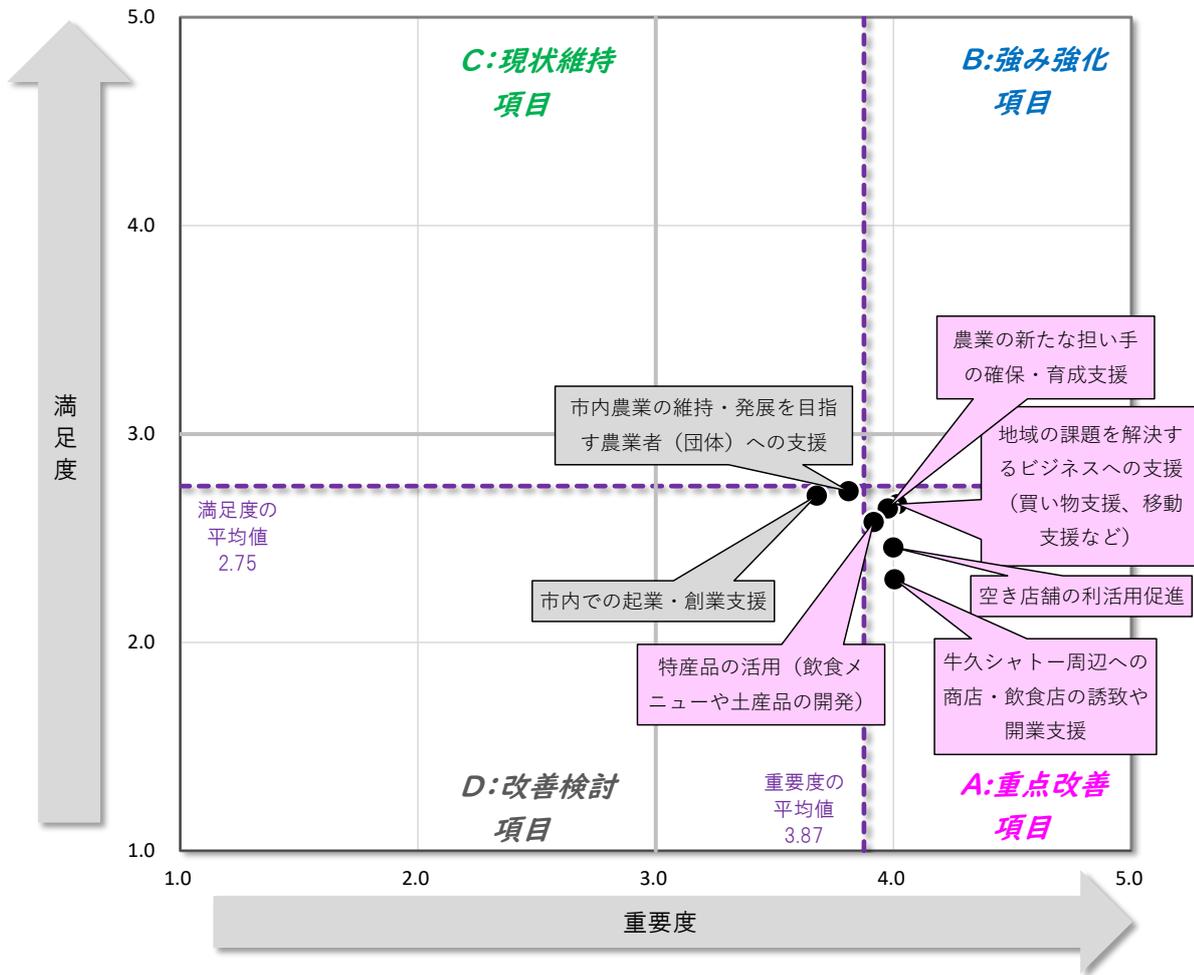
	項 目	重要度	満足度	合計
A: 重点改善	就農希望者に対する農家住宅の空き家・耕作放棄地の仲介支援	3.91	2.65	6.56
D: 改善検討	住宅団地の空き家を活用した移住促進策の推進	3.86	2.65	6.51
	牛久市出身者のUターンによる親との同居や近居への支援	3.74	2.73	6.47
	移住希望者・二地域居住希望者へのPRの推進	3.68	2.71	6.39

⑤市内の産業振興

- 市内の産業振興の分野で最も重要度が高いのは「地域の課題を解決するビジネスへの支援(4.01)」で、「空き店舗の利活用促進(4.00)」、「牛久シャトー周辺への商店・飲食店の誘致(同4.00)」が続く。
- 最も満足度が低いのは「牛久シャトー周辺への商店・飲食店の誘致(2.30)」で、「空き店舗の利活用促進(2.46)」、「特産品の活用(2.58)」と続く。
- 「重点改善項目」には7つ項目のうち5つが入っており、残り2つも「改善検討項目」であることから、市内の産業振興に対する市民のニーズが高いことがわかる。
- ③の市内外との交流における「牛久シャトーの活用」と合わせて、「牛久シャトーとその周辺地域における商業振興等による賑わいの創出」が求められている。

		市内の産業振興							
		物地域の支援、課題を解決するビジネスへの支援（買い	市内での起業・創業支援	空き店舗の利活用促進	市内農業の維持・発展を目指す農業者（団体）への支援	農業の新たな担い手の確保・育成支援	特産品の活用（飲食メニューや土産品の開発）	牛久シャトー周辺への商店・飲食店の誘致や開業支援	
重要度	対象者数	768	761	774	760	763	769	779	
	加重平均	4.01	3.68	4.00	3.81	3.98	3.92	4.00	
	内訳	重要	31.6%	19.7%	30.1%	23.9%	31.7%	31.3%	39.8%
		やや重要	41.5%	34.6%	44.2%	37.8%	37.7%	35.2%	28.8%
		普通	24.3%	41.0%	22.4%	34.7%	27.9%	28.6%	25.5%
		あまり重要でない	1.6%	3.2%	2.2%	2.5%	1.6%	3.3%	3.9%
		重要でない	0.9%	1.6%	1.2%	1.1%	1.0%	1.6%	2.1%
無効									
満足度	対象者数	511	81	513	474	473	514	538	
	加重平均	2.66	2.70	2.46	2.73	2.64	2.58	2.30	
	内訳	満足	0.8%	0.6%	0.8%	0.6%	0.2%	1.0%	1.1%
		やや満足	6.5%	2.3%	2.9%	2.7%	3.2%	5.4%	3.3%
		普通	60.1%	71.5%	51.7%	71.7%	66.0%	56.4%	43.1%
		やや不満	23.7%	18.1%	30.4%	18.4%	22.0%	24.7%	29.6%
		不満	9.0%	7.5%	14.2%	6.5%	8.7%	12.5%	22.9%
無効									

市内の産業振興



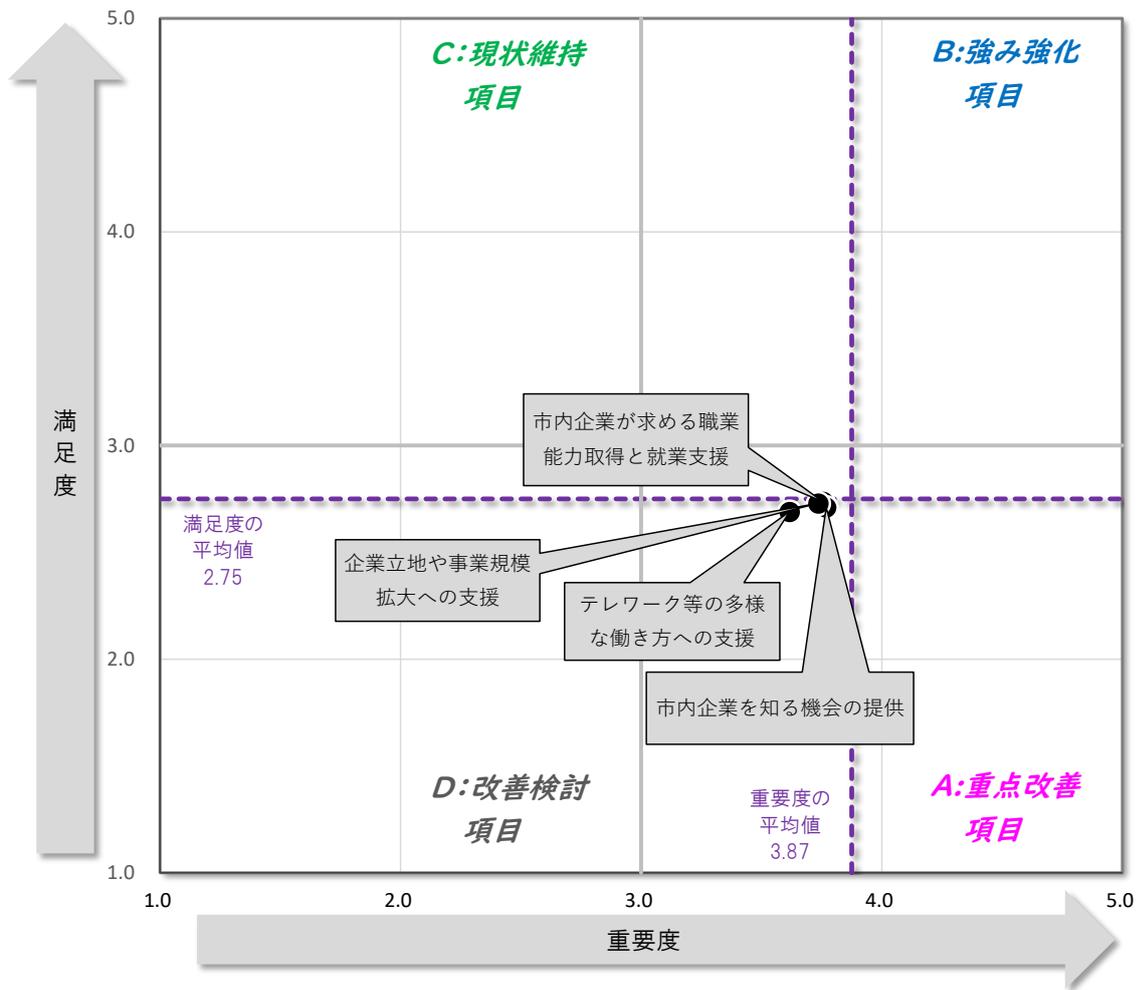
	項目	重要度	満足度	合計
A: 重点改善	地域の課題を解決するビジネスへの支援 (買い物支援、移動支援など)	4.01	2.66	6.68
	農業の新たな担い手の確保・育成支援	3.98	2.64	6.62
	特産品の活用(飲食メニューや土産品の開発)	3.92	2.58	6.49
	空き店舗の利活用促進	4.00	2.46	6.45
	牛久シャトー周辺への商店・飲食店の誘致や開業支援	4.00	2.30	6.31
D: 改善検討	市内農業の維持・発展を目指す農業者(団体)への支援	3.81	2.73	6.54
	市内での起業・創業支援	3.68	2.70	6.38

⑥市内での就業促進

- 市内での就業促進の分野で最も重要度が高いのは「市内企業を知る機会の提供(3.77)」で、「市内企業が求める職業能力取得と就業支援(3.76)」が続く。
- 最も満足度が低いのは「テレワーク等の多様な働き方への支援(2.69)」で、「市内企業を知る機会の提供(2.71)」が続く。
- すべての項目が「改善検討項目」に入っており、優先度は高くないものの、改善を検討していく必要があると考えられる。

		市内での就業促進				
		市内企業が求める職業能力取得と就業支援	等) 市内企業を知る機会の提供(合同就職説明会)	企業立地や事業規模拡大への支援	テレワーク等の多様な働き方への支援	
重要度	対象者数	754	749	750	745	
	加重平均	3.76	3.77	3.74	3.62	
	内訳	重要	21.1%	22.4%	21.7%	17.9%
		やや重要	38.5%	37.7%	35.2%	32.8%
		普通	36.6%	35.8%	39.5%	44.6%
		あまり重要でない	2.7%	2.7%	2.1%	3.0%
		重要でない	1.2%	1.5%	1.5%	1.9%
無効						
満足度	対象者数	472	466	461	464	
	加重平均	2.74	2.71	2.73	2.69	
	内訳	満足	0.6%	0.9%	0.4%	0.4%
		やや満足	2.5%	2.4%	3.7%	2.4%
		普通	73.7%	71.0%	71.4%	72.0%
		やや不満	16.1%	18.5%	17.6%	16.2%
		不満	7.0%	7.3%	6.7%	9.1%
無効			0.2%			

市内での就業促進



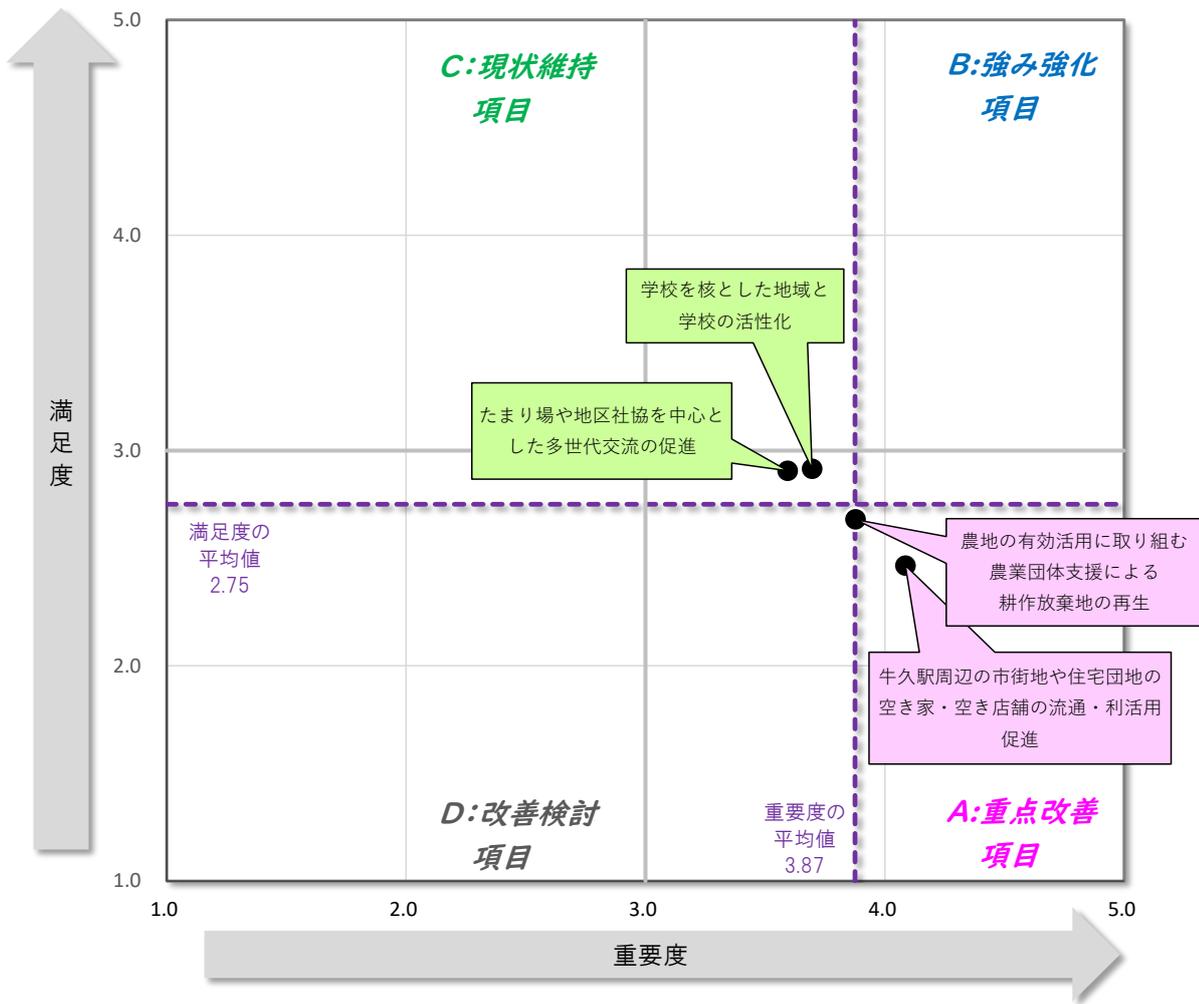
	項目	重要度	満足度	合計
D: 改善検討	市内企業が求める職業能力取得と就業支援	3.76	2.74	6.49
	市内企業を知る機会の提供(合同就職説明会等)	3.77	2.71	6.48
	企業立地や事業規模拡大への支援	3.74	2.73	6.46
	テレワーク等の多様な働き方への支援	3.62	2.69	6.31

⑦住宅団地や農村地帯の活性化

- 住宅団地や農村地帯の活性化の分野で最も重要度が高いのは「牛久駅周辺の市街地や住宅団地の空き家・空き店舗の流通・利活用促進(4.09)」で、「農地の有効活用に取り組む農業団体支援による耕作放棄地の再生(3.88)」が続く。
- 最も満足度が低いのは上記と同じく「牛久駅周辺の市街地や住宅団地の空き家・空き店舗の流通・利活用促進(2.47)」で、「農地の有効活用に取り組む農業団体支援による耕作放棄地の再生(2.68)」が続く。
- 「重点改善項目」にも上記2項目が入っており、牛久駅周辺の市街地や住宅団地の空き家・空き店舗の問題、耕作放棄地の問題の解消は、市民のニーズが高いと考えられる。

		住宅団地や農村地域の活性化				
		促進 場や 地区 社協 を中心 とした 多世代 交流の	学校 を核と した地 域と学 校の活 性化	牛久 駅周 辺の 市街 地や 住宅 団地 の空 き家 ・空 き	農地 の有 効活 用 に取 り組 む農 業団 体支 援に よる	
重要度	対象者数	768	763	782	756	
	加重平均	3.59	3.70	4.09	3.88	
	内訳	重要	18.4%	20.1%	35.7%	25.5%
		やや重要	31.8%	36.4%	41.3%	40.9%
		普通	42.3%	37.9%	19.6%	30.4%
		あまり重要でない	6.0%	4.3%	2.8%	2.1%
		重要でない	1.6%	1.3%	0.6%	1.1%
無効						
満足度	対象者数	510	502	520	471	
	加重平均	2.91	2.91	2.47	2.68	
	内訳	満足	2.5%	2.0%	1.0%	0.4%
		やや満足	9.0%	9.6%	2.7%	4.0%
		普通	69.8%	70.5%	51.7%	65.6%
		やや不満	13.7%	13.7%	31.2%	22.9%
		不満	4.9%	4.2%	13.5%	7.0%
無効						

住宅団地や農村地帯の活性化

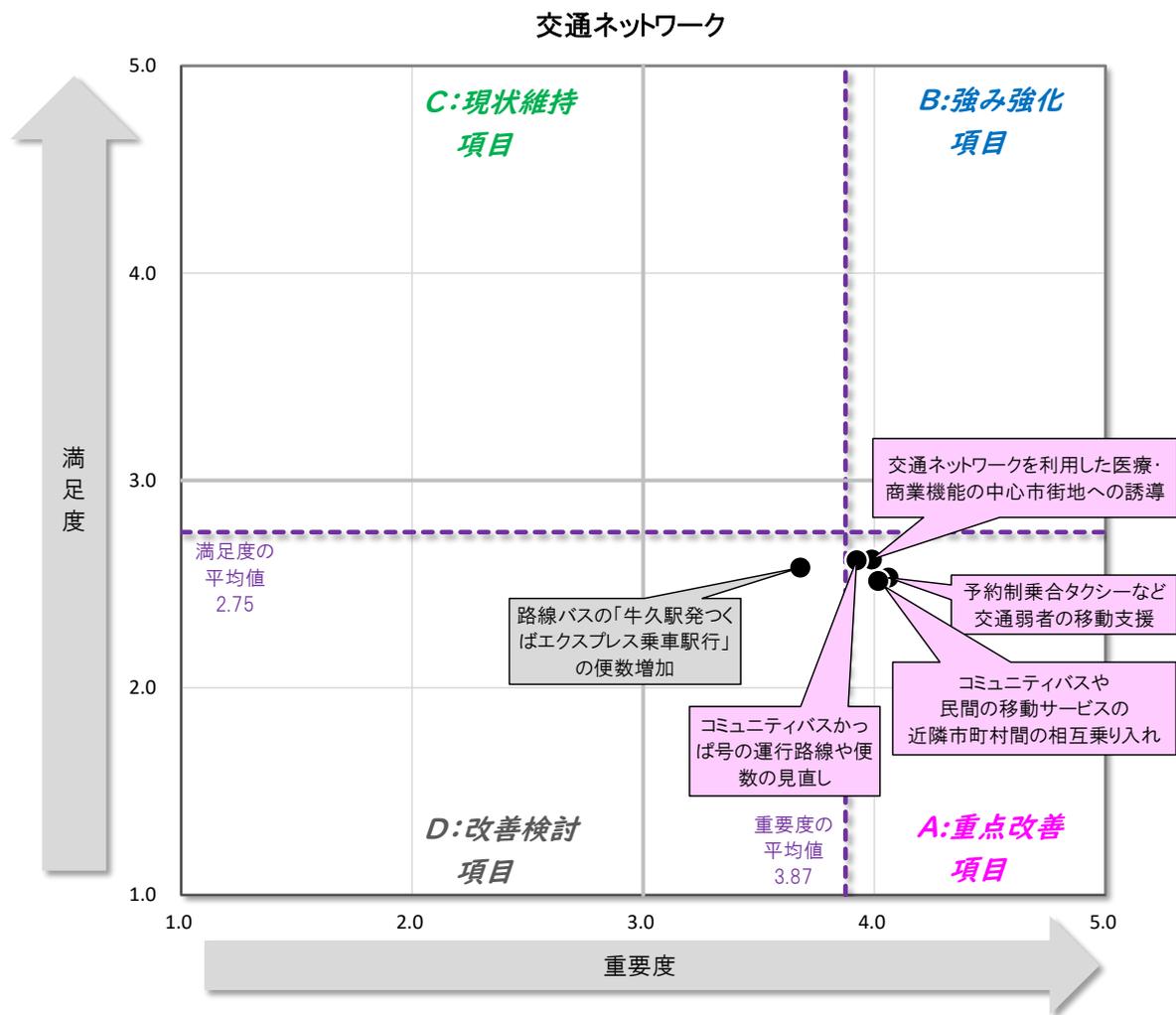


	項目	重要度	満足度	合計
A: 重点改善	農地の有効活用に取り組む農業団体支援による耕作放棄地の再生	3.88	2.68	6.56
	牛久駅周辺の市街地や住宅団地の空き家・空き店舗の流通・利活用促進	4.09	2.47	6.55
C: 現状維持	学校を核とした地域と学校の活性化	3.70	2.91	6.61
	たまり場や地区社協を中心とした多世代交流の促進	3.59	2.91	6.50

⑧交通ネットワーク

- 交通ネットワークの分野で最も重要度が高いのは「予約制乗合タクシーなど交通弱者の移動支援(4.06)」で、「コミュニティバスや民間の移動サービスの近隣市町村間の相互乗り入れ(4.02)」、「交通ネットワークを利用した医療・商業機能の中心市街地への誘導(3.99)」と続く。
- 最も満足度が低いのは「コミュニティバスや民間の移動サービスの近隣市町村間の相互乗り入れ(2.52)」で、「予約制乗合タクシーなど交通弱者の移動支援(2.53)」が続く。
- 「重点改善項目」には5つ項目のうち4つが入っており、残り1つも「改善検討項目」であることから、交通ネットワークの改善に対する市民のニーズが高いことがわかる。

		交通ネットワーク					
		中心市街地への誘導	見直し	予約制乗合タクシーなど交通弱者の移動支援	市町村間の相互乗り入れ	駅路線バスの便数増加	
重要度	対象者数	770	791	781	775	771	
	加重平均	3.99	3.92	4.06	4.02	3.68	
	内訳	重要	34.2%	32.6%	35.7%	34.5%	26.5%
		やや重要	35.6%	32.9%	38.3%	37.0%	28.3%
		普通	26.4%	30.3%	23.4%	25.3%	35.4%
		あまり重要でない	2.9%	2.7%	1.5%	2.2%	6.5%
		重要でない	1.0%	1.5%	1.0%	1.0%	3.4%
無効							
満足度	対象者数	504	570	506	504	502	
	加重平均	2.62	2.62	2.53	2.52	2.58	
	内訳	満足	1.6%	3.5%	2.2%	1.2%	2.2%
		やや満足	6.3%	8.4%	3.0%	5.0%	4.2%
		普通	54.4%	48.4%	54.5%	51.8%	57.0%
		やや不満	27.8%	25.4%	26.5%	28.4%	22.7%
		不満	9.9%	14.2%	13.8%	13.7%	13.9%
無効							



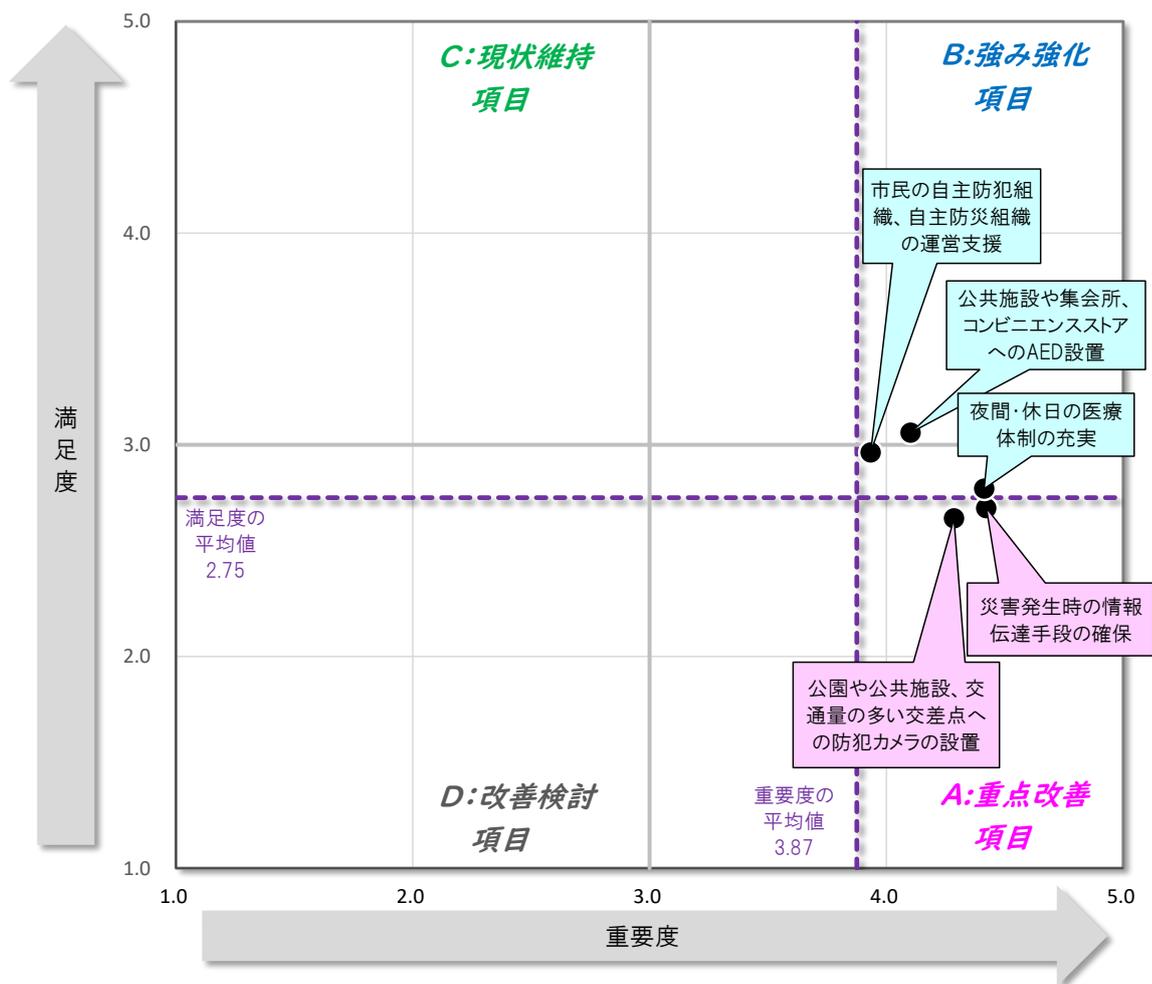
	項目	重要度	満足度	合計
A: 重点改善	交通ネットワークを利用した医療・商業機能の中心市街地への誘導	3.99	2.62	6.61
	予約制乗合タクシーなど交通弱者の移動支援	4.06	2.53	6.59
	コミュニティバスかつぱ号の運行路線や便数の見直し	3.92	2.62	6.54
	コミュニティバスや民間の移動サービスの近隣市町村間の相互乗り入れ	4.02	2.52	6.53
D: 改善検討	路線バスの「牛久駅発つくばエクスプレス乗車駅行」の便数増加	3.68	2.58	6.26

⑨安全・安心

- 安全・安心の分野で最も重要度が高いのは「災害発生時の情報伝達手段の確保(4.42)」で、「夜間・休日の医療体制の充実(4.41)」、「公園や公共施設、交通量の多い交差点への防犯カメラの設置(4.29)」と続く。
- 最も満足度が低いのは「公園や公共施設、交通量の多い交差点への防犯カメラの設置(2.65)」で、「災害発生時の情報伝達手段の確保(2.70)」、「夜間・休日の医療体制の充実(2.79)」と続く。
- すべての項目が「重点改善項目」または「強み強化項目」に入っており、安全・安心に対する市民の関心が高いことがわかる。
- また、「災害発生時の情報伝達手段の確保」と「公園や公共施設、交通量の多い交差点への防犯カメラの設置」が「重点改善項目」であり、「災害時対応」や「防犯」に対する市民のニーズが高いことがわかる。

		安全・安心					
		A E D 設置	市民 の 自主 防犯 組織 、 自主 防災 組織 の 運営 支援	カ メ ラ の 設 置	災 害 発 生 時 の 情 報 伝 達 手 段 の 確 保	夜 間 ・ 休 日 の 医 療 体 制 の 充 実	
重要度	対象者数	783	780	789	792	792	
	加重平均	4.10	3.93	4.29	4.42	4.41	
	内訳	重要	38.4%	28.5%	47.9%	56.7%	55.8%
		やや重要	35.6%	39.4%	35.4%	29.9%	30.7%
		普通	24.3%	30.3%	14.8%	12.5%	12.8%
		あまり重要でない	1.0%	0.9%	1.1%	0.6%	0.5%
		重要でない	0.6%	1.0%	0.8%	0.3%	0.3%
無効							
満足度	対象者数	539	518	532	564	575	
	加重平均	3.06	2.96	2.65	2.70	2.79	
	内訳	満足	4.1%	2.7%	1.7%	2.5%	3.0%
		やや満足	14.8%	10.2%	6.4%	9.6%	11.7%
		普通	66.0%	70.8%	56.8%	51.2%	55.5%
		やや不満	12.8%	13.1%	25.8%	28.9%	21.6%
		不満	2.2%	3.1%	9.4%	7.8%	8.3%
無効							

安全・安心

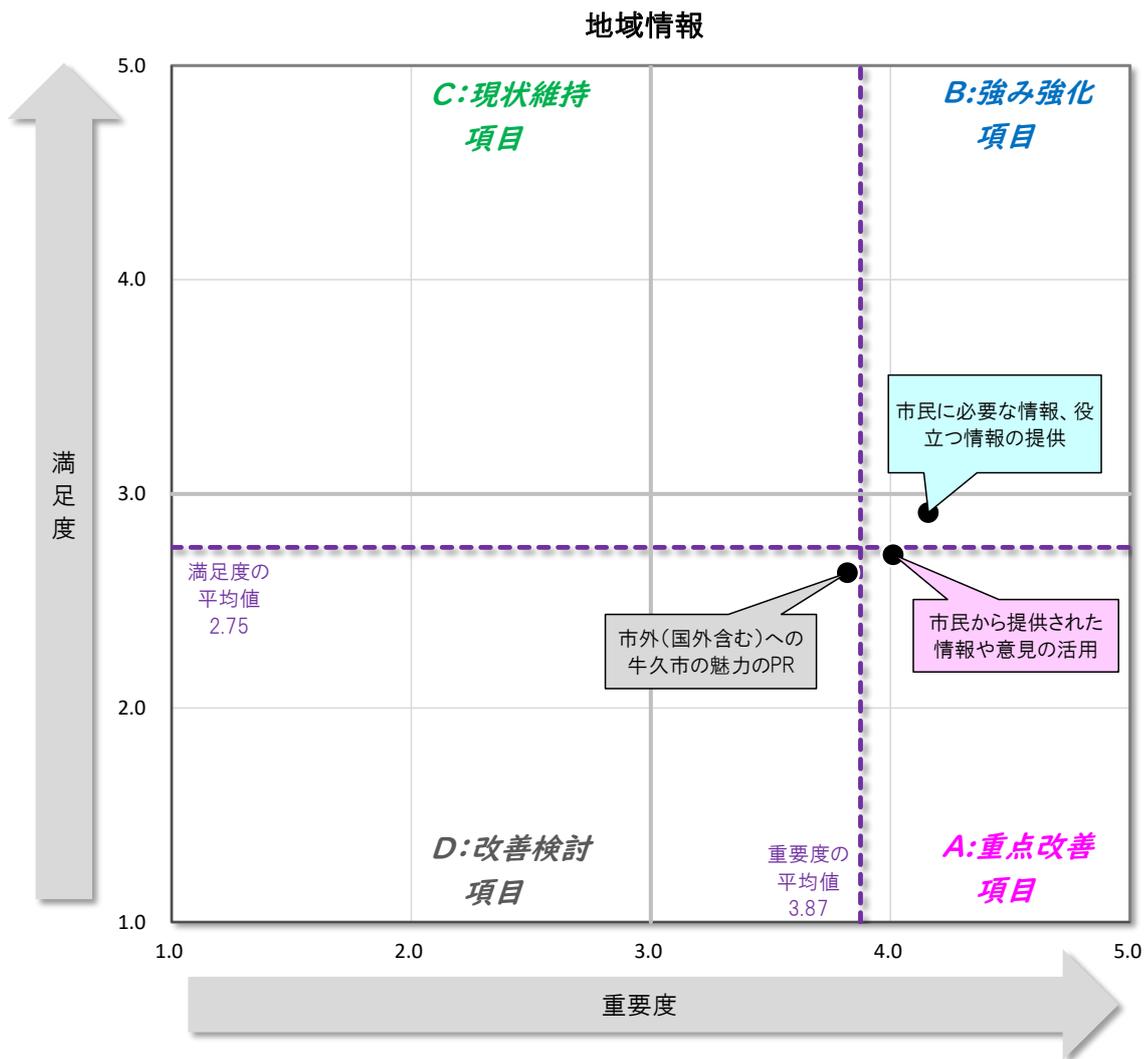


	項目	重要度	満足度	合計
A: 重点改善	災害発生時の情報伝達手段の確保	4.42	2.70	7.12
	公園や公共施設、交通量の多い交差点への防犯カメラの設置	4.29	2.65	6.94
B: 強み強化	夜間・休日の医療体制の充実	4.41	2.79	7.21
	公共施設や集会所、コンビニエンスストアへのAED設置	4.10	3.06	7.16
	市民の自主防犯組織、自主防災組織の運営支援	3.93	2.96	6.90

⑨地域情報

- 地域情報の分野で最も重要度が高いのは「市民に必要な情報、役立つ情報の提供(4.16)」で、「市民から提供された情報や意見の活用(4.01)」が続く。
- 最も満足度が低いのは「市外(国外含む)への牛久市の魅力のPR(2.63)」で、「市民から提供された情報や意見の活用(2.72)」が続く。
- 「重点改善項目」には「市民から提供された情報や意見の活用」が入っており、市民意見を収集する機会を確保すること、また意見が反映されていることを周知することが重要と考えられる。

		地域情報			
		市民に必要な情報、役立つ情報の提供	市外(国外含む)への牛久市の魅力のPR	市民から提供された情報や意見の活用	
重要度	対象者数	786	781	781	
	加重平均	4.16	3.82	4.01	
	内訳	重要	42.5%	29.8%	34.7%
		やや重要	32.2%	30.5%	35.1%
		普通	24.2%	33.5%	27.8%
		あまり重要でない	0.9%	4.2%	1.5%
		重要でない	0.3%	1.9%	0.9%
無効					
満足度	対象者数	559	536	524	
	加重平均	2.91	2.63	2.72	
	内訳	満足	3.0%	1.1%	1.0%
		やや満足	10.7%	5.2%	6.3%
		普通	65.7%	60.1%	64.9%
		やや不満	15.6%	22.9%	19.1%
		不満	5.0%	10.6%	8.8%
無効					



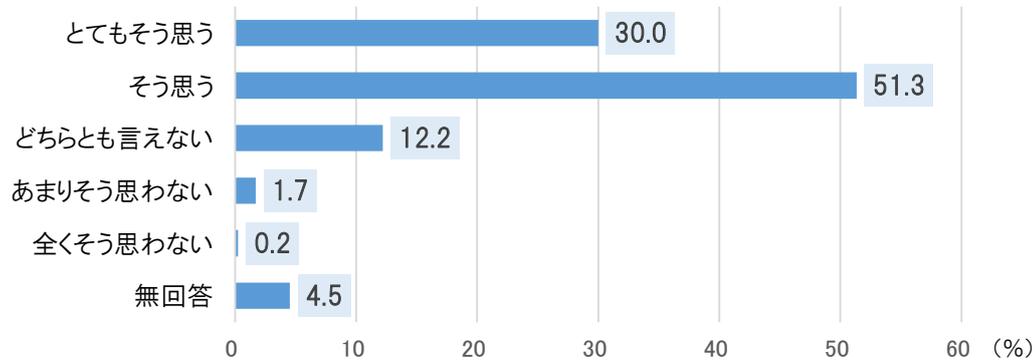
	項目	重要度	満足度	合計
A:重点改善	市民から提供された情報や意見の活用	4.01	2.72	6.73
B:強み強化	市民に必要な情報、役立つ情報の提供	4.16	2.91	7.07
D:改善検討	市外(国外含む)への牛久市の魅力のPR	3.82	2.63	6.45

(5) 地域づくり活動について

問5-1 地域づくりには市民の参加が必要だと思いますか。(SA)

N=820

- 「とてもそう思う(30.0%)」と「そう思う(51.3%)」を合わせて8割を超えており、大多数が市民の参加が必要と考えている。



【年代別】

- 「とてもそう思う+そう思う」の割合が最も高いのは「10歳代(94.0%)」で、ほとんどが必要と考えている。

【小学校区別】

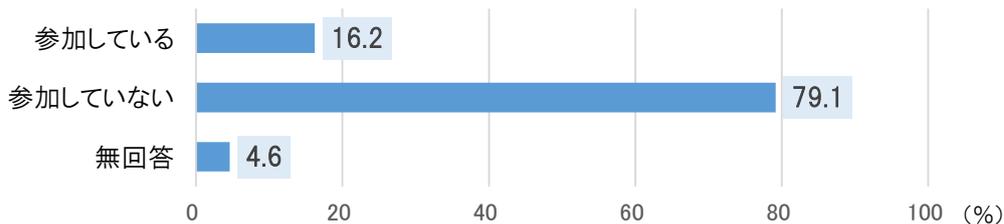
- 「とてもそう思う+そう思う」の割合が最も高いのは「ひたち野うしく小学校区(90.2%)」で、「牛久小学校区(89.1%)」と続く。

		とてもそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない	無回答
全体 (N=820)		30.0	51.3	12.2	1.7	0.2	4.5
年代別	10歳代 (n=50)	30.0	64.0	4.0	0.0	0.0	2.0
	20歳代 (n=105)	34.3	44.8	13.3	4.8	1.0	1.9
	30歳代 (n=112)	25.0	50.9	17.9	2.7	0.0	3.6
	40歳代 (n=115)	25.2	60.9	8.7	0.9	0.0	4.3
	50歳代 (n=129)	25.6	51.9	16.3	2.3	0.0	3.9
	60歳代 (n=169)	36.1	50.3	8.3	1.2	0.0	4.1
	70歳以上 (n=133)	33.1	44.4	14.3	0.0	0.8	7.5
小学校区別	牛久小学校区 (n=83)	33.7	55.4	8.4	1.2	0.0	1.2
	岡田小学校区 (n=136)	29.4	51.5	12.5	0.7	0.0	5.9
	奥野小学校区 (n=40)	15.0	62.5	5.0	2.5	2.5	12.5
	牛久第二小学校区 (n=78)	28.2	52.6	11.5	2.6	0.0	5.1
	中根小学校区 (n=135)	25.9	54.8	14.8	0.7	0.7	3.0
	向台小学校区 (n=150)	34.7	44.7	14.7	2.7	0.0	3.3
	神谷小学校区 (n=90)	38.9	41.1	11.1	3.3	0.0	5.6
	ひたち野うしく小学校区 (n=92)	30.4	59.8	7.6	1.1	0.0	1.1

問5-2 現在、地域づくり活動に参加していますか。(SA)

N=820

- 「参加していない(79.1%)」が約 8 割を占める。



【年代別】

- 「参加している」の割合が最も高いのは「70 歳以上(32.3%)」で、「60 歳代(23.1%)」と続く。
- 「10 歳代」から「30 歳代」では 9 割以上が参加していない。

【小学校区別】

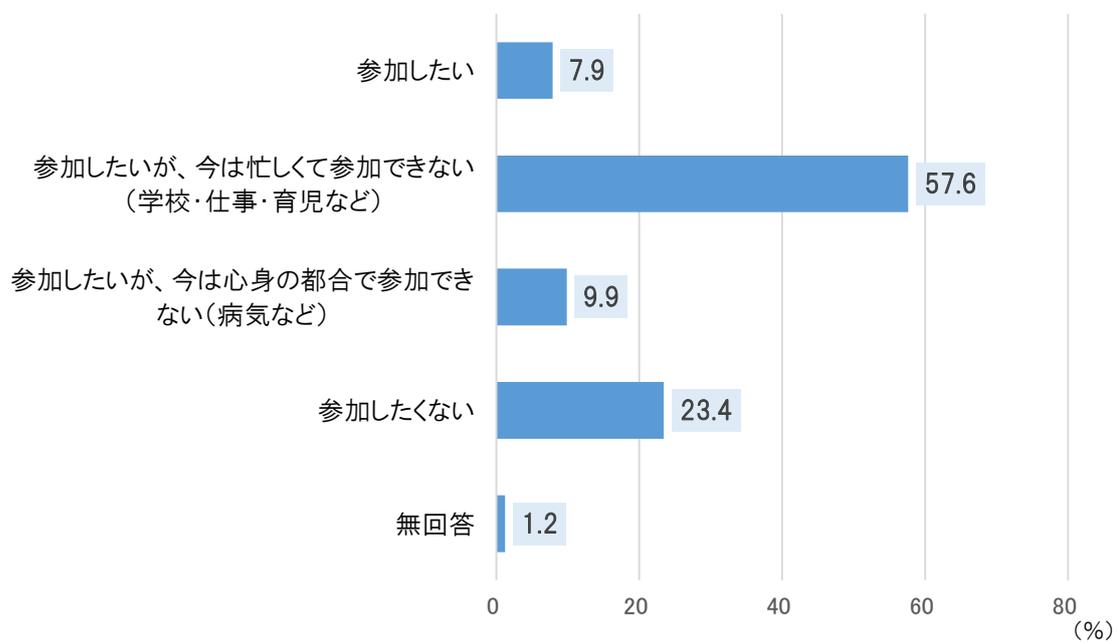
- 「参加している」の割合が最も高いのは「奥野小学校区(22.5%)」で、「岡田小学校区(21.3%)」「牛久第二小学校区(20.5%)」と続く。
- 「参加していない」の割合が最も高いのは「ひたち野小学校区(87.0%)」で、「牛久小学校区(85.5%)」と続く。

		参加している	参加していない	無回答
全体 (N=820)		16.2	79.1	4.6
年代別	10歳代 (n=50)	4.0	94.0	2.0
	20歳代 (n=105)	2.9	95.2	1.9
	30歳代 (n=112)	4.5	92.9	2.7
	40歳代 (n=115)	19.1	76.5	4.3
	50歳代 (n=129)	14.7	82.2	3.1
	60歳代 (n=169)	23.1	72.2	4.7
	70歳以上 (n=133)	32.3	58.6	9.0
小学校区別	牛久小学校区 (n=83)	13.3	85.5	1.2
	岡田小学校区 (n=136)	21.3	72.8	5.9
	奥野小学校区 (n=40)	22.5	62.5	15.0
	牛久第二小学校区 (n=78)	20.5	74.4	5.1
	中根小学校区 (n=135)	14.8	83.0	2.2
	向台小学校区 (n=150)	14.0	83.3	2.7
	神谷小学校区 (n=90)	18.9	75.6	5.6
	ひたち野うしく小学校区 (n=92)	10.9	87.0	2.2

問5-3 〈参加していない方〉は、地域づくり活動に参加したいと思いますか。(SA)

N=649

- 「参加したいが、今はできない(57.8%+9.9%)」が約7割。
- 「参加したくない(23.4%)」は2割を超えている。



【年代別】

- 「参加したいが、今はできない」の割合が最も高いのは「10 歳代(78.7%)」で、「参加したい」と合わせると、ほとんどの世代で7 割を超えている。
- 「参加したくない」の割合が最も高いのは「20 歳代(34.0%)」。

【小学校区別】

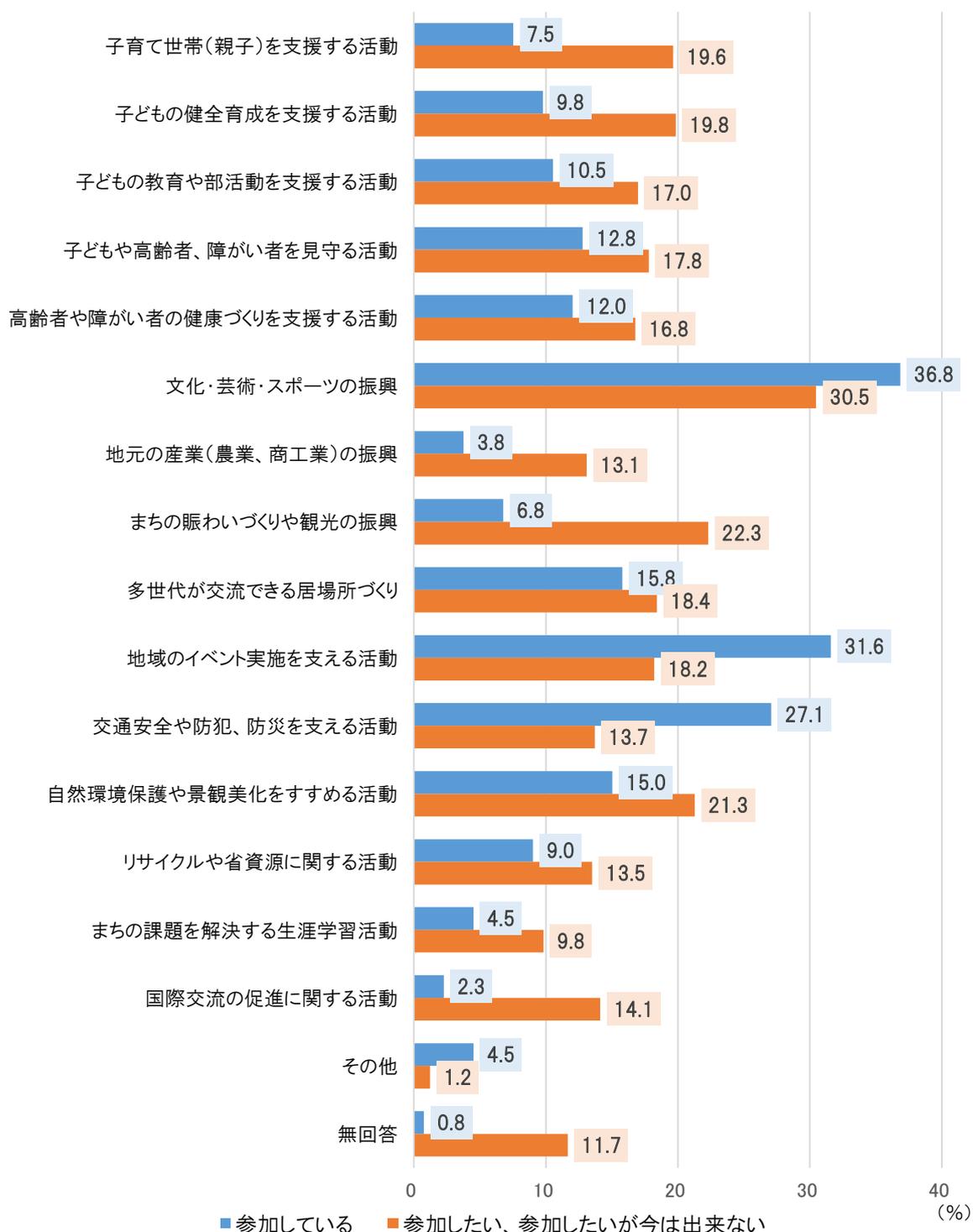
- 「参加したい」の割合が最も高いのは「牛久小学校区(12.7%)」で、「神谷小学校区(11.8%)」が続く。
- 「参加したいが、今はできない」の割合が最も高いのは「奥野小学校区(80.0%)」で、「中根小学校区(75.0%)」、「ひたち野うしく小学校区(72.6%)」と続く。

		参加したい	い参加 （学校・仕 事・今は 忙しい など）	き参加 した い が、 今は 心身の 都合で 参加 でき ない （病 気な ど）	参加 した く な い	無 回 答
全体	(N=649)	7.9	57.6	9.9	23.4	1.2
年代別	10歳代 (n=47)	8.5	78.7	0.0	12.8	0.0
	20歳代 (n=100)	5.0	60.0	0.0	34.0	1.0
	30歳代 (n=104)	5.8	70.2	2.9	21.2	0.0
	40歳代 (n=88)	4.5	72.7	3.4	18.2	1.1
	50歳代 (n=106)	3.8	62.3	8.5	24.5	0.9
	60歳代 (n=122)	13.9	47.5	20.5	17.2	0.8
	70歳以上 (n=78)	14.1	19.2	30.8	32.1	3.8
小学校区別	牛久小学校区 (n=71)	12.7	43.7	12.7	28.2	2.8
	岡田小学校区 (n=99)	9.1	53.5	12.1	22.2	3.0
	奥野小学校区 (n=25)	0.0	60.0	20.0	20.0	0.0
	牛久第二小学校区 (n=58)	10.3	63.8	5.2	20.7	0.0
	中根小学校区 (n=112)	2.7	74.1	0.9	22.3	0.0
	向台小学校区 (n=125)	7.2	45.6	15.2	31.2	0.8
	神谷小学校区 (n=68)	11.8	58.8	13.2	14.7	1.5
	ひたち野うしく小学校区 (n=80)	8.8	68.8	3.8	18.8	0.0

問5-4 〈参加している方〉は、現在どのような活動に参加していますか。〈参加したい方、参加したいが今はできない方〉は、どのような活動に参加したいと思いますか。(MA)

N=622

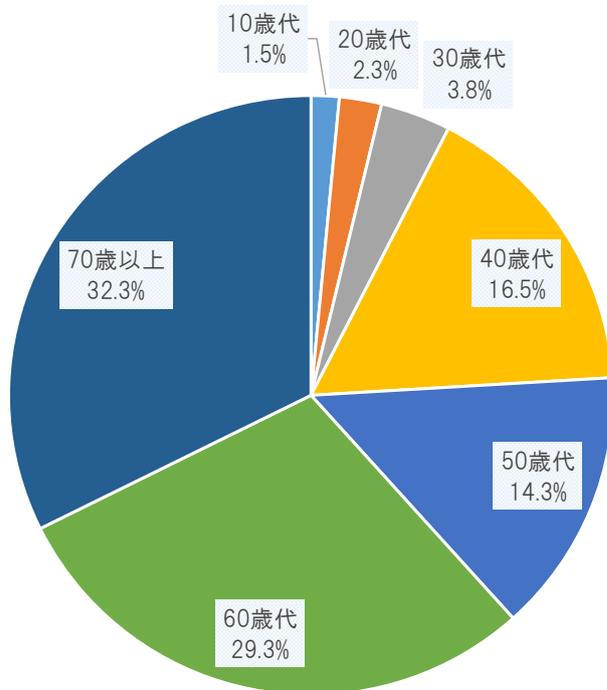
- 「参加している方」で最も割合が高いのは、「文化・芸術・スポーツの振興(36.8%)」で、「地域のイベント実施を支える活動(31.6%)」「交通安全や防犯、防災を支える活動(27.1%)」と続く。
- 「参加したい方、参加したいが今はできない方」で最も割合が高いのは、「文化・芸術・スポーツの振興(30.5%)」であるが、「参加している方」よりも、子どもに関する活動や地元の産業・観光の振興の割合が高くなっている。



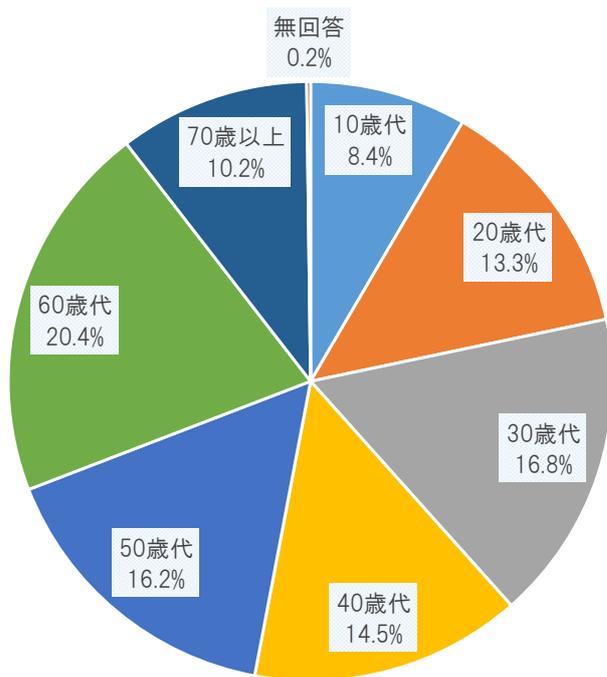
【年代の構成】

- 「参加している方」は、「60歳代」、「70歳代」が6割以上を占めるが、「参加したい方、参加したいが今は出来ない方」では、「50歳代」までで7割を超える。

「参加している方」

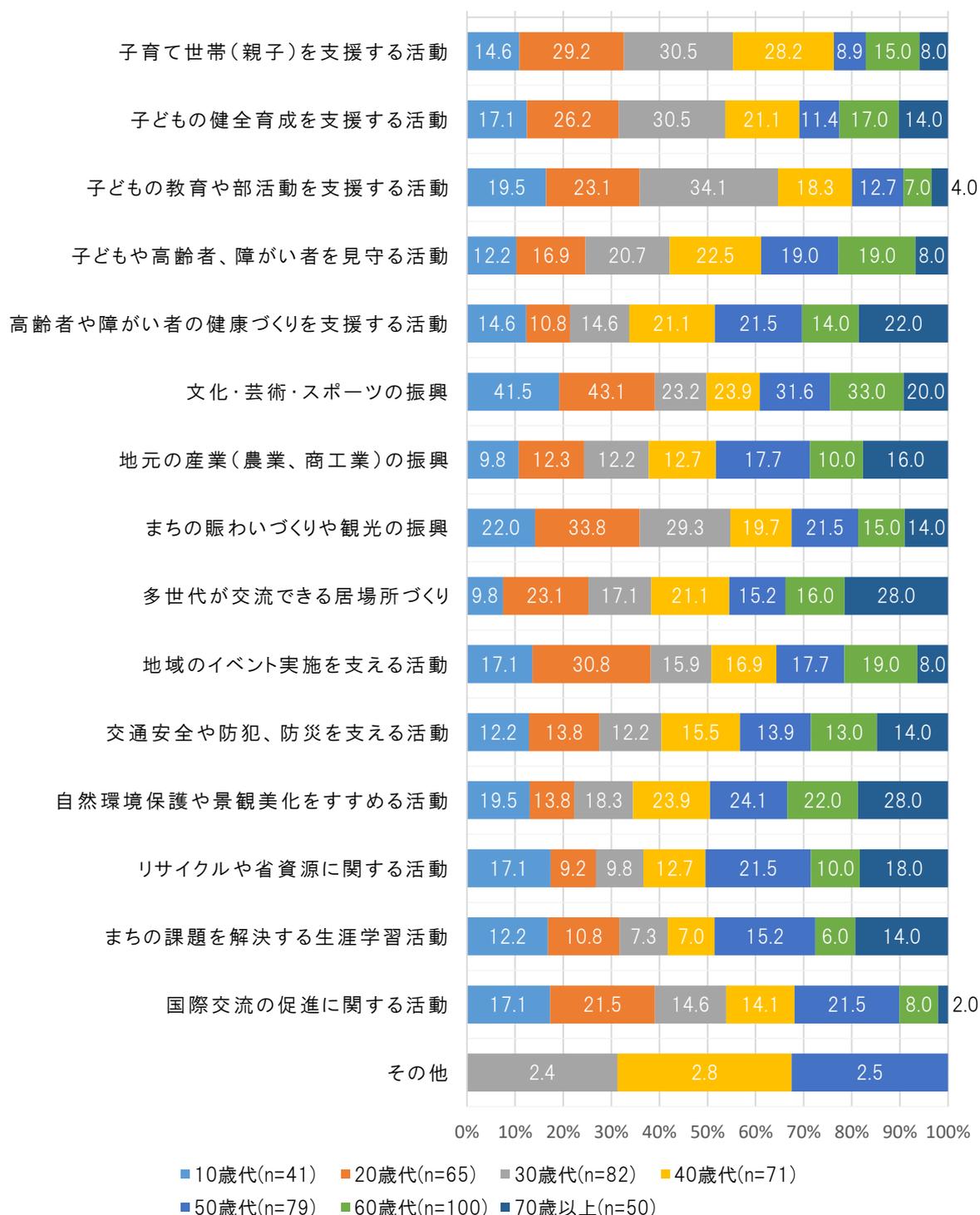


「参加したい方、参加したいが今は出来ない方」



【参加したい方、参加したいが今は出来ない方の活動分野と年代構成】

- 参加したい方や参加したいが今は出来ない方が、少しずつでも参加できれば、様々な分野の地域づくり活動において、担い手の確保と若返りを図ることが可能と考えられる。



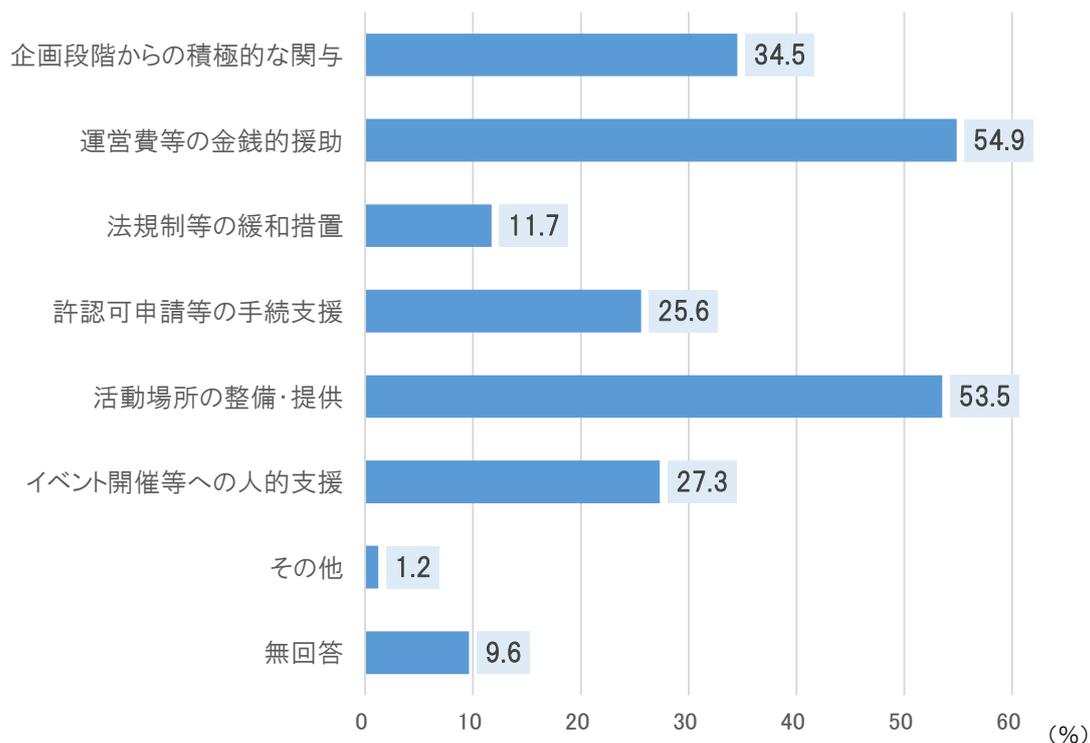
【その他の記述内容】

同一の趣味を持った人との交流
ウォーキングサークル、太極拳
集会所でのシニアの料理教室、ケーキ作り教室
ヘルシー料理教室、シルバー人材
空き家の利活用促進
都心就労世帯向けのベッドタウンとしての再生
美化運動・ごみ清掃
シルバー人材センターにて

問5-5 地域づくり活動においてどのような行政支援が必要と思いますか。(MA)

N=820

- 最も割合が高いのは「運営費等の金銭的援助(54.9%)」で、「活動場所の整備・提供(53.6%)」「企画段階からの積極的な関与(34.5%)」と続く。



【その他の記述内容】

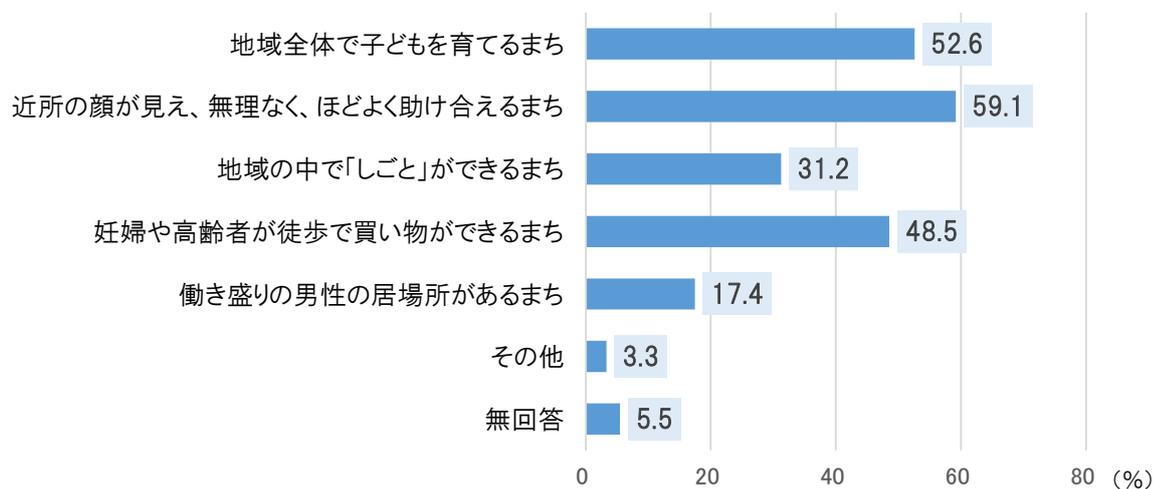
わからない
商工会とリンクした盛り上げ
活動の宣伝(SNSなどを利用して)
財務計画等へのアドバイス
極力、行政は入らない方が良いと思う
トラブル・事故が起こった時の補償・仲裁
許認可申請等が無駄手間にならないよう、手続きに先立って説明してほしい
PTAを巻き込んで強制的にさせる支援が多いので、自主的な活動に支援した方が良い

(6) 世代が循環するまちづくりについて

問6-1 世代が循環するためには、どのようなまちづくりが必要と思いますか。(MA)

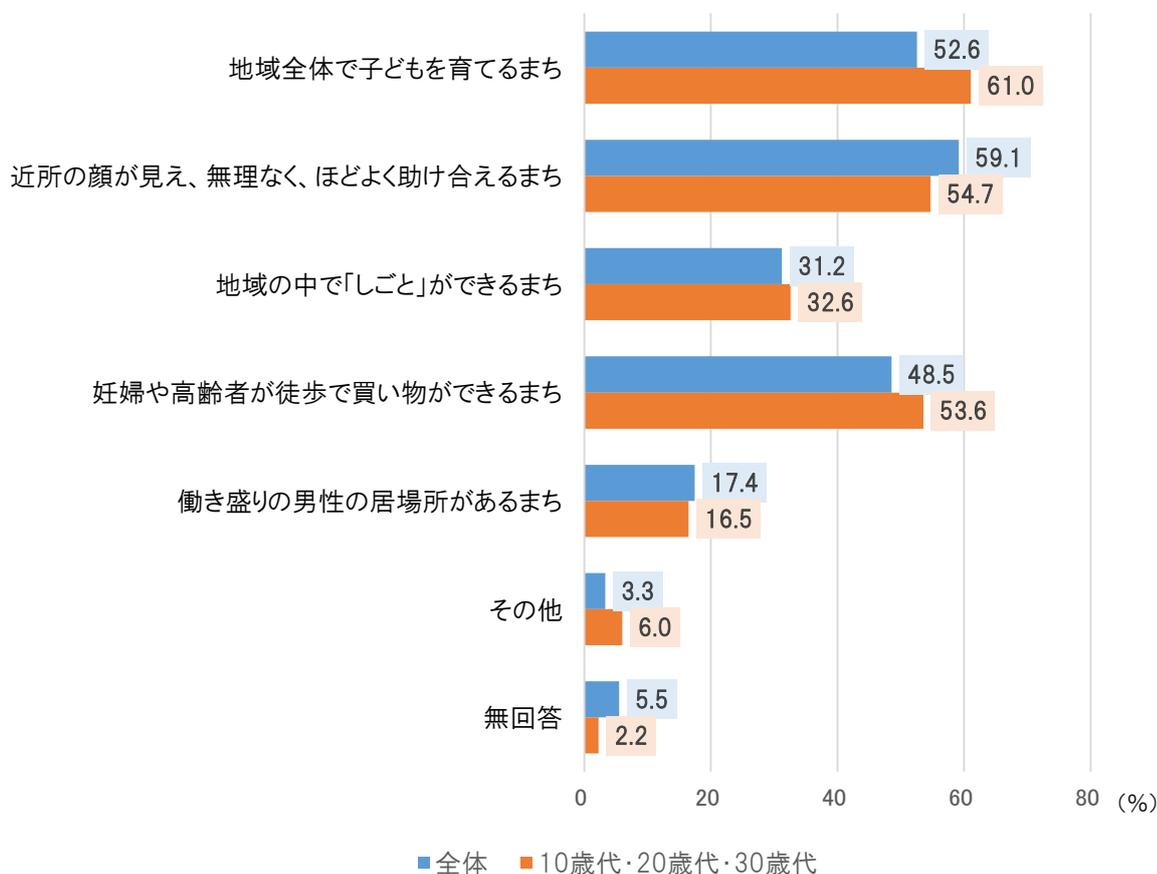
N=820

- 最も割合が高いのは「近所の顔が見え、無理なく、ほどよく助け合えるまち(59.1%)」で、「地域全体で子どもを育てるまち(52.6%)」「妊婦や高齢者が徒歩で買い物ができるまち(48.5%)」と続く。



【全体と30歳代以下の比較】

- 「30歳代以下」では、「地域全体で子どもを育てるまち(61.0%)」の割合が最も高くなっている。



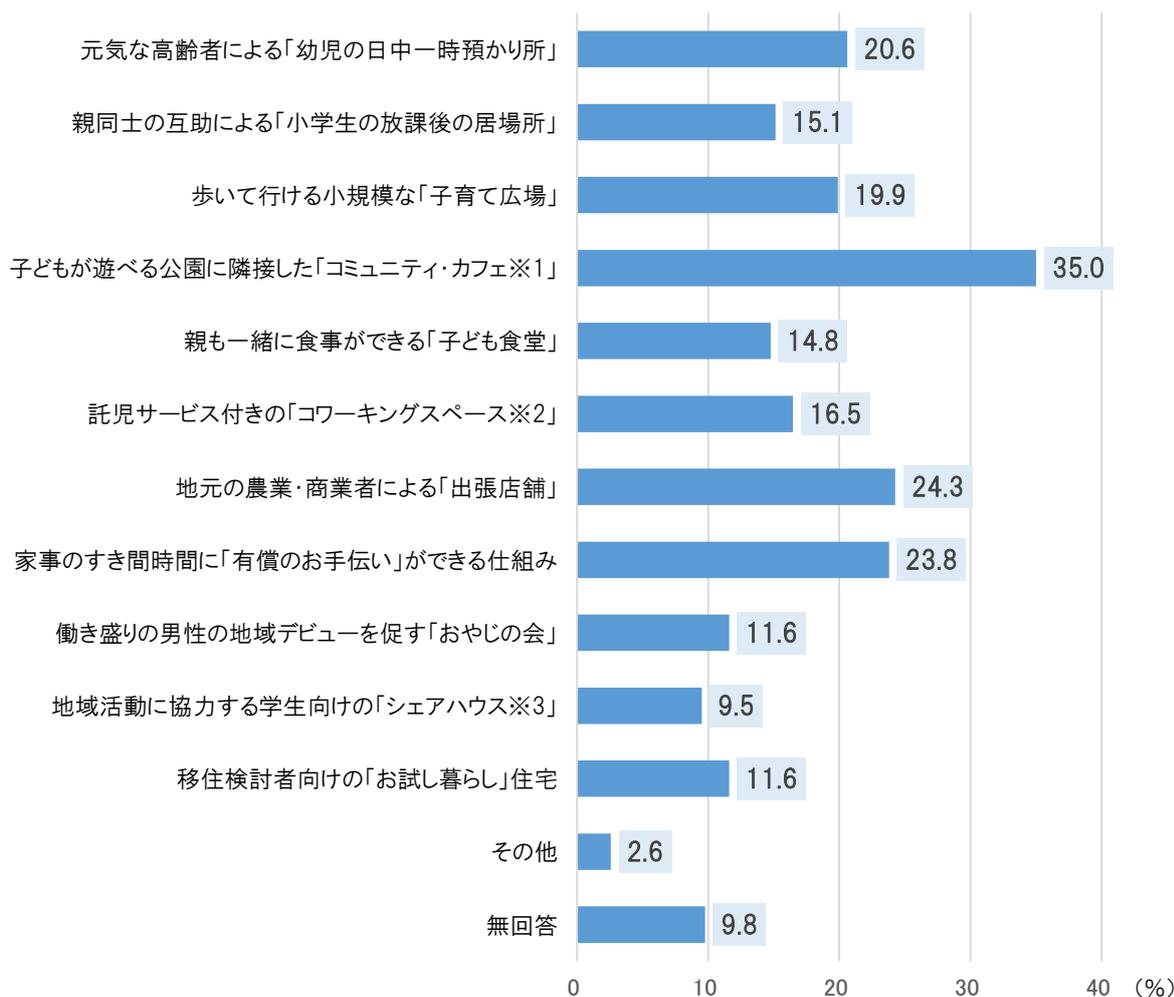
【その他の記述内容】

子育て支援が充実、医療の補助があること
母子(父子)家庭への支援をもう少し手厚くした方が良いと思う
子どもが道路で遊ばなくてもすむまち
若者が魅力を感じる部分が存在するまち
20代から30代などの若年層が男女ともに活動しやすい地域サークルや同好会などが存在しているまち
Uターンしたくなる(生活設備が整っている)まち
世代を問わず楽しめるイベント、交流があるまち
違う世代間で無理なく自然に交流できるような場があれば良いが…
とにかく人が集まらないとダメ。
託児+託老のような、今は少なくなっている3,4世代同居の代わりのような場。老人には癒しになりうるし、子供には多様な人間関係を提供しうるから。
分かりやすい地域情報の共有の場があるまち
産業の育成
多様な商業があるまち
交通の便が良く、適度に商業施設があり、住みたくなるまち
交通の便が良いまちづくり
団地開発や区画整理時に土地を一斉に売らず、数十年かけて売却する(参考:千葉県ユーカーが丘)
大型団地の開発を止め、老若男女が混在するまち
空き家の再利用、高齢者は駅前マンションに集める
中古住宅、リフォーム市場も活性化し、適度に新しい人が入って来やすいまち
交通事故(特に高齢ドライバーの運転とマナーの悪い運転)を減らすまち
安心・安全
無料で遊べる場所がある
公衆トイレが少ない
新しく入ってきた住民ばかりが意見を言って、元からいる住民は小さくなって過ごしている。地元を知っている人間が上に立たないと滅びる一方。牛久市長は決断力もなくこのままでは牛久市が衰退していく。もっと住民一人一人の声を聞くべきだと思う。
きれいなまち
緑がたくさんある
車・バイクの音がしない
砂埃が舞わない
ペットが飼いやすいまちづくり

問6-2 世代が循環するためには、あなた自身の地域(地区)にどのようなものが「あったらいいな」と思いますか。(MA)

N=820

- 最も割合が高いのは「子どもが遊べる公園に隣接したコミュニティカフェ(35.0%)」で、「地元の農業・商業者による出張店舗(24.3%)」「家事のすき間時間に有償のお手伝いができる仕組み(23.8%)」と続く。



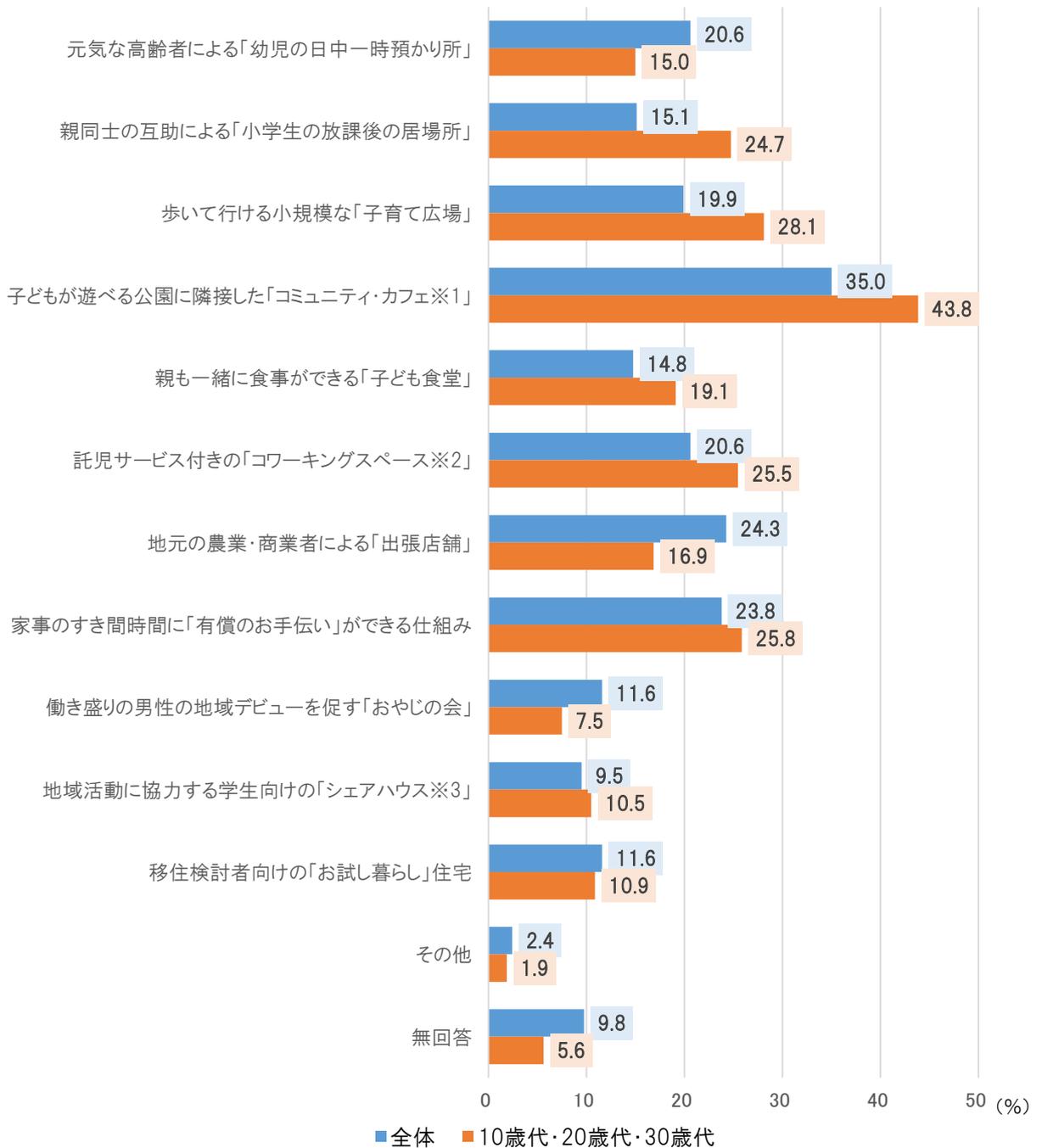
※1.コミュニティ・カフェ: 飲食サービスの提供だけでなく、地域の子育て世代や高齢者などの人と人とのつながりを生み出す地域住民の出会いの場、居場所。NPO や個人など地域住民主体で運営。

※2.コワーキングスペース: テレワークが可能な仕事をする人(個人事業主や起業家、在宅勤務が可能な会社員など)が共同利用する仕事場。利用者の交流による人脈づくりやしごとづくりの効果もある。

※3.シェアハウス: 個人の部屋とは別に共同利用できる共有スペースを持った賃貸住宅。共通の職業や趣味を持った人やシングルマザーなど、入居対象を限定しているシェアハウスもある。

【全体と30歳代以下との比較】

- 「30歳代以下」で最も割合が高いのは、「子どもが遊べる公園に隣接したコミュニティカフェ(43.8%)」、「歩いて行ける小規模な子育て広場(28.1%)」「家事のすき間時間に有償のお手伝いができる仕組み(25.8%)」、「託児サービス付きのコワーキングスペース(25.5%)」と続く。
- 「30歳代以下」と「全体」を比較して「30歳以下」のニーズが高いのは、「親同士の互助による小学生の放課後の居場所(9.6ポイント差)」、「子どもが遊べる公園に隣接したコミュニティカフェ(8.8ポイント差)」、「歩いて行ける小規模な子育て広場(8.2ポイント差)」等である。



【その他の記述内容】

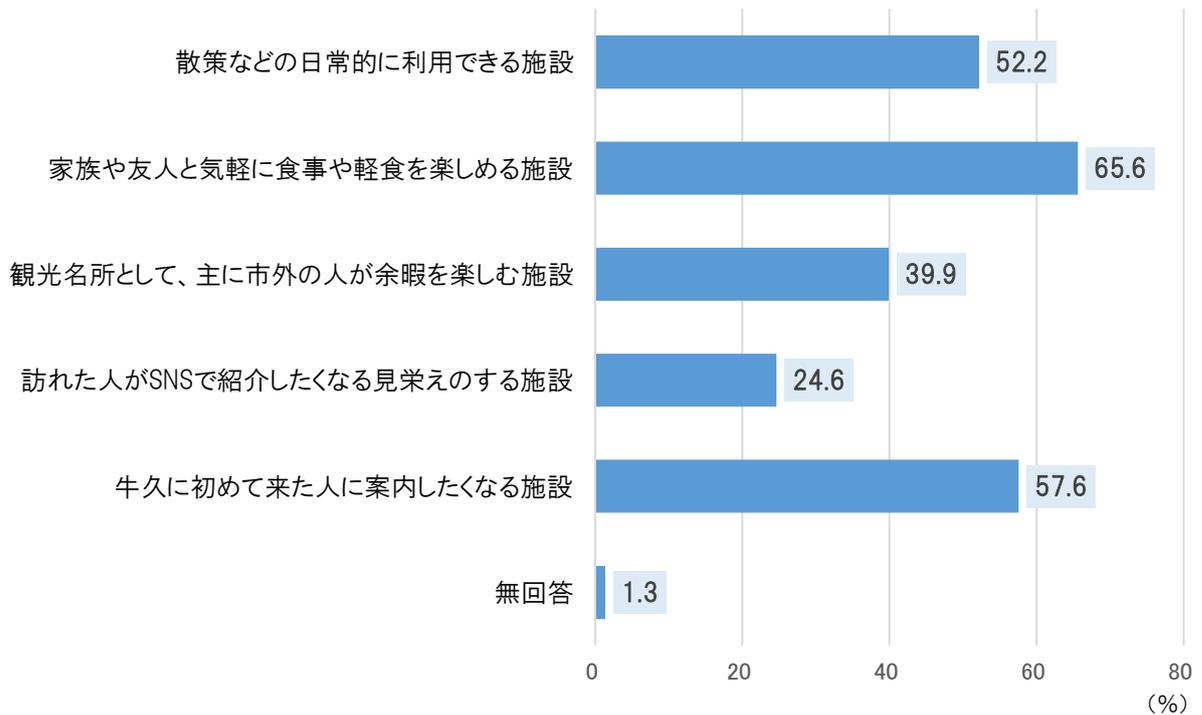
多世代が交流できる居場所づくり 子育て世代-子育ての相談ができる 高齢世代-生きがいにつながる 子ども-多世代の中で育つことでいろいろなことが学べる
デイサービスのような老人ばかりの場には、託児所のように小さい子の施設を併設してほしいと長年思っているし、仮にオープンするなら絶対そうする。
元気な高齢者によるボランティア活動の活性化
昔のしつけにとられない柔軟な高齢者による学童預かり
元気な高齢者による勉強や昔ながらの遊びのできる「小学生の放課後の居場所」
小さい子どもの遊具がある公園
子どもが遊べる大きな公園
市の後ろ盾で許可した球技などができる公園
アウトドアが楽しめる。運動、食事、買い物等
バーベキュー場
大学(学生)の隙間時間に有償のお手伝い
入居対象を限定しないシングルマザーを助けるシェアハウス
自家用車なしで通勤・買い物ができる公共交通機関の整備
駅前周辺の活性化への施策(例:軽トラ市)
外国人のサポートできるコミュニティー
外国人への空き家の提供
区画整理のやり直し、空き家の買い取り
人が集まらないとダメ、ショッピングセンターでもいい。
巨大ショッピングモール
温泉施設(安価な料金で入浴できる施設。自然と会話が生まれ人も集まってくる。健康促進にもなる。)

(7) 牛久シャトーとエスカード牛久ビルについて

問7-1 牛久シャトーは、今後どのような方向で賑わいづくりをしていくと良いと思いますか。(MA)

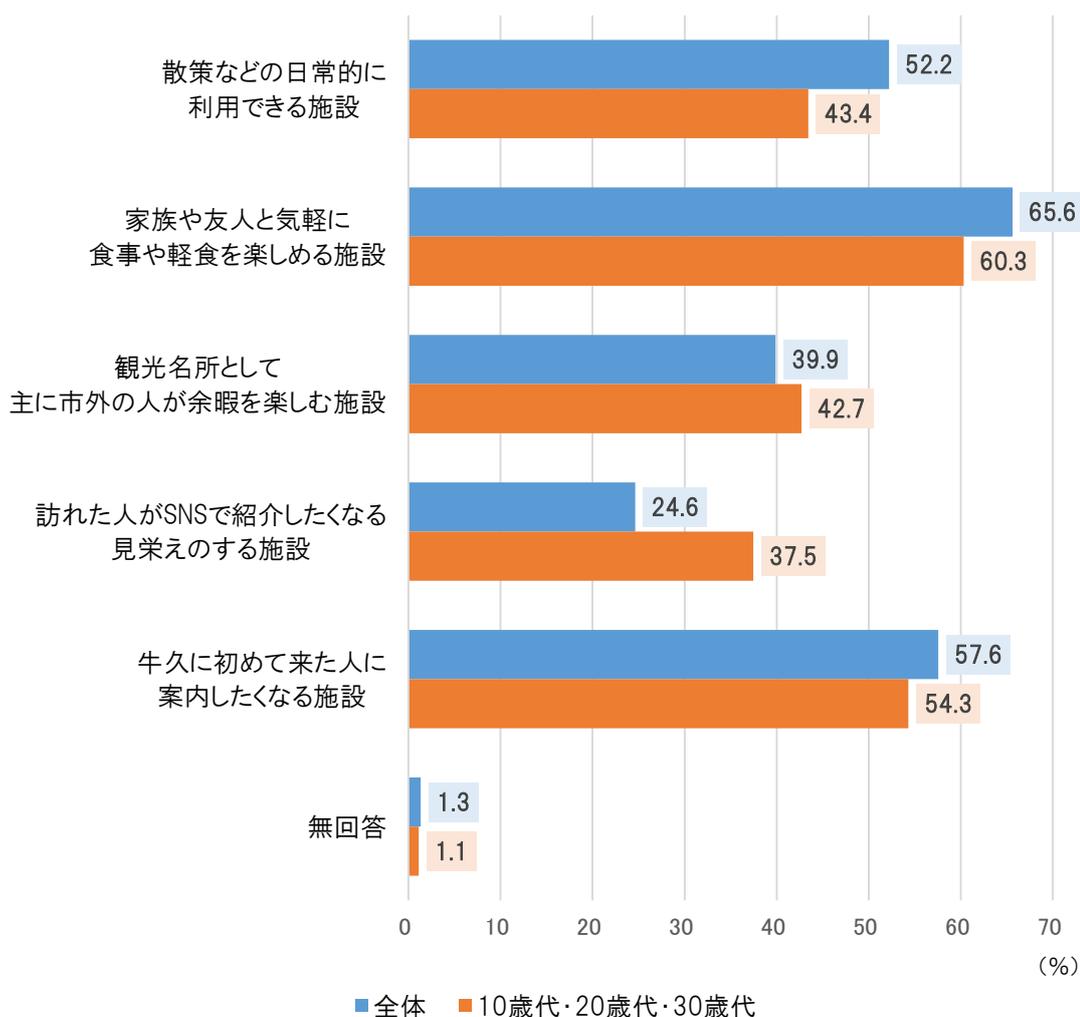
N=820

- 最も割合が高いのは「家族や友人と気軽に食事や軽食を楽しめる施設(65.6%)」で、「牛久に初めて来た人に案内したくなる施設(57.6%)」「散策などの日常的に利用できる施設(52.2%)」と続く。



【全体と30歳代以下との比較】

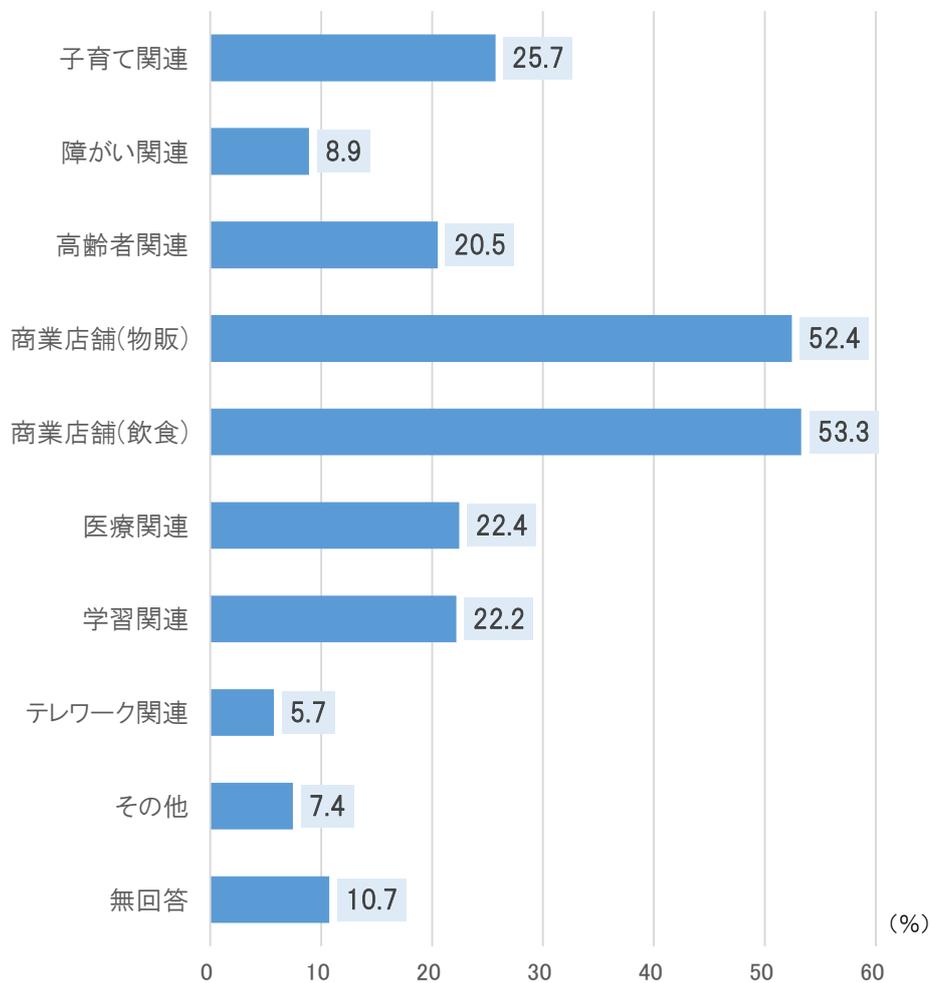
- 割合の高い順番は同じであるが、「30歳代以下」のほうが、「観光名所として、主に市外の人が余暇を楽しむ施設」と「訪れた人がSNSで紹介したくなるような見栄えのする施設」の割合が高く、その他については割合が低くなっている。
- 「全体」では、「日常や余暇に家族や訪ねてきた友人と過ごす場」としての活用が主体となるイメージであり、「30歳代以下」のほうが、観光地としての活用を期待していると考えられる。



問7-2 スカード牛久ビルには、どのような施設・店舗が「あったらいいな」と思いますか。(MA)

N=820

- 最も割合が高いのは「商業店舗(飲食)(53.3%)」で、「商業店舗(物販)(52.4%)」、「子育て関連(25.7%)」と続く。



【年代別】

- ・ 「子育て関連」では、「30 歳代(47.3%)」の割合が最も高く、「20 歳代(31.4%)」が続く。
- ・ 「高齢者関連」では、年代が高いほど割合が高くなる傾向。
- ・ 「商業店舗(物販)」では、年代が高いほど割合が高くなる傾向があるが、「商業店舗(飲食)」では、そうした傾向はみられない。
- ・ 「医療関連」は、「10 歳代」を除いて、2 割以上のニーズがある。
- ・ 「学習関連」では、年齢が低いほど割合が高くなる傾向で、「10 歳代」では 38.0%のニーズがある。

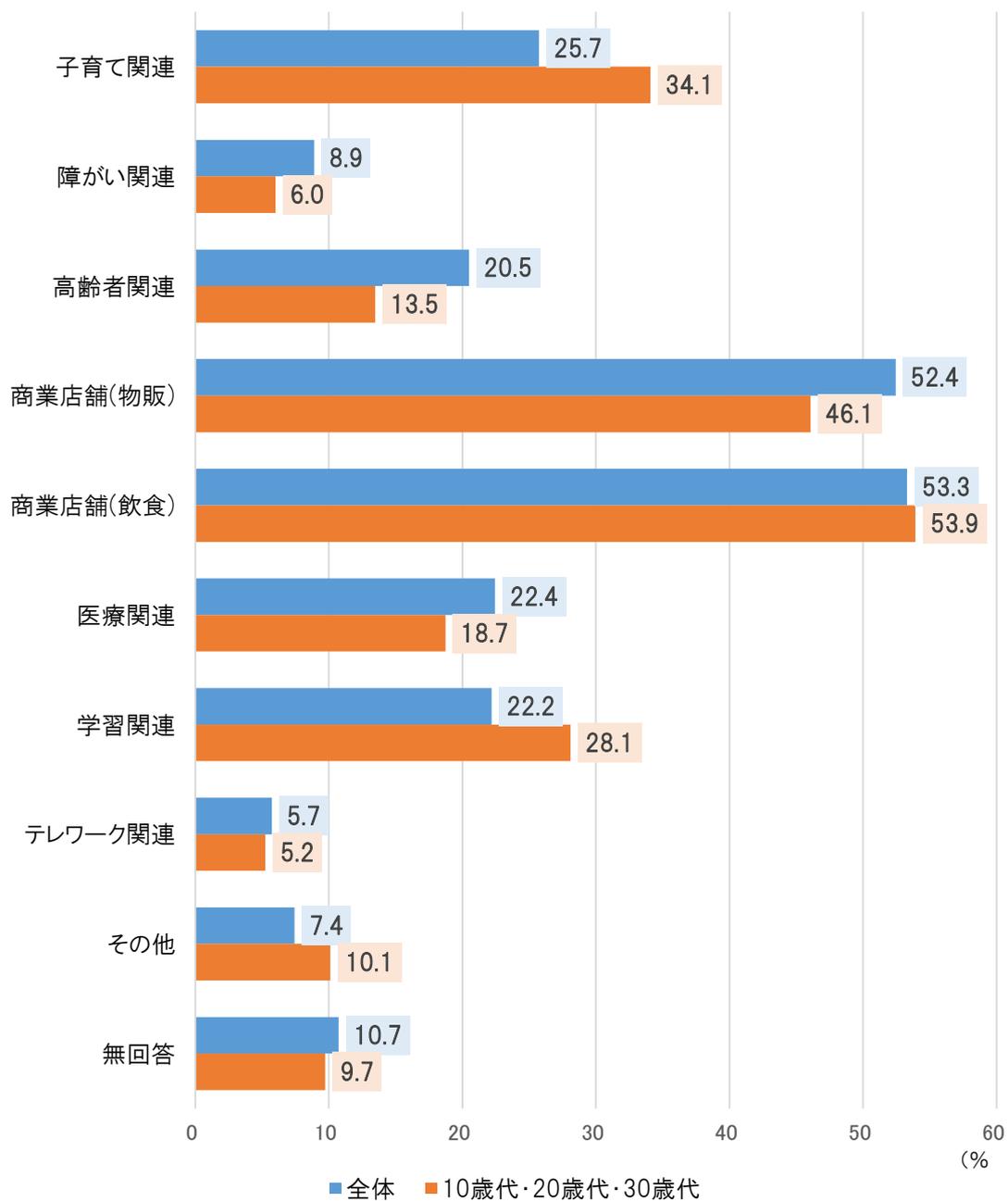
【小学校区別】

- ・ 「子育て関連」では、「ひたち野うしく小学校区(32.6%)」の割合が最も高い。
- ・ 「障がい関連」では、向台小学校区(15.3%)の割合が最も高い。
- ・ 「商業店舗(物販)」では、牛久駅周辺の小学校区とひたち野牛久駅周辺地区との差が大きいが、「商業店舗(飲食)」では、物販ほどの大きな差はみられない。
- ・ 「学習関連」では、牛久駅周辺の「牛久第二小学校区(29.5%)」の割合が最も高いが、「ひたち野うしく小学校区(28.3%)」、「中根小学校区(23.0%)」のニーズもある。

		子 育 て 関 連	障 が い 関 連	高 齢 者 関 連	商 業 店 舗 (物 販)	商 業 店 舗 (飲 食)	医 療 関 連	学 習 関 連	テ レ ワ ー ク 関 連	そ の 他	無 回 答
全体 (N=820)		25.7	8.9	20.5	52.4	53.3	22.4	22.2	5.7	7.4	10.7
年 代 別	10歳代 (n=50)	10.0	4.0	10.0	42.0	52.0	2.0	38.0	0.0	10.0	12.0
	20歳代 (n=105)	31.4	3.8	9.5	49.5	57.1	24.8	31.4	4.8	8.6	8.6
	30歳代 (n=112)	47.3	8.9	18.8	44.6	51.8	20.5	20.5	8.0	11.6	9.8
	40歳代 (n=115)	22.6	7.8	17.4	52.2	52.2	24.3	22.6	9.6	7.0	9.6
	50歳代 (n=129)	24.8	11.6	23.3	51.2	49.6	27.1	23.3	3.1	7.8	10.9
	60歳代 (n=169)	26.0	7.7	23.1	56.2	55.0	25.4	16.6	6.5	7.1	10.7
	70歳以上 (n=133)	13.5	15.0	30.8	62.4	55.6	21.1	15.8	5.3	3.0	12.0
小 学 校 区 別	牛久小学校区 (n=83)	19.3	13.3	28.9	56.6	55.4	26.5	19.3	7.2	7.2	8.4
	岡田小学校区 (n=136)	21.3	3.7	16.2	57.4	61.0	26.5	25.0	4.4	8.1	9.6
	奥野小学校区 (n=40)	22.5	7.5	15.0	45.0	50.0	17.5	7.5	5.0	5.0	22.5
	牛久第二小学校区 (n=78)	25.6	7.7	19.2	62.8	67.9	20.5	29.5	3.8	6.4	5.1
	中根小学校区 (n=135)	31.1	5.9	20.0	45.2	40.7	20.0	23.0	6.7	7.4	15.6
	向台小学校区 (n=150)	31.3	15.3	23.3	60.7	55.3	23.3	18.0	6.0	6.7	8.0
	神谷小学校区 (n=90)	17.8	8.9	18.9	56.7	48.9	22.2	22.2	5.6	8.9	10.0
	ひたち野うしく小学校区 (n=92)	32.6	7.6	20.7	30.4	50.0	20.7	28.3	7.6	9.8	9.8

【全体と30歳代以下との比較】

- 傾向は概ね変わらないが、「30歳代以下」と「全体」を比較して「30歳以下」のニーズが高いのは、「子育て関連(8.4ポイント差)」、「学習関連(5.9ポイント差)」となっている。



【具体的な施設のイメージ】

①子育て関連

分類 1	件数	分類 2	件数	具体例	
子どもの預かり・養育	47	託児所	20	駅利用者向けの託児所(夜遅くまで預けられる)	
				登録・予約制で誰でも使える託児所(有料)	
				24時間預けられる託児所	
				小規模保育所	
		保育園	15	出勤時に預け、帰宅時に一緒に帰れる	
		一時預かり	2		
		病後児保育	1		
		学童保育	3	時間外の児童クラブ	
児童館	3	雨の日でも遊べたり、本を読んだり、イベントがある児童館(幼児から中学生まで)			
		子ども食堂			
遊び場	26	遊び場(有料)	7	ララガーデンのピュアキッズ	
				ひたち野うしく西友2階	
				あそびのせかいセレオ八王子店	
				キッズニアのような一日遊んで学べる場所	
				牛久自然観察の森・木育広場	
				屋内遊園地	
		遊び場(無料)	5	ボールプール等の遊び場	
				小学生高学年くらいの子たちも遊べるスペース	
				一日居ても飽きない無料の遊べるスペース	
		遊び場(料金不明)	14	子どもたちが遊べるアスレチックハウス	
プレイルーム					
充実したキッズスペース					
雨でも室内で遊べる施設					
交流・相談の場	13	リフレのように毎週ある支援センター			
		子育てしているお母さんが横の連絡が取れたり、サポートできるような場所			
		子ども・障がい者・高齢者一緒にコミュニケーションが取れて遊べる施設			
		放課後デイサービスのような皆が触れ合える場所			
		親と子供のコミュニケーションの場。木のおもちゃも取り入れる。			
		親子でコミュニケーションが取れるワークショップなどのイベント開催			
		すくすく広場のような子供の集まれる施設			
		雨の日でも遊べる楽しい遊具がたくさんある子育て広場			
複合施設	7	保育所・シルバー人材センター・デイサービスなど併せた施設			
		電車を使っても行きたくなる室内遊戯施設。			
		小さい子向けのカフェなどとセットで。			
		牛久市産の野菜直売所なども一緒に。			
		赤ちゃん連れて遊びに行き一日過ごせるような所があると子供が小さいとき助かった			
		本当は外遊びできる大きい公園も併設だと最高。			
		室内スポーツ(エクササイズ)や文化(将棋など)の施設			
		子どもが遊んだり勉強できる場所			
		子育て・障がい者・高齢者を分けずに一緒に活動できる場			
親子でのんびりできる広場、西新井にあるギャラクシティのような施設					
その他	7	雨の日でも遊べる屋内遊園地、子供パソコン教室や習い事			

②障がい関連

分類 1	件数	分類 2	件数	具体例
交流・相談の場	8			遊び場
				健常者と一緒に活動できる場
				子ども・障がい者・高齢者の交流広場のようなもの
				同じ障がいを持った人が集まれるイベント
				精神障がい者も含め、相談・安心して居れる場所
				情報交換場所
就労支援施設	5			働きながら自立を目指す職業訓練のような場所
				障がい者が働ける施設
障害児支援施設	3			放課後デイサービスのような皆が触れ合える場所
デイサービス・リハビリ	3			デイケア
				リハビリ施設
その他	8			

③商業店舗(物販)

分類 1	件数	分類 2	件数	具体例
衣料品店	72	ユニクロ	22	
		GU	6	
		しまむら	4	
		サンキ	1	
		Honeys	1	
		その他	38	以前のような洋服、下着、靴などが買える店が欲しい
書店	47	TSUTAYA	4	
		くまざわ書店	1	
		紀伊国屋書店	1	
		その他	41	カフェスペース併設の本屋 本と文具の専門店
雑貨店	27	無印良品	11	
		東急ハンズ	5	
		PLAZA	1	
		Loft	1	
		その他	9	イタリア関連の雑貨等 学生～主婦向けの雑貨
物産販売店	14			道の駅のような物販や特産品を使った食事の提供をする施設 期間限定の物産展やイベントスペース
食料品店	11	成城石井	2	
		カルディコーヒー	2	
		RF1	1	
		その他	6	ミニデバ地下のような対面販売のお惣菜専門のお店等
				パン屋
ショッピングモール	11	イオン	6	
		その他	5	
総合スーパー	9			イズミヤのような商業施設

電気店	8	ヨドバシカメラ	1	
		ビックカメラ	1	
		ケーズデンキ	1	
		その他	5	
100円ショップ	7	ダイソー	2	
		セリア	2	
		その他	3	
ディスカウントストア	7	ドン・キホーテ	5	
		ミスターマックス	2	
文具店	6			
日用品店	6			
販売所	5			地域の複数の施設で作られた食べ物や雑貨を販売する場所
ベビー・マタニティ用品店	5	赤ちゃん本舗	2	
		西松屋	1	
		その他	2	
コンビニ	4			
ドラッグストア	4			
百貨店	4			
スポーツ用品店	2			
おもちゃ屋	1			
菓子店	1			
子供服店	1			
その他	39	駅利用者向け	6	電車・バスの調整が苦にならない施設が欲しい
				学校帰りの高校生、大学生が気軽に立ち寄れる物販店
				都心就労者が戻ってくる19~20時頃に買い物しやすい環境が欲しいです
		起業等支援	4	起業するほどじゃないけれどちょっと手作りしている人、もったいないから誰かに譲りたい人、売りたいものがある人のための期間限定の販売スペース
個人でも運営できるシステムが必要(賃料など)				
その他	29	若い世代に補助金など優遇措置を。		
		若い世代が低経費で運営できるような支援付きの飲食店や雑貨店		

④商業店舗(飲食)

分類1	件数	分類2	件数	具体例
カフェ	46	コメダ珈琲	2	
		その他	44	キッズスペースを利用して親子で利用できるところ 電車の待ち時間にも利用できるカフェ
ファストフード	44	マクドナルド	19	
		ミスタードーナツ	7	
		ケンタッキー	2	
		モスバーガー	2	
		フレッシュネスバーガー	1	
		吉野家	1	
		CoCo 壱番	1	
		オリジン弁当	1	
		銀だこ	1	
		その他	9	クレープ屋など
レストラン	26	サイゼリヤ	4	
		タパスタパス	1	
		大戸屋	1	
		その他	20	牛久市の学校給食と同じメニューが食べられるお店
				地産地消の定食屋
その他	20	今の駅前にないような種類の飲食店。フランス料理、中華、メキシコ料理 ファミリーレストランなど長話できるところ		
コーヒーショップ	23	スターバックス	15	
		ドトール	5	
		タリーズ	1	
		エクセシオール	1	
		サザコーヒー	1	
フードコート	23			和・洋・中が揃った飲食街的な感じ
				ラーメン横丁や来らっせのような一つのテーマに特化した店舗群
酒場	9			神谷バーの支店の誘致
				パブリックビューイング(国際的な試合など飲みながら応援できるスペース)
				焼き鳥屋
				居酒屋
				飲み屋、立ち飲み屋
ラーメン店	6			幸楽苑
				ラーメン、うどんなどの軽飲食店
その他	33			

⑤医療関連

分類1	件数	分類2	件数	具体例
医療モール	7			複数のクリニックが入る医療ビル的なもの
医療相談所	4			総合的な医療相談ができる。専門スタッフが対応してくれる。
病院	34	内科	9	
		皮膚科	5	
		耳鼻科	4	
		小児科	4	
		歯科	4	
		眼科	3	
		薬局	3	
		整形外科	1	
		救急	1	
その他	20			牛久市内の病院によるショートステイ(リハビリ有)等の施設

⑥学習関連

分類1	件数	分類2	件数	具体例
自習スペース	42			多くの人が入れる自習スペース
				食品持ち込みが可能で、コンセントで充電出来たりパソコンを利用することが出来たりして、学生が自由に学習できるようなスペース
				飲食ができる勉強スペース
図書館	32			カフェやネット環境も充実した図書館を。
学習塾	9			
生涯学習施設	9			いろいろな講座や講演会
				多目的なホールまたは会議室
カルチャーセンター	8			趣味の講座教室
				セミナー(市民セミナー、各種専門等)
				外国語教室(保育付き等)
学習支援施設	5			経済的に恵まれない子供のための塾に代わる施設
				地域の大人が勉強を教えたり、見守りできるスペース
				かっぱ塾の拡大版のような小中高生のためのスペース
				寺子屋のような無料で学生が利用できるスペース
				学生、高齢者や外国人を積極的に活用した、低所得家庭の子どもをやさしく学習支援する活動のスペース
専門学校	2			料理専門学校等
美術館	2			
予備校	1			
日本語教室	1			外国人への日本語教室と交流スペース
その他	6			小中一貫校やインターナショナルスクール

⑦テレワーク関連

分類1	件数	分類2	件数	具体例
フリースペース	4			コワーキングスペース
				パソコン常備フリースペース
駅利用者向け	2			駅利用者の隙間時間に仕事ができるようなテーブル、いす、ネット、電源
カフェ付き	1			適当な広さに区分して起業志望者へのシェアスペース
起業者向け	1			サテライトオフィス
企業向け	1			高齢者でもできる仕事を提供し、ネットワークに対する不安を解消してもらう
高齢者向け	1			保育サービス付きシェアオフィス(マフィス横浜元町など)
子育て世代向け	1			案内板
その他	3			レンタルオフィス

⑧その他

分類1	件数	分類2	件数	具体例
駐車場関連	12			入りやすく止めやすい、広くて安い駐車場
				無料駐車場
市役所(出張所)	6			
郵便局	6			
遊技場	6			アミューズメント施設
				ボーリング場
				ゲームセンター
イベントスペース	4			音楽イベント施設
宿泊施設	3			ホテル(ビジネスホテル、観光用ホテル→高級感のあるもの)
				外国人向けの格安ホテル(東京観光客でも良い、イオン、アウトレット、牛久大仏にも行ってもらう)
多世代交流施設	3			災害等の避難場所・コミュニティハウス等
銭湯	3			
映画館	2			
オフィス	2			大規模な企業、工場
その他	24			ドッグラン

※1つの回答欄に複数の要素が入っているものを分割して集計した。

(8) 自由記述（要約）

- 「牛久シャトー」に関する記述が 36 件で最も多く、「交通」に関すること 29 件、「安全・安心」に関すること 18 件が続く。

分類	件数	記述内容
子育て	11	・地域の人の意見の聞き取りを
		・子育て世代を支援する場所を作ってほしい
		・専業主婦世帯にも子どもの預かりの対応を
		・父親の定時帰宅を促進してほしい
		・子連れで行ける(キッズスペースのある)お店がほしい
		・子どものインフルエンザ予防接種への助成
		・保育園の増設
		・育児支援策の充実
		・子どもの遊べるところが少ない
高齢者	6	・高齢者への支援の拡大
		・高齢者の活用
		・独居家庭へのケア
		・ケア付き集合住宅の充実
障がい者	3	・加配制度の活用
		・特別支援学校の創設
健康・医療	5	・健康診断受診手続の簡略化
		・医療費助成についての見直し
		・夜間・休日の医療体制
学校教育	4	・市民への給食の提供システムがあれば
		・学校の設備等の地域格差が著しい
		・住宅地近辺への小学校設立
		・教育水準の低さ
社会教育	8	・スポーツ施設の充実
		・ひたち野うしく地区への生涯学習センター・図書館の設立
		・ボランティアによる町おこしや教育
		・市の歴史がわかる施設の設立

分類	件数	記述内容
産業	9	・企業、工場の誘致
		・牛久市商工会にもっと頑張ってもらいたい
		・大型商業施設の誘致
		・既存の物の活用、情報発信
		・飲食店を増やしてほしい
・郊外に人々が集まれる場所がほしい		
地産品	4	・牛久ご当地土産の開発
観光	6	・観光スポットや魅力あるイベントの開発
		・外国人向けの案内板・標識の設置
		・観光スポットの整備
		・牛久市ならではの魅力あるまちに
		・PR、広報にもっと注力して
・牛久沼の遊歩道整備		
交流人口	7	・牛久沼を周回するサイクリングロードを作る
		・道の駅を作る
		・ショッピングモール・レジャー施設の建設
		・かっぱ祭りの内容の見直し
・新たなイベントの開催		
世代循環	15	・若い世代が住みたいまちを作る
		・新たな住宅地の開発
		・県外にもアピールを
広報	6	・もっと行政の施策について市内外にアピールを
		・支援策について定期的に広報に表示してほしい
		・「牛久らしく」というスローガンの見直し
		・小川芋銭や住井すゑのアニメ化したキャラクターを作成する

分類	件数	記述内容
牛久シャトー	36	・BBQ、ビアガーデン、物販の復活
		・バスツアーの誘致
		・ロケ収入の確保
		・レストランウェディング(婚活支援も)
		・レストランの復活
		・市民の憩いの場+α位のコンセプトで再生
		・税金を投入することに疑問
		・小学校に転用
		・周辺にもレストランやパン屋を誘致
		・地ビール、ワイン製造の復活
		・生産者の育成
		・初等・中等教育への活用
		・市外からの人の流れ増加に活用
		・マラソンコース、散策コースの整備
		・イベント開催(菊祭りやフリーマーケット)
		・エスカードとの連携
		・プロモーションの向上
		・観光スポットとしての活用
		・財務面についての慎重な対応
		・以前よりもにぎわいのある施設に
		・公園、アスレチック等の設置(小さい子供と家族向け)
		・フードコート等の飲食スペース
		・クラシックコンサート(室内楽、声楽、レコード鑑賞会等)
		・AKB48岡部麟の起用
		・経営権所有権を市100%に
		・オエノン資料館をワイン100%に
・地元食材を変える、食べられる店を		
・多様な経験を持った人材の確保		
・公園への転用		
エスカード	14	・店舗(総合スーパー)の誘致
		・駐車場の整備
		・市民が集まれる施設を
		・スーパー銭湯
		・財務面についての慎重な対応
		・様々な業種の飲食店や物店を
		・レストランや専門店
		・市庁舎として使用
		・学習室・自習スペースの設置

分類	件数	記述内容
中心市街地	17	・牛久市の中心をひたち野うしく駅にすべき
		・団地の近くに商店を
		・ひたち野うしく駅に駅ビル・コンビニエンスストアがほしい
		・牛久駅周辺に飲食店や商業施設を
都市計画	2	・ユーカリが丘を参考に
		・大型店舗をなぜ誘致しなかったのか
交通	29	・公共交通網の整備
		・コミュニティバスの廃止、代わりにタクシー券を
		・公共交通機関の路線・時刻の見直し
自然環境	2	・野焼きの中止
		・自然環境を考慮したビジョンを
公園	3	・公園の整備
居住環境	5	・空き家の早期解決
		・下水道の整備
安全・安心	18	・街路灯の不足解消
		・歩道の段差解消
		・自転車道の整備
		・道路の損傷の改善
		・カーブミラーの取替
		・道路の利用マナーが悪い(路上駐車、歩行者の横断)
		・阿見方面への速度制限
		・通学時の地域での見守り強化
		・防災無線が聞き取れない
		・災害時の情報発信改善
		・避難場所が不適切
		・治安の向上
行政運営	7	・人の活用が重要
		・市行政の組織改革が必要
		・専門家、学者などの協力を
		・市民の暮らしを守ることを重点に
		・市役所職員の知識向上を
その他	10	・ドッグランの設営
		・シンボルキャラクターの見直し
		・第2の「稀勢の里」を育てる
		・外出したくなるまちづくりを